

取扱説明書

MBP-RUA

リモートコントロールユニット (MBP ボード用)
Remote Control Unit (For MBP Board)

2nd Edition





改訂履歴

Edit.	Rev.	年月日	改訂内容	章／ページ
1	-	2014/01/24	初版	
2	-	2016/03/23	筐体デザイン変更	




使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。




[電源電圧・電源コード]

 禁止	指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
 プラグを抜く	電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つく恐れがあります。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードに重いものをのせたり落としたりしてコードを傷つけないでください。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードの被ふくが溶けたり、コードに傷がついたりしていないか、定期的にチェックしてください。





[接地]

 必ず行う	感電を避けるためアースをとってください。
 禁止	アースは絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因になることがあります。
 注意	電源コードのプラグおよびコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。


[内部の設定変更が必要なとき]

 必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
 触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
 注意	パネルやカバーを取り外したままで保管や使用をしないでください。内部設定終了後は必ずパネルやカバーを元に戻してご使用ください。


[使用環境・使用方法]

 禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
 禁止	内部に水や異物を入れないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
 禁止	筐体の中には高圧部分があり、感電の恐れがあります。通常はカバーを外したり分解したりしないでください。
 禁止	通風孔を塞がないでください。この機器を正常に動作させるために、適量の空冷が必要です。機器の前面と背面は、他の物から5cm以上離してください。


[運搬・移動]

 注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。
---	---


[異常時の処置]

 必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。
--	--

[ラック取付金具、アース端子、ゴム足の取り付け]

 必ず行う	ラック取付金具、アース端子、ゴム足を取り付ける場合は、必ず付属の専用部品および付属のネジを使用し、それ以外のは使用しないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。また、ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。
---	--

[消耗部品]

 注意	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。
---	--

保証

弊社製品のご購入において製品の修理・保守等について御連絡申し上げます。

- 1) 通常のお取り扱いにおいて発生した製品故障に関し、購入後 1 年間無償にて修理の対応を致します。
- 2) お取り扱い上の不注意、天災等による損傷の場合は実費を頂きます。
- 3) ご自分で修理・調査・改造されたものは、保証いたしかねる場合があります。《また、特別な使用環境でご使用になられる場合、保証期間中といえども、別途有償保守契約の締結をお願いする場合があります。》
- 4) 修理はセンドバック対応となります。
- 5) 修理期間は、弊社にて故障及び修理内容確認後の回答となります。
- 6) 修理期間中の代替機ご提供の保証はいたしかねる場合があります。尚、代替機ご提供の場合は代替機使用料金が必要となります。
- 7) 製品の保守に関しましては、製品出荷後原則 7 年間とさせて頂いています。但し、出荷後 7 年を過ぎましても、保守部品を保有している場合、もしくは部品入手が可能な場合は修理をお受け致しています。
- 8) 製品の故障に起因する派生的、付随的および間接的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等については、全てご容赦頂きます。
- 9) 他社製品の修理・保守等については、別段の指定がない限り、他社の保証・保守条件によります。
- 10) 本保証は日本国内においてのみ有効です。
- 11) 詳細につきましては、その都度修理部門にお問合せ頂きますようお願い申し上げます。
※ 特別な修理対応を御希望の場合は、別途御相談させて頂きます。

開梱および確認

このたびは、リモートコントロールユニット MBP-RUA をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。構成表を参照し、品物に間違いがないかどうかご確認ください。万一、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者にご連絡ください。品物に不足や間違いがあった場合は、販売代理店までご連絡ください。

◆ 構成表

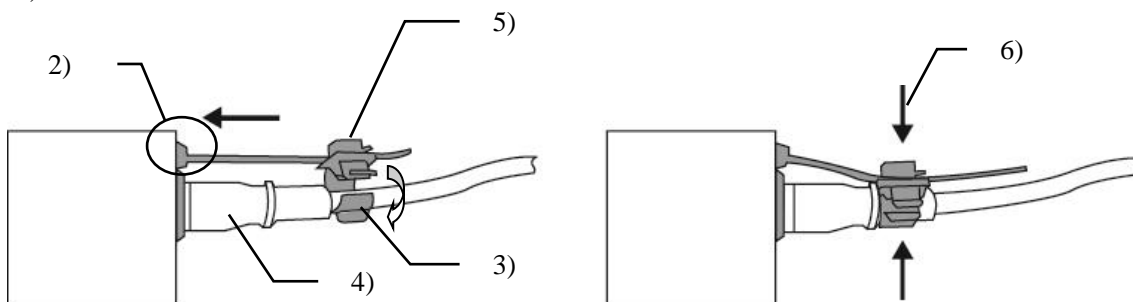
品名	数量	備考
MBP-RUA	1	
電源ケーブル	1	
ラック取付金具	1セット	
インストレーション CD (MBP-RUA_SAB)	1	MBP-RUA Switch Assign Builder 取扱説明書 (PDF)
開梱と確認	1	

AC コードクランプ取付方法

電源ケーブルと同梱されている AC コードクランプで電源ケーブルが筐体から抜けるのを防ぎます。

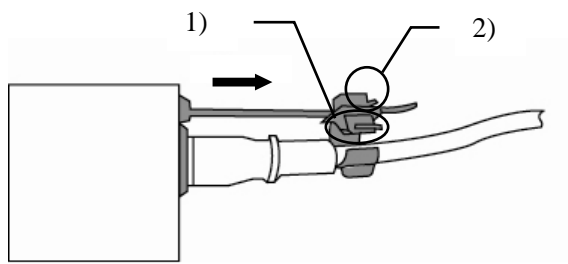
◆ AC コードクランプの取付

- 1) AC コードクランプのアンカー部分を筐体に向けた状態で、電源ケーブルを AC コードクランプの輪に通します。
- 2) AC コードクランプのアンカー部分を AC IN 横の穴に差し込みます。
- 3) AC コードクランプの輪を軽く締め付けます。
- 4) 電源ケーブルを AC IN に差し込みます。
- 5) ベルトを押さえながら、AC コードクランプの輪を電源ケーブルの根元までスライドさせます。
- 6) 再度 AC コードクランプの輪を強く締め付け緩みが無いことを確認します。
- 7) 電源ケーブルを軽く引っ張り電源ケーブルが抜けないことを確認します。



◆ ACコードの取り外し

- 1) ACコードクランプの輪のレバーを押し、輪を開放します。
- 2) ACコードクランプの輪の根元にある、レバーを持ち上げながら輪をスライドさせます。
- 3) ACコードクランプが緩んだ状態からACケーブルを筐体から引き抜きます。



目次

1. 概要および特長	11
1-1. 概要.....	11
1-2. 特長.....	11
1-3. この取扱説明書について.....	11
2. 各部の名称と機能	12
2-1. 前面パネル.....	12
2-1-1. 選択ボタン.....	12
2-2. 背面パネル.....	13
2-3. インターフェース.....	14
2-3-1. GPI.....	14
3. 準備	15
3-1. 電源を入れる.....	15
3-2. IP アドレスの設定	15
3-3. 接続.....	17
3-4. メニューの操作方法.....	18
3-4-1. メニュー構成.....	18
3-4-2. メニュー画面を表示する	19
3-4-3. メニューの移動.....	20
3-4-4. 基本操作.....	20
3-4-4-1. GUI 操作	20
3-4-4-2. 前面パネルボタン	20
3-4-4-3. つまみ	21
3-4-4-4. 設定例	21
3-5. 電源を切る.....	22
3-6. その他注意事項.....	22
4. 操作	23
4-1. MU を切り換える	23
4-1-1. 前面パネルのボタンを使う	23
4-1-2. メニューを使う	23
4-2. TV フォーマット/ゲンロックタイプを設定する	24
4-2-1. TV フォーマット/ゲンロックタイプの確認	24
4-2-2. TV フォーマットを変更する	24
4-2-3. ゲンロックタイプを変更する	25
4-3. 出力映像を選択する.....	26
4-3-1. MBP-1244	26
4-3-2. MBP-100CK.....	27
4-3-3. 前面パネルのボタンを使う	28
4-3-4. メニューを使う	29
4-4. 合成映像のレイヤを設定する	30
4-4-1. MIXER1 の合成レイヤを RCG または VIRTUAL モードにする	30
4-4-2. MIXER1 のレイヤ構成を自由にアサインする.....	31
4-4-3. MIXER1 の各レイヤの合成状態を変更する.....	32
4-5. クロマキー映像を作成する (MBP-12CK or MBP-100CK)	33
4-5-1. オートクロマキー	33
4-5-2. マニュアルクロマキー	33

4-6. カメラ映像を静止画としてキャプチャする (MBP-100CK).....	34
4-6-1. カメラ映像をキャプチャする	34
4-6-2. キャプチャした画像をクロマキー素材として使用する	35
4-7. 静止画ファイルを STILL として使用する (MBP-100CK)	36
4-8. イベントを使う	37
4-8-1. イベントを保存する	37
4-8-2. イベントを読み込む	37
4-9. パラメータをコピーする	38
4-9-1. MU 間のコピー	38
4-9-2. カメラ間コピー	39
4-10. 操作禁止処理	41
4-10-1. On Air ロック (標準機能)	41
4-10-2. Exclusive ロック	42
4-10-2-1. 自分自身がロックを有効にしたとき	42
4-10-2-2. 自分以外のクライアントからロックされたとき	43
4-10-3. Operation ロック	44
4-11. フリーアサイン機能.....	45
5. メニュー詳細	48
5-1. カメラ選択画面	48
5-2. MU 選択画面	49
5-3. TOP 画面	50
5-4. SETUP	51
5-4-1. VIDEO メニュー	51
5-4-2. DELAY SETTING メニュー	53
5-4-3. OUTPUT OPTION メニュー	55
5-4-4. NETWORK メニュー	56
5-4-5. RU SETTINGS メニュー	58
5-4-6. SW CONFIG パネル	59
5-5. GPI メニュー	60
5-5-1. GPI 入力機能アサインダイアログ	61
5-5-2. TALLY 出力機能アサインダイアログ	64
5-6. CK メニュー	66
5-6-1. AUTO CK メニュー	66
5-6-2. MANUAL CK メニュー	68
5-6-3. BG (BACKGROUND) CONDITION パネル.....	70
5-6-4. MATTE DENSITY FINE TUNING メニュー	71
5-6-5. COLOR SUPPRESSION FINE TUNING メニュー	72
5-6-6. FG (FOREGROUND) OPTION メニュー	73
5-6-7. MATTE OPTION メニュー	75
5-6-8. WINDOW MASK メニュー	76
5-6-9. COLOR ADJUST メニュー	78
5-7. MIX&OUT メニュー	80
5-7-1. MIXER1 SETTING メニュー	80
5-7-2. MIXER2 SETTING メニュー	83
5-7-3. OUTPUT SELECT メニュー	84
5-8. STILL & CAPTURE メニュー (MBP-100CK)	86
5-8-1. STILL メニュー	87
5-8-2. CAPTURE メニュー	88

5-9. EVENT メニュー.....	90
5-9-1. 文字列入力パネル.....	91
5-10. 数値入力パネル.....	92
6. 仕様および外観図.....	93
6-1. 仕様.....	93
6-2. 外観図.....	93
付録 1.....	94
MBP-RUA Switch Assign Builder.....	94
ソフト概要.....	94
ソフトのインストール.....	94
アサインを変更する.....	94
アサインを MBP-RUA に反映する.....	95
ボタンラベル.....	96

1. 概要および特長

1-1. 概要

MBP-RUA は、バーチャル仕様マルチメディアプラットフォーム MBP-1244 を制御するためのリモートユニットです。また、MBP-100CK および MBP-12CK クロマキーオプションの操作も可能です。MBP-RUA とは別に、コンピュータソフトウェアベースによる MBP-1244 および MBP-100CK 制御も御用意しています (MBP-12GUI)。

MBP-1244 搭載の Brainstorm PC および MBP-100CK には、MBP-12Server がインストールされています。MBP-RUA および MBP-12GUI は、このサーバーを介して TCP/IP プロトコルにより MBP-1244 および MBP-100CK を制御します。ひとつの MBP-RUA から 5 台までの MBP-1244 または MBP-100CK を切り換えて制御できます。複数の MBP-RUA または MBP-12GUI から同じ MBP-1244 または MBP-100CK を操作することもできます。ひとつのネットワークに 5 台までのネットワーク機器の配置が可能です。

1-2. 特長

- MBP-1244/MBP-100CK を 5 台まで操作可能
- MBP-1244/MBP-100CK との接続はイーサネット経由 (1000BASE-TX)
- MBP-1244/MBP-100CK の制御は MBP-12GUI と併用可能
- タッチパネルによる簡単操作
- キーボード、マウス、USB メモリなどの USB 機器の使用が可能
- 前面パネルボタンのカスタマイズが可能

1-3. この取扱説明書について

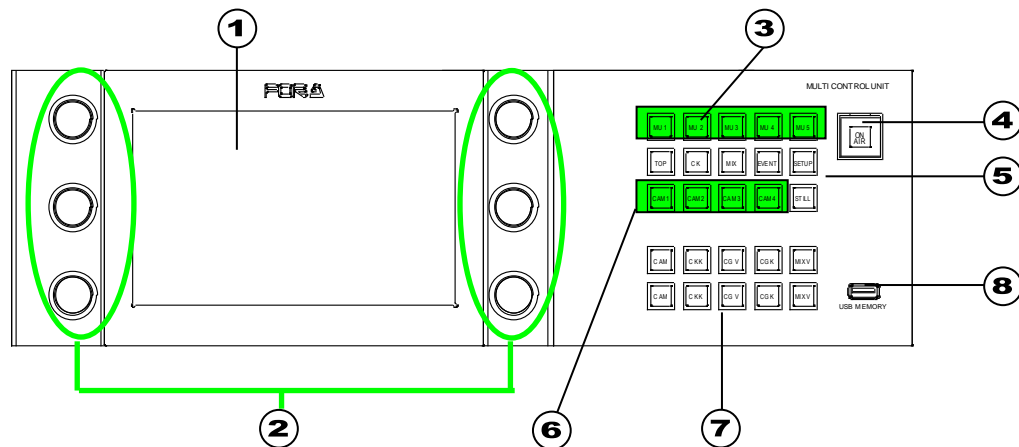
本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

この取扱説明書では以下の表記法を使用しています

- □で囲った文字 (**SETUP**) は前面パネルの物理ボタンをあらわします。
- □で囲い、かつ文字体が斜体のものは (*MANUAL*) は液晶パネルの GUI 上のボタンをあらわします。
- 網掛け文字 (**ON**) はメニュー内の項目および設定値を表します。
- 液晶に表示されている画面を“GUI画面”(もしくは単に GUI) と表記します。
- [] で囲われた文字 ([SETUP]) は GUI 画面のメニュー画面を表します。

2. 各部の名称と機能

2-1. 前面パネル



No.	名称	説明	参照
(1)	タッチパネル	メニューの表示／設定を行います。	
(2)	つまみ	メニュー設定（数値変更）に使用します。	
(3)	MU 選択ボタン	制御する MBP-1244/100CK を選択します。	5-2
(4)	ON AIR ロックボタン	MBP-1244/100CK の操作をロックします。再度 ON AIR ロックボタンを押すまで、MBP-1244/100CK の操作はできなくなります。	4-9
(5)	メニュー選択ボタン	タッチパネルに各種メニューを表示します。	3-4-2
(6)	カメラ選択ボタン	使用するカメラを選択します。	5-1
(7)	出力選択ボタン	上段は OUT1 の出力映像選択ボタンです。 下段は OUT2 の出力映像選択ボタンです。	4-3-2
(8)	USB ポート	USB メモリ、キーボード、マウスなどの USB 機器の接続に使用します。 USB2.0 対応、A タイプコネクタ	

2-1-1. 選択ボタン

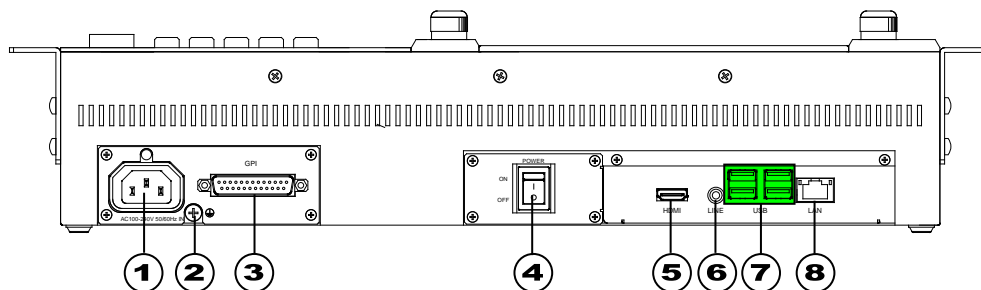
各選択ボタンには上記のように機能が割り当てられており、押すことによって、機能を実行することができます。またこのボタンスイッチには以下のような特徴があります。

- どのメニューを表示しているときでも、ボタンを押すと表示されている機能呼び出します。
- 選択できるボタンは緑、選択中のボタンはオレンジに点灯し、選択できないボタンは無灯となります。
- 各ボタンの機能は選択オプションから自由に選択し割り当てることができます。

次の表に各ボタンの標準機能詳細を記述します。（ボタンのバンク（ボタン列）表示は上記図の上から順に 1～5 段となっています）

バンク	ボタン名	操作	動作
1	MU 選択ボタン	MU1~5	ボタンを押す 操作する MU を選択します
2	メニュー選択 ボタン	TOP	ボタンを押す 「TOP」メニューを表示します
		CK	ボタンを押す 「CK」メニューを表示します
		MIX	ボタンを押す 「MIX」メニューを表示します
		EVENT	ボタンを押す 「EVENT」メニューを表示します
		SETUP	ボタンを押す 「SETUP」メニューを表示します
3	カメラ選択ボタン	CAM1~4	ボタンを押す 使用するカメラを選択します
	STILL メニュー ボタン	STILL	ボタンを押す 「STILL&CAPTURE」メニューを表示し ます。(MBP-100CK 接続時のみ)
4	出力選択ボタン (上段)	CAM	ボタンを押す OUT1 にカメラ映像を出力します
		CK K	ボタンを押す OUT1 に CK KEY 映像を出力します
		CG V	ボタンを押す OUT1 に CG VIDEO 映像を出力します
		CG K	ボタンを押す OUT1 に CG KEY 映像を出力します
		MIX V	ボタンを押す OUT1 に MIX VIDEO 映像を出力します
5	出力選択ボタン (下段)	CAM	ボタンを押す OUT2 に CAM 映像を出力します
		CK K	ボタンを押す OUT2 に CK KEY 映像を出力します
		CG V	ボタンを押す OUT2 に CG VIDEO を出力します
		CG K	ボタンを押す OUT2 に CG KEY を出力します
		MIX V	ボタンを押す OUT2 に MIX VIDEO を出力します

2-2. 背面パネル

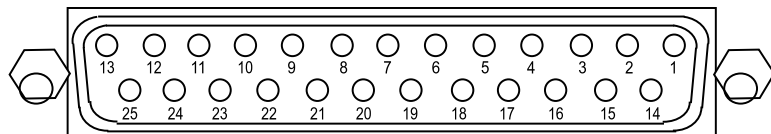


No.	名称	説明
(1)	AC IN	AC 電源を入力してください (AC100V-240V 50/60Hz)。
(2)	アース端子	安全に使用して頂くために、アースを接地して使用してください。
(3)	GPI	GPI の入出力ポートです。
(4)	電源スイッチ	電源スイッチです。「 」側に倒すと電源が入ります。
(5)	HDMI	本機の液晶に表示されている画面を HDMI 出力します。 通常は使用しません
(6)	LINE	オーディオのライン出力ポートです。本機では使用しません。
(7)	USB	USB メモリ、キーボード、マウスなどの USB 機器の接続に使用しま す。 USB2.0 対応、A タイプコネクタ、4 ポート
(8)	LAN	Ethernet ポート、MBP との接続に使用します。 100BASE-TX、RJ-45

2-3. インターフェース

2-3-1. GPI

本機には1つのGPIポートが装備されています。



◆ コネクタ端子配列表 (D-sub 25ピン メス)

ピン番号	信号内容
1～10	出力 PinNo.1～PinNo.10
11	未使用
12	+5V 出力
13	+5V 出力
14～23	入力 PinNo.1～PinNo.10
24	GND
25	GND

※ 各ピンの機能はフリーアサインです。RUの制御画面でピン機能をアサインするときは、アサインナンバー(入出力それぞれPinNo.1～PinNo.10)を使ってピンを指定してください。

※ インチネジを使用してください。

ピンの機能アサインはGPIメニューで行います。詳しくは「5-5. GPIメニュー」を参照してください。

3. 準備

3-1. 電源を入れる

システムの接続後、各機器の電源スイッチを入れます。MBP-RUA は、背面にある電源スイッチを ON にしてください。電源を入れてから約 30 秒ほどで、前面パネルボタンが点灯された後下記のような [TOP]画面 が表示されます。



注意 **CK**ボタンは MBP-12CK または MBP-100CK に接続されている場合のみ有効となります。**STILL&CAPTURE**ボタンは MBP-100CK に接続された時のみ有効となります。それ以外はグレイアウトされます。

3-2. IP アドレスの設定

まず、MBP-RUA の IP アドレスを設定します。（MU が接続されていない状態でも、NETWORK と RU の設定は可能です。）

- 1) **SETUP** ボタンをタップして、**SETUP** メニューを表示します。



- 2) **NETWORK** をタップして **NETWORK** メニューを表示します。



- 3) [NETWORK] メニューで RUA (本機) の IP アドレスを設定します。



- ① 左上のつまみを回し、あるいは変更する桁(ボックス)をタップして、変更する桁を選択します。(緑背景のボックスが選択箇所になります。)
*RU から MU1~5 へと上段から、各段左から右へ順番にボックスが選択されます。
- ② 右上のつまみを回し値を設定値に変更します。
- ③ 上記①、②の操作を RU の IP アドレス 4 桁分行います。(MU の設定も同時に行う場合は④の操作の前に 4) の操作に移ります。)
- ④ **ACCEPT** ボタンをタップし、変更を決定します。

- ⑤ “Do you want to change RU IP address?” と表示されます。**OK** をタップします。
- ⑥ 自動的にシャットダウンされ処理が実施されますので再度 GUI が自動表示されるまで**何も操作せず**待ってください。GUI が表示されると設定は完了しています。
DHCP サーバーが同じネットワーク上に存在するときは、RU の IP アドレスを “0..*” に設定すると本機は DHCP で IP アドレス自動取得になります。

- 4) 「NETWORK」メニューで接続する MU の IP アドレスを設定します。

- ① 左上のつまみを回し、あるいは登録したい MU 番号 (MU1~MU5) の変更する桁をタップして、ボックスを選択します。(緑背景のボックスが選択箇所になります。)
*RU から MU1~5 へと上段から、各段左から右へ順番にボックスが選択されます。
- ② 右上のつまみを回し値を設定値に変更します。
- ③ 上記①、②の操作を MU の IP アドレス 4 桁分行います。
- ④ 複数台の MU を設定する場合は上記①~③を繰り返します。
- ⑤ **ACCEPT** ボタンを押し、変更を決定します。
- ⑥ “Do you want to change MU IP address?” と表示されますので、**OK** をタップします。
(RU の設定も変更されている場合は “Do you want to change RU IP address?” と表示されます。)

- ⑦ MU の IP アドレスのみの変更の場合は本 GUI が自動的に終了されます。デスクトップ上の “MBP-RUA” アイコンをダブルタップして本 GUI を手動で再起動してください。

RU の IP アドレスが変更されている場合は自動的にシャットダウンされ処理が実施されますので再度 GUI が自動表示されるまで**何も操作せず**待ってください。どちらの場合も、GUI が表示されると設定は完了しています。

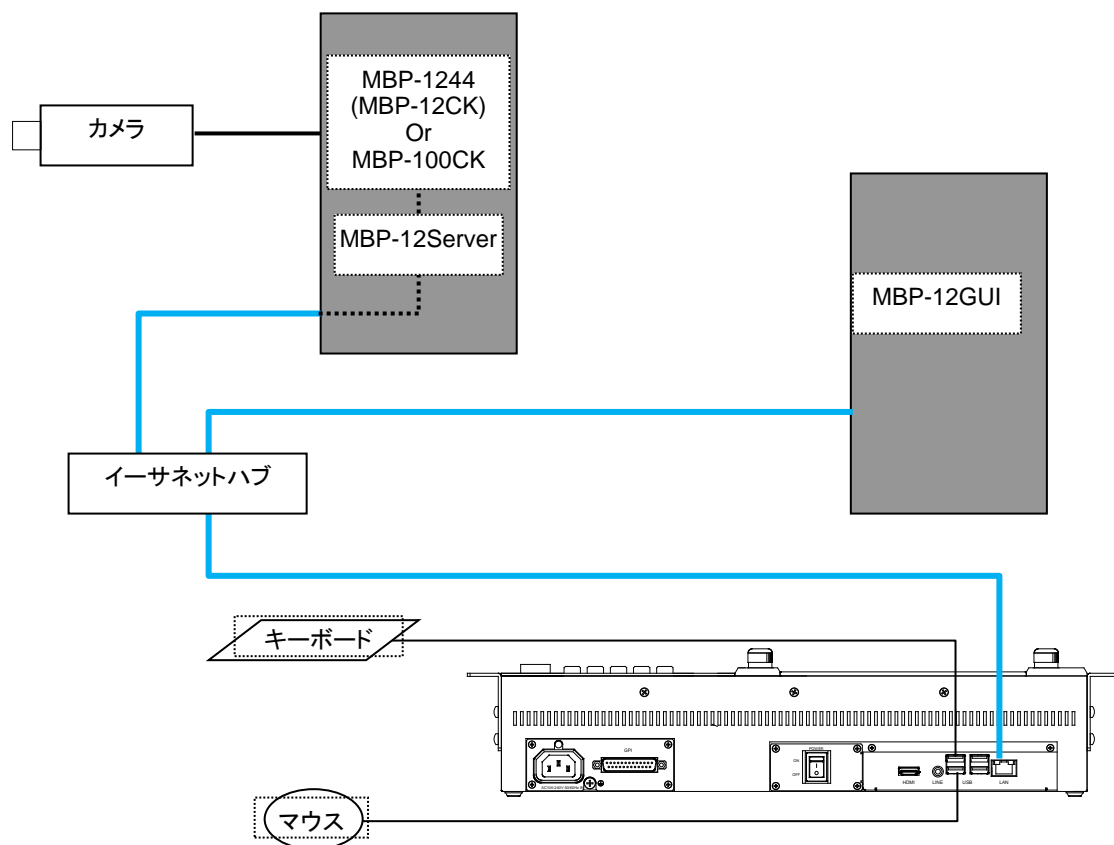
注意

RU の IP アドレスを変更した際に行われる自動処理中は、絶対に電源を切らないでください。

3-3. 接続

IP アドレスの設定が終了後システムと接続します。MU (MBP-1244 および MBP-12Server がインストールされている PC、もしくは MBP-100CK) との接続は、イーサネットハブを介して行ってください。MBP-1244 取扱説明書を参照してシステムを構築してください。

USB メモリ、キーボード、マウスなどの USB 機器をご使用になる場合は、前面パネルに 1 ポート、背面パネルに 2 ポート装備されている USB ポートを使って接続してください。



3-4. メニューの操作方法

3-4-1. メニュー構成

MBP-RUA の GUI のメニュー構成は以下のようになっています。

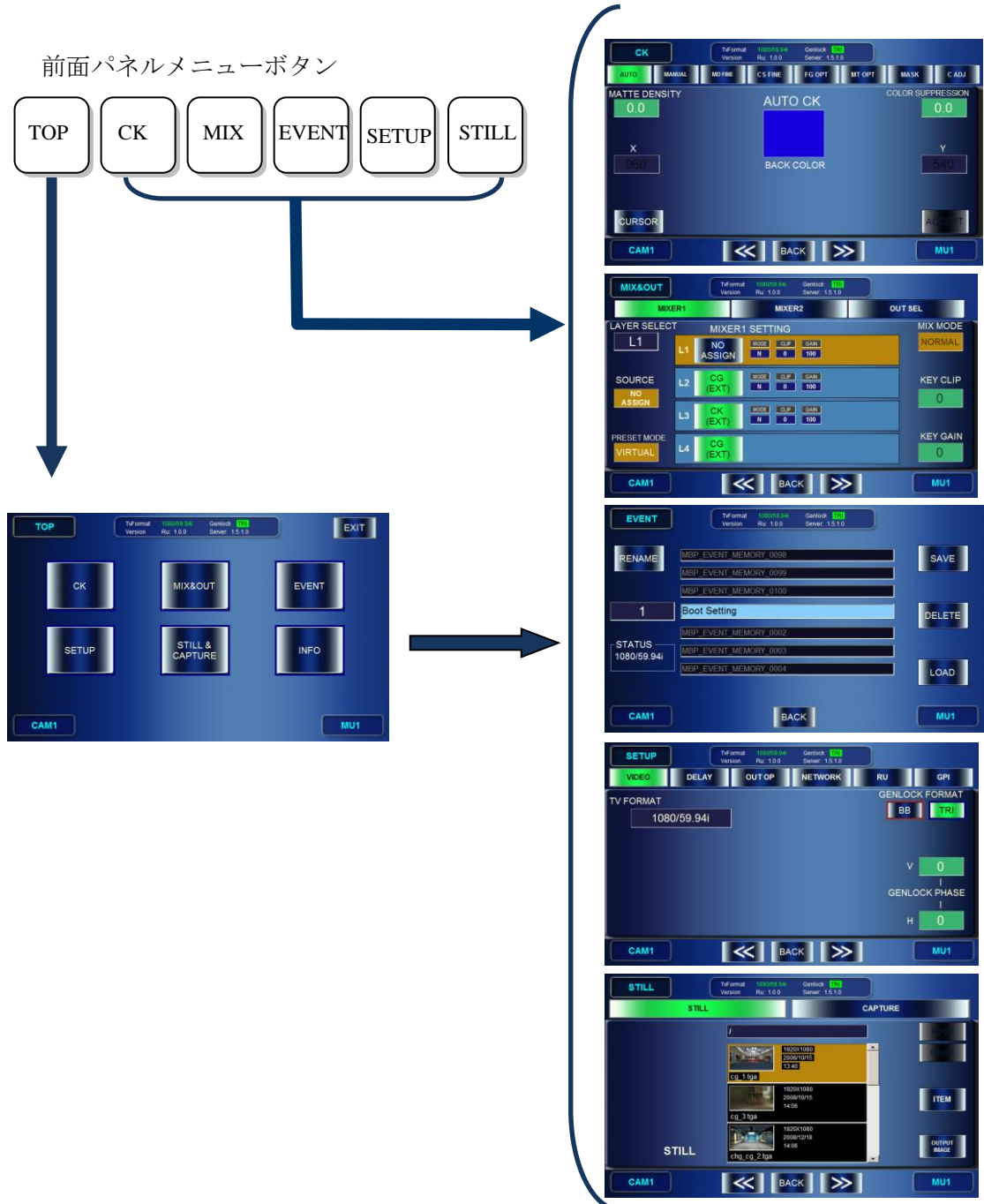
レベル 1	レベル 2	内容	
TOP	CK	AUTO CK	オートクロマキー操作を行います。
		MANUAL CK	クロマキーのバックカラーをマニュアルで設定します。
		MATTE DENSITY FINE TUNING	バックカラーの微調整を行います。
		COLOR SUPPRESSION FINE TUNING	フォアグラウンド映像のバックカラー色の抑制度合の微調整を行います。
		FG OPTION	フォアグラウンド映像に有効なフィルタ等オプションの設定を行います。
		MATTE OPTION	マットカラーに有効なフィルタ等のオプションを設定します。
		WINDOW MASK	クロマキーを生成する範囲に矩形形状のマスクを設定します。
		COLOR ADJUST	クロマキー出力信号に対してレベル調整を行います。
	MIX & OUT	MIXER1 SETTING	合成回路 1 の各レイヤの ON/OFF や合成方法等を設定します。
		MIXER2 SETTING	合成回路 2 の各レイヤの ON/OFF や合成方法等を設定します。
		OUTPUT SELECT	OUTPUT1~4 に出力する信号を選択します。
	EVENT	MBP-1244/100CK に保存されているイベントデータの制御を行います。	
	SETUP	VIDEO	TV フォーマット、ゲンロックタイプの選択、ゲンロックフェーズの調整を行います。
		DELAY SETTING	カメラディレイを設定します。
		OUT OPTION	出力毎のクロマキーカーソルの表示/非表示を設定します。
		NETWORK	本機の IP アドレスや、各 MU の IP アドレスを設定します。
		RU SETTING	ディスプレイの明るさや、前面パネルキーのアサインの変更、明るさの変更を行います。
		GPI	GPI 入出力のピンアサインを設定します。
	STILL& CAPTURE	STILL	STILL OUT に出力する映像ファイルを選択するメニューです。
		CAPTURE	カメラ入力映像のキャプチャや保存、または内部カメラ信号の制御を行います。
INFO	保守用のデータを表示します。		

注意 STILL&CAPTURE メニューは MBP-100CK に接続された時のみ使用できます。

3-4-2. メニュー画面を表示する

MBP-RUA が起動すると TOP メニュー画面が表示されます。TOP メニュー画面のボタンをタップして、CK、MIX&OUT、EVENT、SETUP、STILLの各メニュー画面を開きます。前面パネルの **CK**、**MIX**、**EVENT**、**SETUP**、**STILL** の各メニューボタンを押しても、同じメニュー画面を開くことができます。

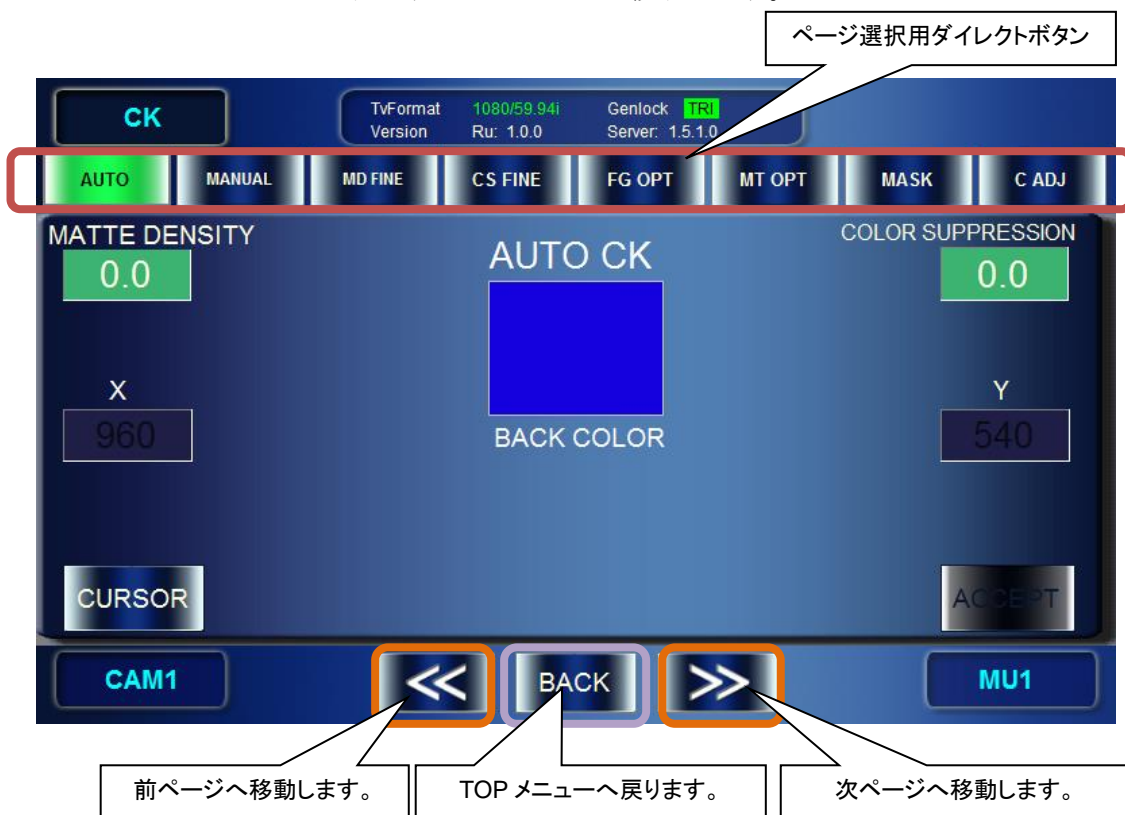
これらのメニュー画面のボタンを押して、さらに下位のメニュー画面を開き（「3-4-1.メニュー構成」のレベル2のメニュー）、MU、RU の設定を行います。



- ※ **INFO** で開く画面には保守用のデータが表示されます。
- ※ **STILL&CAPTURE** ボタンは MBP-100CK に接続時のみ有効になります。

3-4-3. メニューの移動

「3-4-1.メニュー構成」のレベル2のメニュー内は幾つかのページに分かれています。各ページの移動は画面下の二重矢印ボタンを押し前後に移動するか、画面上部の各ページへのダイレクトボタンをタップすることによって移動します。



- * BACK ボタンは各レベル2メニューからTOPメニューへ戻ります。
- * 前面パネルの **TOP**、**CK**、**MIX**、**EVENT**、**SETUP**、**STILL** ボタンはどのメニューにおいてもダイレクトに各メニューへ移動が可能です。

3-4-4. 基本操作

3-4-4-1. GUI 操作

本機にはタッチパネル付き液晶が装備されていますので、GUI上のボタンを押すには、パネル上でタップしてください。

- 選択ボタンが表示されている場合は、ボタンをタップして選択します。選択されているボタン色は緑になります。
- グレーアウトしているボタンはタップできません。
- 数値入力ボックスにタップすると数値入力パネルが表示され、GUI上の数字ボタンをタップすると数値を入力することができます。

3-4-4-2. 前面パネルボタン

本機の前面パネルにはボタンスイッチが装備されています。

- GUI上で設定できる機能の一部をダイレクトに操作することが可能です。
- 押すことが可能なボタンは緑色に点灯します。
- 選択項目の場合、選択されているボタン（項目）は橙色に点灯します。
- ボタンへの機能のアサインはカスタマイズ可能です。

3-4-4-3. つまみ

本機の前面パネルには 6 個のつまみが装備されています。このつまみでは GUI 上の数値の変更や選択項目の変更が可能です。

数値変更の場合

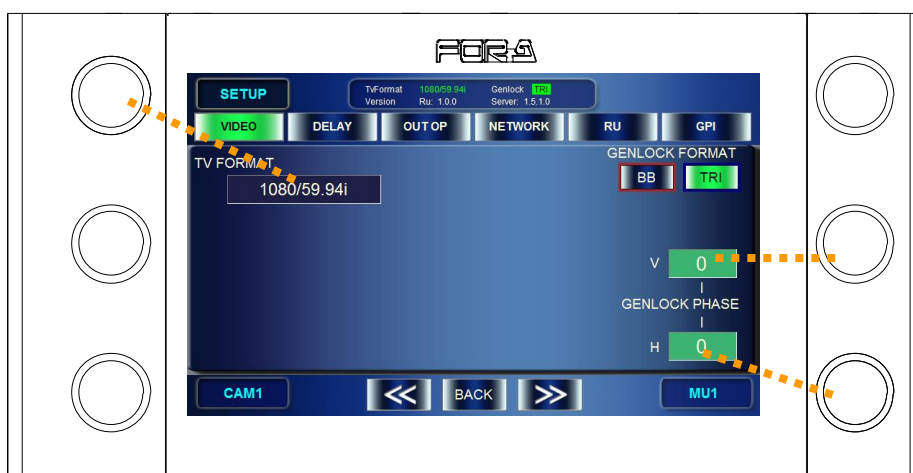
- つまみを回して値を変更します。
- つまみを押すと各値の UNITY 値と VARIABLE 値 (UNITY 値に変更する直前の値) を切替えることが可能です。
- つまみを長く押す (約 2 秒以上) と値の変更幅を COARSE (粗 画面上では青背景の数値ボックス) か FINE (細 画面上では緑背景の数値ボックス) に変更することが可能です。

選択項目の変更の場合

- つまみを回して選択対象の項目を変更します。
- つまみを押すことにより選択を決定します。

3-4-4-4. 設定例

SETUP - VIDEO CONFIG メニューを例にパラメータの設定方法を説明します。



TV FORMAT

左上のつまみを押して選択画面を表示します。つまみを回して、TV フォーマットを選択し、つまみを押して確定します。

GENLOCK FORMAT

BB ボタンまたは **TRI** ボタンをタップして、ゲンロックタイプを選択します。選択したボタンが緑に変わります。非同期の場合は緑点滅になります。

GENLOCK V PHASE

- 右中のつまみを回して値を変更します。
- つまみを押す度に、UNITY 値(0)と VARIABLE 値が切替わります。
- 右中のつまみを長く押して、調整ステップの FINE (微調整、±1) / COARSE (粗調整、±10) を切り換えることができます。FINE 調整時にはボックス背景色が緑になります。COARSE 調整時にはボックス背景色が青になります。

GENLOCK H PHASE

右下のつまみを使い、GENLOCK V PHASE と同様に操作します。

3-5. 電源を切る

終了の際は

- 1) 前面パネル **TOP** ボタンを押し **TOP** メニューを表示します。
- 2) 画面右上の **EXIT** ボタンをタップします。
- 3) “Do you want to quit this application now?”と表示されますので **OK** をタップします。
*ここで **CANCEL** をタップすると引き続きアプリケーションを操作ができます。
- 4) “Do you want to shutdown now?”と表示されますので **OK** をタップします。
*ここで **CANCEL** をタップするとアプリケーションが終了し **WINDOWS** 画面になります。
- 5) GUIが終了し、**WINDOWS** が自動終了しますので画面が黒くなるまで待ちます。
- 6) 背面パネルの電源スイッチを切ります。

3-6. その他注意事項

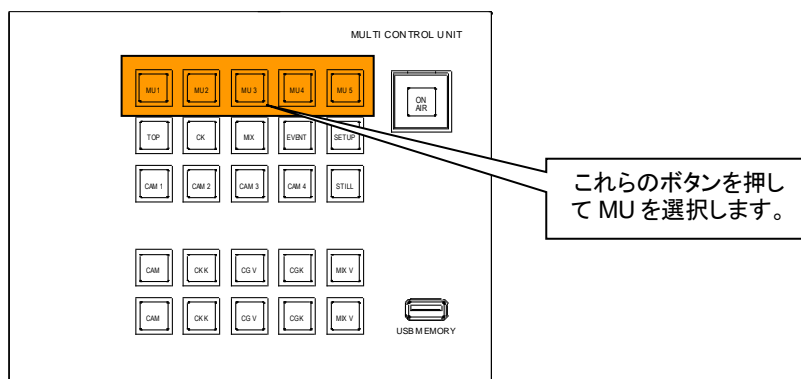
- 本機は記録媒体として内部に不揮発性メモリを使用しております。メモリ内のデータ保護の為に、OS 領域等に書き込み禁止処理を施しています。本機で書き込み（追加、上書きのみ可能。削除はできません。）可能な場所は以下の場所のみとなっています。
C:¥MBP-RUA 以下のファイル、フォルダ
- OS 領域を書き込み禁止にしていますので、OS の設定変更を保存することはできません。

4. 操作

この章では簡単に操作の概要を説明します。詳しい説明は「5. メニュー詳細」を参照してください。

4-1. MU を切り換える

4-1-1. 前面パネルのボタンを使う



4-1-2. メニューを使う

- 1) 画面下の MU 選択ボタンをダブルタップします。



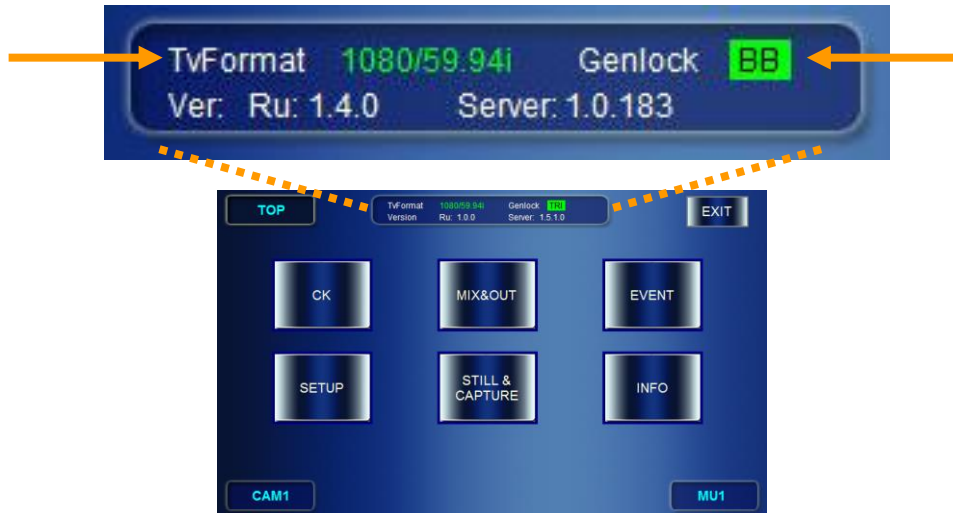
- 2) [MU SELECT]画面が表示されます。選択できる MU は白字で表示されます。選択したい MU のボタンをタップします。選択した MU と接続すると、ボタンが緑色に点灯し、画面右下の文字が選択された MU に変わります。



4-2. TV フォーマット／ゲンロックタイプを設定する

4-2-1. TV フォーマット／ゲンロックタイプの確認

MUに接続すると、動作中のTVフォーマットとゲンロックタイプが、下図のように画面の上に表示されます。ゲンロックタイプ表記は、同期していると緑色に点灯、同期していない場合は点滅します。



4-2-2. TV フォーマットを変更する

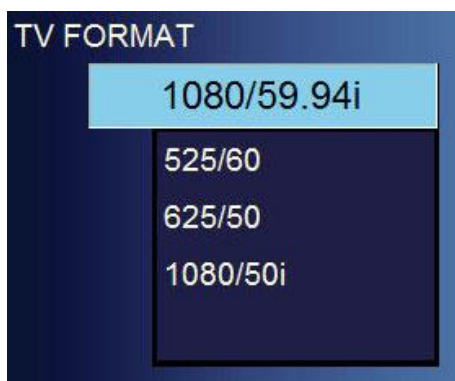
- 1) **SETUP**メニューボタンを押します(またはTOP画面で**SETUP**ボタンをタップします)。



- 2) **SETUP**メニュー画面でVIDEO CONFIGメニューが表示されていないときは、**VIDEO**ボタンを押します。
- 3) **VIDEO CONFIG**メニュー画面で左上のつまみを押し、TV FORMAT選択ダイアログを表示します。

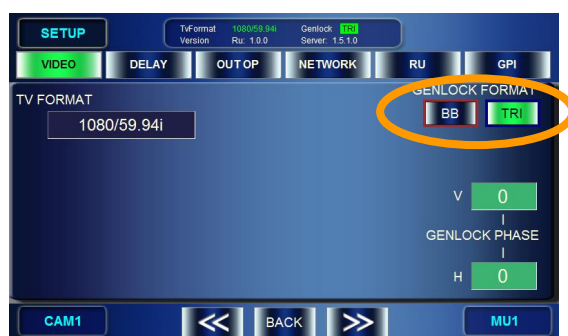



- 4) 左上のつまみを回して TV フォーマットを選択し、左上のつまみを押して確定します。
"Do you want to change video format?"とメッセージが表示され、"OK"を選択すると、TV フォーマットが変更されます。



4-2-3. ゲンロックタイプを変更する

SETUP - VIDEO CONFIG メニューを表示します。GENLOCK FORMAT エリアで **BB** ボタンまたは **TRI** ボタンをタップしてゲンロックタイプを変更します。

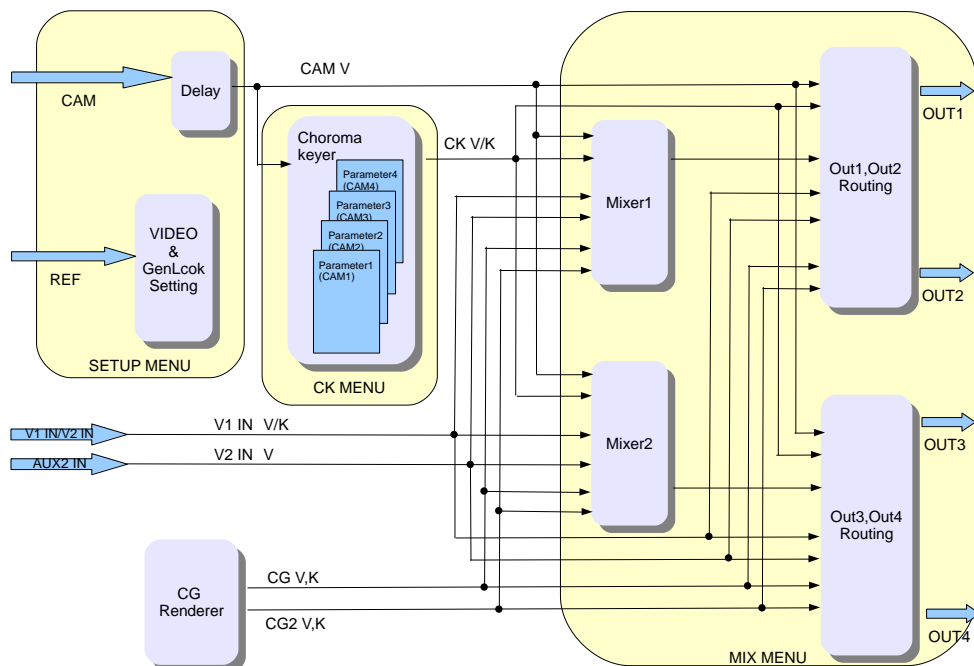


 ゲンロックフェーズを調整する場合は、「3-4-4-4. 設定例」を参照して行ってください。

4-3. 出力映像を選択する

4-3-1. MBP-1244

MBP-1244 の入出力回路は下図のようになっています。



OUT1、OUT2 から出力できる映像は次のとおりです。

MIX VIDEO	MIXER1 合成映像のビデオ
MIX KEY	MIXER1 合成映像のキー
CAM	カメラ映像
CG VIDEO	CG のビデオ
CG KEY	CG のキー
CK VIDEO	クロマキーのビデオ
CK KEY	クロマキーのキー
CG2 VIDEO	CG2 (Brainstorm により生成される) のビデオ
CG2 KEY	CG2 (Brainstorm により生成される) のキー
V1 IN VIDEO	入力端子 V1 IN に入力されている映像
V1 IN KEY	入力端子 V2 IN に入力されている映像
V2 IN VIDEO	AUX2 入力端子に入力されている映像

OUT3、OUT4 から出力できる映像は次のとおりです。

MIX VIDEO	MIXER2 合成映像のビデオ
MIX KEY	MIXER2 合成映像のキー
CAM	カメラ映像
CG VIDEO	CG のビデオ
CG KEY	CG のキー
CK VIDEO	クロマキーのビデオ
CK KEY	クロマキーのキー
CG2 VIDEO	CG2 (Brainstorm により生成される) のビデオ
CG2 KEY	CG2 (Brainstorm により生成される) のキー
V1 IN VIDEO	入力端子 V1 IN に入力されている映像
V1 IN KEY	入力端子 V2 IN に入力されている映像
V2 IN VIDEO	AUX2 入力端子に入力されている映像

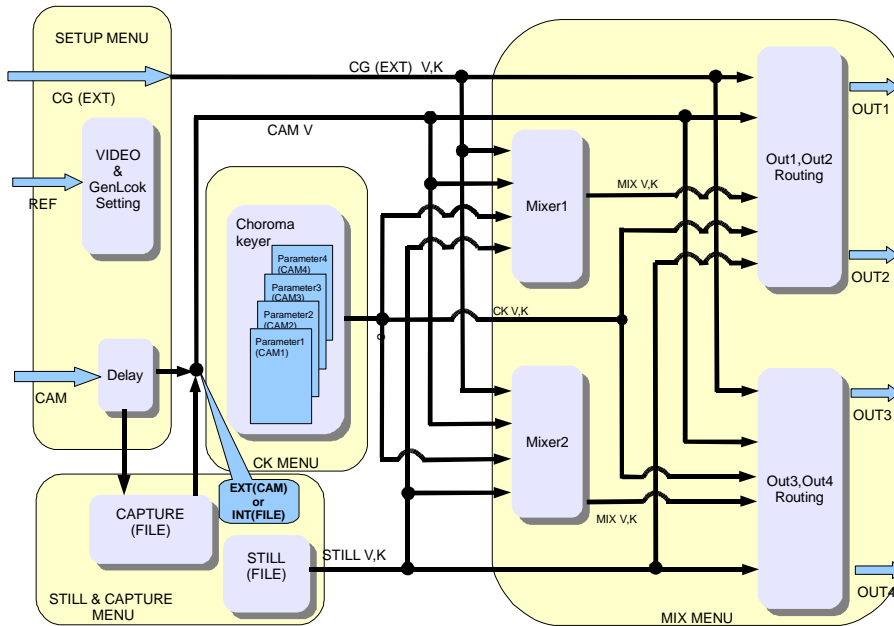
次ページに注意書

注意

MBP-1244 には MIXER1 と MIXER2 の 2 系統の映像合成回路があります。MIXER1 の合成映像は OUT1、OUT2 から出力できます。MIXER2 の合成映像は OUT3、OUT4 から出力できます。CG2 V/K、V1 IN V/K、V2 IN V の映像は MBP-100CK に接続時は利用できません。

4-3-2. MBP-100CK

MBP-100CK の入出力回路は下図のようになっています。



OUT1、OUT2 から出力できる映像は次のとおりです。

MIX VIDEO	MIXER1 合成映像のビデオ
MIX KEY	MIXER1 合成映像のキー
CAM (EXT or INT)	カメラ映像 STILL&CAPTURE メニュー内の INT/EXT 切り替えにより外部入力映像 (EXT) か FILE 映像 (INT) に切り替わります。
CG VIDEO	CG のビデオ
CG KEY	CG のキー
CK VIDEO	クロマキーのビデオ
CK KEY	クロマキーのキー
STILL VIDEO	内部生成静止画のビデオ映像
STILL KEY	内部生成静止画のキー映像

OUT3、OUT4 から出力できる映像は次のとおりです。

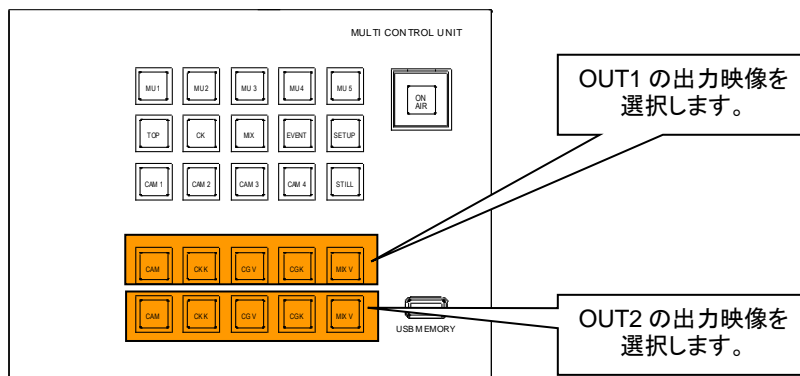
MIX VIDEO	MIXER2 合成映像のビデオ
MIX KEY	MIXER2 合成映像のキー
CAM (EXT or INT)	カメラ映像 STILL&CAPTURE メニュー内の INT/EXT 切り替えにより外部入力映像 (EXT) か FILE 映像 (INT) に切り替わります。
CG VIDEO	CG のビデオ
CG KEY	CG のキー
CK VIDEO	クロマキーのビデオ
CK KEY	クロマキーのキー
STILL VIDEO	内部生成静止画のビデオ映像
STILL KEY	内部生成静止画のキー映像

注意

MBP-100CK には MIXER1 と MIXER2 の 2 系統の映像合成回路があります。MIXER1 の合成映像は OUT1、OUT2 から出力できます。MIXER2 の合成映像は OUT3、OUT4 から出力できます。STILL VIDEO、STILL KEY 信号は MBP-100CK に接続時のみ選択可能です。

4-3-3. 前面パネルのボタンを使う

前面パネルの出力選択ボタンを押して、OUT1 および OUT2 の出力映像を選択することができます。



OUT1	CAM	OUT1 に CAM 映像を出力
	CK K	OUT1 に CK KEY 映像を出力
	CG V	OUT1 に CG VIDEO 映像を出力
	CG K	OUT1 に CG KEY 映像を出力
	MIX V	OUT1 に MIX VIDEO 映像を出力
OUT2	CAM	OUT2 に CAM 映像を出力
	CK K	OUT2 に CK KEY 映像を出力
	CG V	OUT2 に CG VIDEO を出力
	CG K	OUT2 に CG KEY を出力
	MIX V	OUT2 に MIX VIDEO を出力

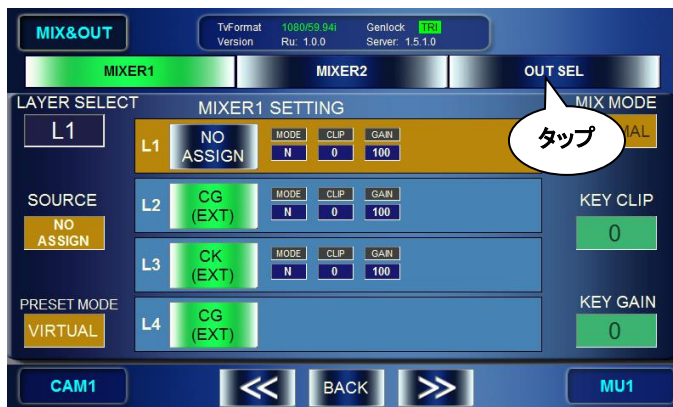
注意

標準アサインでは、前面パネルで OUT3、OUT4 の出力選択はできません。GUI のメニューから選択してください。

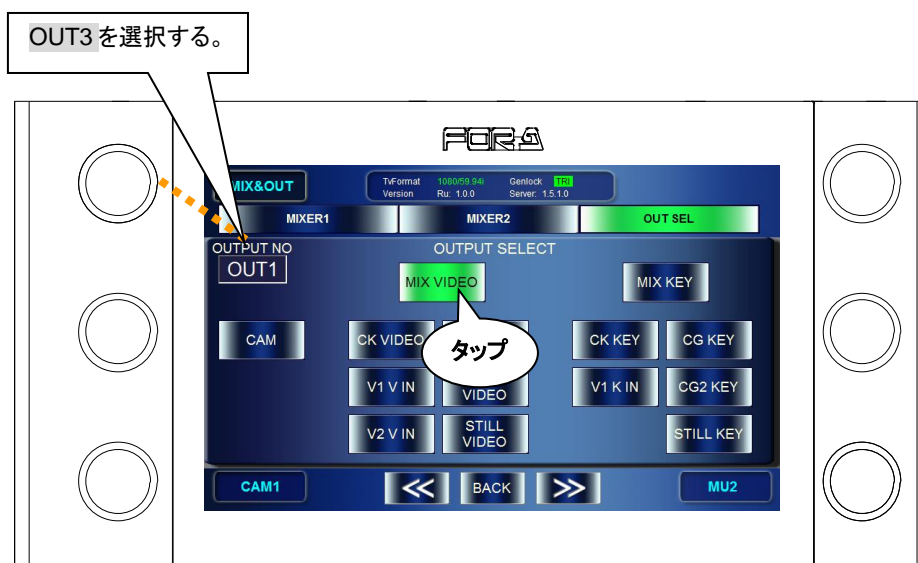
4-3-4. メニューを使う

ここでは、OUT3に MIX VIDEO を出力する場合を例に、操作方法を説明します。

- 1) 前面パネルの **MIX** ボタンを押して（または TOP 画面から **MIX** ボタンをタップして）**[MIX&OUT]** メニュー画面を表示します。
- 2) **[MIX&OUT]** メニュー画面で **[OUTPUT SELECT]** サブメニューが表示されていない場合は、**[OUT SEL]** ボタンをタップします。



- 3) **[OUTPUT SELECT]** メニュー画面が開きます。
- 4) 左上のつまみを回して **OUT3** を選択します。
- 5) **[MIX VIDEO]** をタップします。



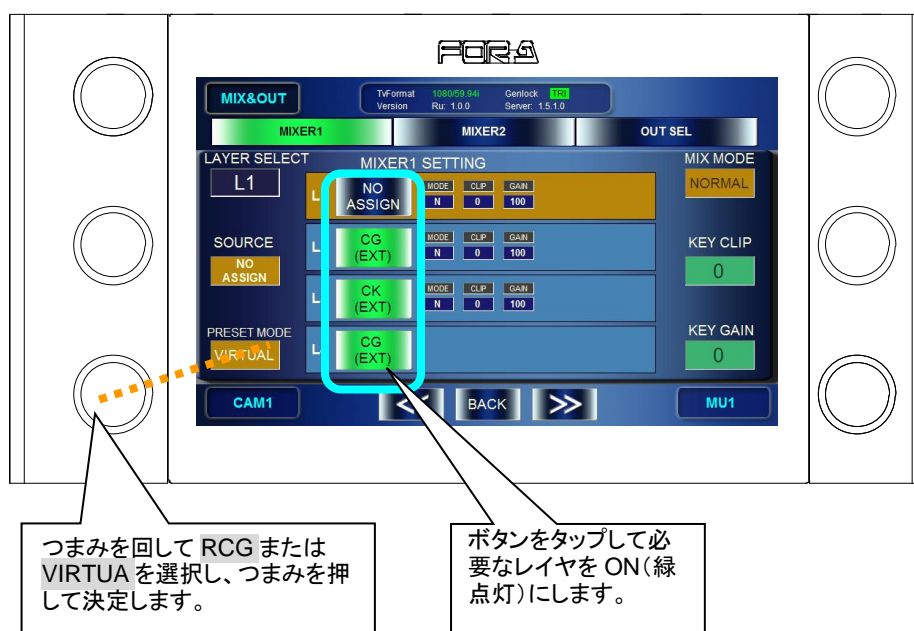
4-4. 合成映像のレイヤを設定する

MBP-1244/100CK には MIXER1 と MIXER2 の 2 系統の映像合成回路があります。MIXER1 の合成映像は OUT1、OUT2 から出力できます。MIXER2 の合成映像は OUT3、OUT4 から出力できます。

合成回路はそれぞれ 4 つのレイヤ（上から順に L1、L2、L3、L4）で構成されています。レイヤの構成は本機がデフォルトで持っている RCG モード、バーチャルモードの 2 つの変更不可なレイヤプリセットモードと、ユーザがレイヤ構成を自由にカスタマイズ可能なレイヤユーザモードの 3 つを持っています。

4-4-1. MIXER1 の合成レイヤを RCG または VIRTUAL モードにする

- 1) 前面パネルの **MIX** ボタンを押して [MIX&OUT] メニュー画面を表示します。
- 2) MIX メニュー画面で **MIXER1** ボタンをタップします。
- 3) 左下のつまみを回して PRESET MODE ボックスを **VIRTUAL** または **RCG** とし、左下のつまみを押して選択を決定します。決定すると PRESET MODE ボックスの背景色が橙色に変わります。（現在選択されている PRESET MODE を橙色背景で表示）
- 4) 合成したいレイヤのレイヤボタンをタップして ON にします（緑点灯させる）。



プリセットモード時のレイヤ設定は下表のようになります。

プリセットモード	L1	L2	L3	L4
Virtual	NO ASSIGN	CG 映像 *1 (マスク、前景オブジェクト)	クロマキー映像	CG 映像 *1 (背景オブジェクト)
RCG	CG 映像 *2 (マスク、前景オブジェクト)	クロマキー映像	CG 映像 *2 (挟み込みオブジェクト)	カメラ映像

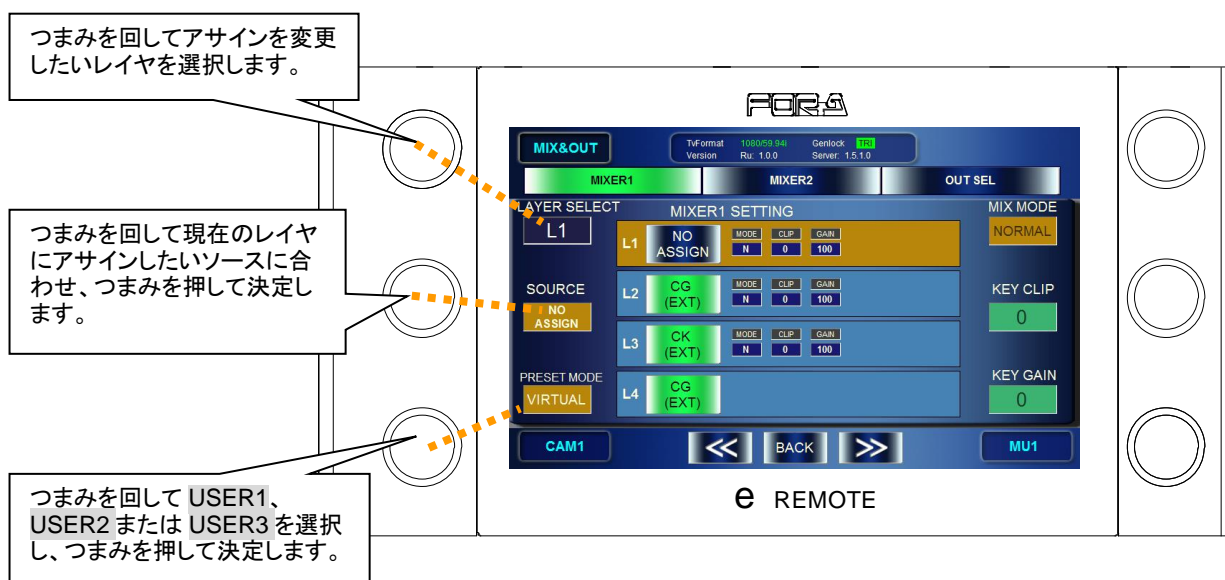
*1 L2、L4 とも同じ映像を使用します。

*2 L1、L3 とも同じ映像を使用します。

4-4-2. MIXER1 のレイヤ構成を自由にアサインする

MBP が持つレイヤユーザモードを使用すると、ユーザは各レイヤアサインを自由に変更することができます。3組のユーザモードが設定可能です。(USER1~USER3) また、ユーザモードは EVENT に保存することができます。

- 1) 前面パネルの **MIX** ボタンを押して (もしくは [TOP] メニューから **MIX** ボタンをタップする) [MIX&OUT] メニュー画面を表示します。
- 2) [MIX&OUT] メニュー画面で **MIXER1** ボタンをタップします。
- 3) 左下のつまみを回して PRESET MODE ボックスを **USER1**、**USER2** または、**USER3** のうち変更したいモードに合わせ、左下のつまみを押して選択を決定します。決定すると PRESET MODE ボックスの背景色が橙色になります。(現在選択されている PRESET MODE を橙色背景で表示)
- 4) 左上のつまみを回してアサインを変更したいレイヤを L1~L4 中から選択します。
- 5) 左中のつまみを回してレイヤにアサインするソース映像を選択し、左中つまみを押して選択を決定します。決定すると SOURCE ボックスの背景色が橙色になります。(現在選択されているソース映像を橙色背景で表示)
- 6) 合成したいレイヤのレイヤボタンを押して ON にします。



アサイン可能なソースは下表のようになります。

ソース名	説明
NO ASSIGN	信号をアサインしません。(BLACK 映像になります。)
CAM (INT/EXT)	カメラ信号です。 MBP-1244 に接続している場合は、CAM 端子入力信号(EXT)です。 MBP-100CK に接続している場合は、4-6-2の CK 素材の切替えにより、CAM 端子入力信号(EXT)と、静止画の内部生成信号(INT)が切替わります。
CK (INT/EXT)	クロマキー信号です。 MBP-1244 に接続している場合は、CAM 端子入力による CK 信号 (EXT) です。 MBP-100CK に接続している場合は、4-6-2の CK 素材の切替えにより CAM 端子入力信号による CK 信号 (EXT) と、内部生成の静止画による CK 信号 (INT) が切替わります。 この信号はクロマキーオプション MBP-12CK が装着されていない場合は選択できません。
CG (INT/EXT)	CG 信号です。 MBP-1244 に接続している場合は、Brainstorm による内部生成 CG (INT) です。 MBP-100CK に接続している場合は、CG(V/K)INPUT 端子入力信号 (EXT) です。

STILL	内部生成された静止画 CG 信号です。 MBP-100CK に接続している時のみ使用可能となります。
CG2	CG 信号の 2 系統目です。Brainstorm により生成されます。
V1 IN	入力端子 V1 IN/V2 IN に入力される信号 (V/K) をアサインします。
V2 IN	入力端子 AUX2 に入力される信号をアサインします。 V2 はビデオ信号のみの信号として内部処理されます。

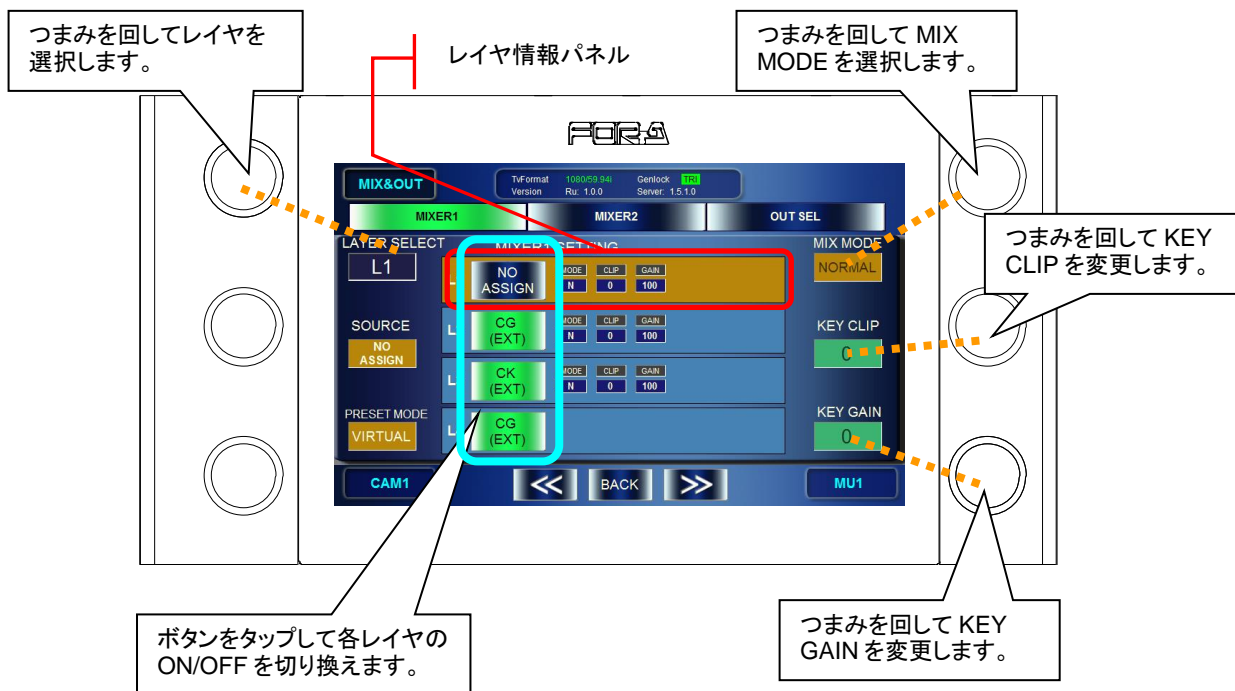
※ CG2、V1、V2 は MBP-100CK 接続時には無効となります。

4-4-3. MIXER1 の各レイヤの合成状態を変更する

- 1) 前面パネルの **MIX** ボタンを押して (もしくは [TOP] メニューから **MIX** ボタンをタップする) [MIX&OUT] メニュー画面を表示します。
- 2) [MIX&OUT] メニュー画面で **MIXER1** ボタンをタップし、[MIXER1 SETTING] メニュー画面を開きます。
- 3) L1、L2、L3、L4 のレイヤボタンをそれぞれ押して表示/非表示 (ON/OFF) を切替えます。ボタンが緑のときは表示、ボタンが青のときは非表示になります。

合成の際に、MIX MODE、KEY CLIP、KEY GAIN の値を変更したいときは操作するレイヤを選択した上で各パラメータを変更します。

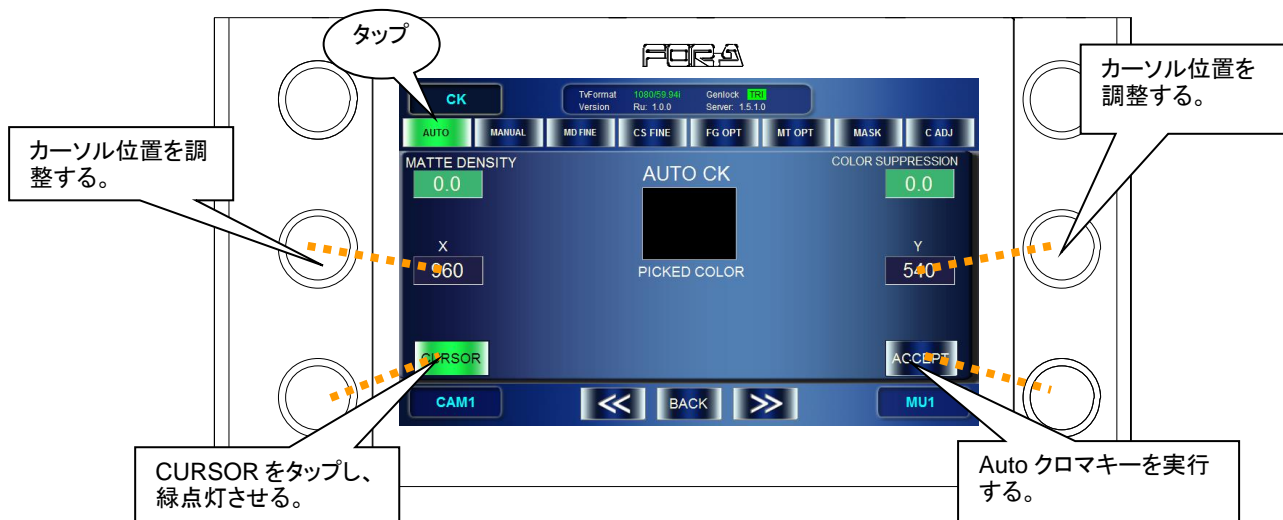
- 4) 左上のつまみを回して操作したいレイヤを選択します。L1、L2、L3、のレイヤ情報パネルのうち背景が橙色になっているパネルが現在選択されているレイヤとなります。(L4 に対しては MIX MODE 等の合成パラメータを設定することはできません)
- 5) 選択したレイヤとその下のレイヤの合成状態を操作します。
 - 右上のつまみを回してレイヤの合成方法 (ADD,NORMAL) を選択し、つまみを押して決定します。決定すると MIX MODE ボックスの背景色が橙色に変わります。
 - 右中のつまみを回して合成の際のキークリップレベルを変更します。
 - 右下のつまみを回して合成の際のキーゲインレベルを変更します



4-5. クロマキー映像を作成する（MBP-12CK or MBP-100CK）

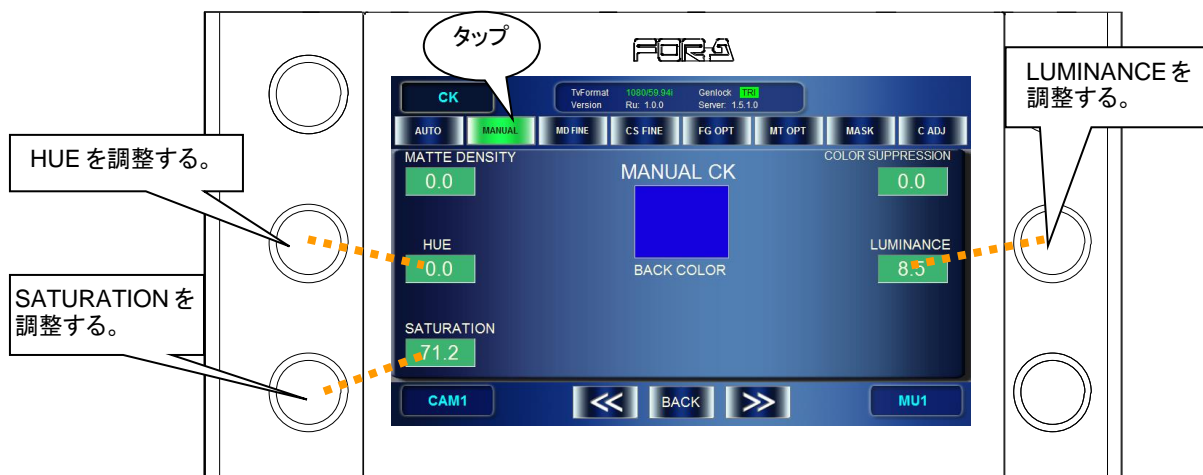
4-5-1. オートクロマキー

- 1) 前面パネルの **CK** ボタンを押して（もしくは GUI の [TOP] 画面から **CK** ボタンをタップして）[CK] メニューを表示します。
- 2) [CK] メニュー画面で [AUTO CK] メニューが表示されていない場合は GUI 上 **AUTO** ボタンをタップし [AUTO CK] メニューを表示します。
- 3) 左下のつまみを押す、または GUI 上で **CURSOR** ボタンをタップし出力映像にクロマキーカーソルを表示します。（**CURSOR** ボタンが緑になります。）
- 4) 左中のつまみ、および右中のつまみを回し、出力画面上で抜きたい色の箇所にクロマキーカーソルの十字交差点を移動します。
- 5) 右下のつまみを押す、または **ACCEPT** ボタンをタップし決定します。（クロマキーカーソルは自動で非表示になります。）




4-5-2. マニュアルクロマキー

- 1) 前面パネルの **CK** ボタンを押して（もしくは GUI の [TOP] 画面から **CK** ボタンをタップして）[CK] メニューを表示します。
- 2) [CK] メニュー画面で [MANUAL CK] メニューが表示されていない場合は GUI 上 **MANUAL** ボタンをタップし [MANUAL CK] メニューを表示します。
- 3) 左中、左下、右中のつまみそれぞれで、クロマキーで抜きたい色の“HUE”、“SATURATION”、“LUMINANCE”を指定します。指定された色は GUI 中の BACK COLOR と表記された文字の上のボックスに表示されます。




4-6. カメラ映像を静止画としてキャプチャする (MBP-100CK)

MBP-100CKはCAM端子入力信号をキャプチャし、MBP-100CK内のキャプチャ画像専用のディレクトリに静止画ファイルとして保存することが可能です。また静止画ファイルをカメラ映像の代わりとすることも可能です。

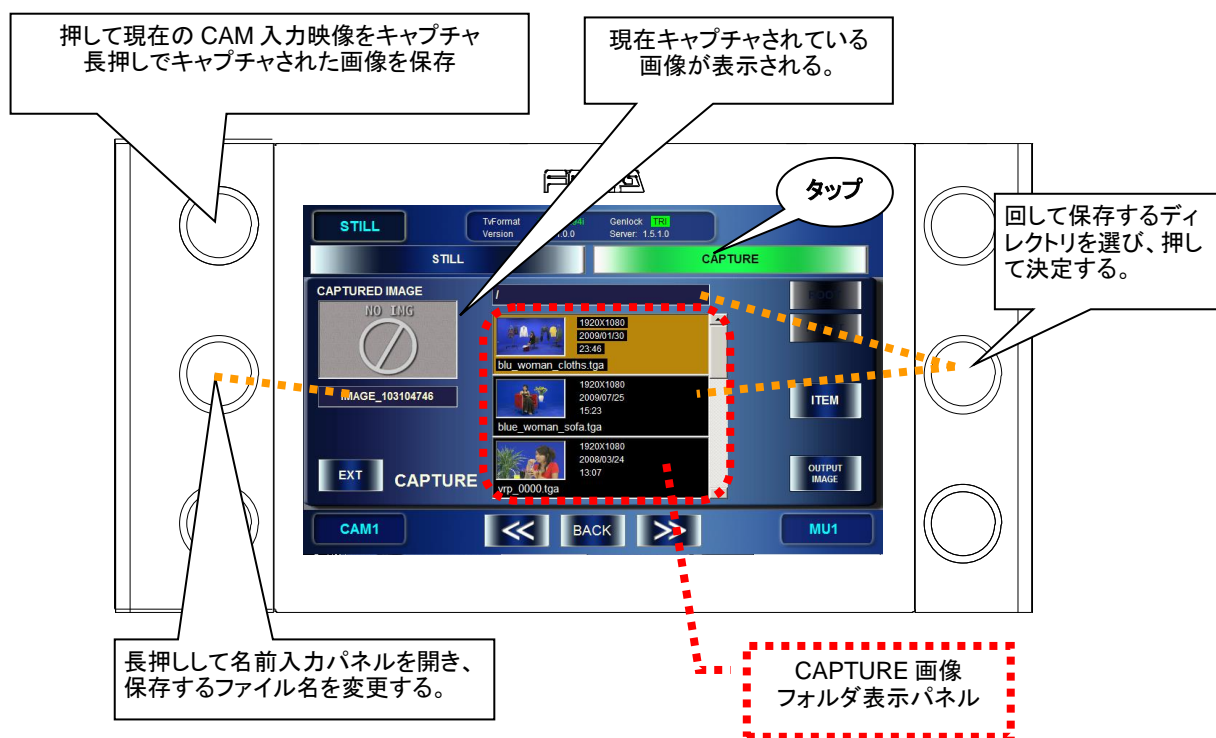
 MBP-RUAにはディレクトリの作成や削除、またキャプチャ済みのファイルの削除や名前変更などの管理機能はありません。管理する場合はMBP-100CKにプレインストールされているMBP-12GUIを使用してください。

4-6-1. カメラ映像をキャプチャする

- 1) 前面パネルの **STILL** ボタンを押して（または [TOP] 画面にて **STILL&CAPTURE** ボタンをタップし）[STILL&CAPTURE] メニュー画面を表示します。
- 2) [STILL&CAPTURE] メニュー画面で **CAPTURE** ボタンをタップ、[CAPTURE] 画面を開きます。
- 3) CAPTURE 画像ディレクトリ表示パネル上で、右中のつまみやGUI上の **ROOT**、**PARENT** ボタンを操作し、キャプチャした画像を保存するディレクトリを選択します。
- 4) 左上のつまみを押し、CAM入力映像をキャプチャします。CAPTURED IMAGEにキャプチャした静止画像が表示されます。キャプチャをやり直す場合は再度、左上のつまみを押します。（静止画像が更新されます）
- 5) 左中のつまみを長く押し、文字列入力パネルを開いて保存するファイル名を決定します。

 文字の入力方法は「5-9-1. 文字列入力パネル」を参考にしてください。

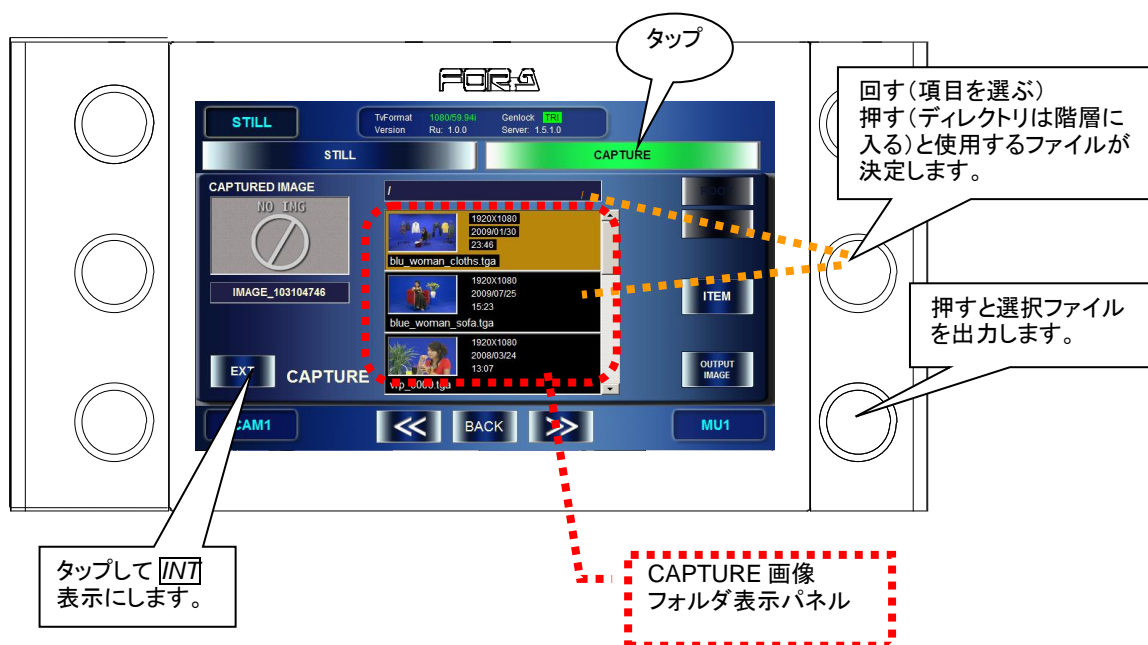
- 6) 左上のつまみを長く押しと現在選択されているディレクトリに 5)で決定したファイル名（拡張子は自動的にTGAとなる）で保存されます。同一名のファイルが存在する場合は"Cannot save. The file name is already in use"とメッセージが出力され、保存がキャンセルされます。



4-6-2. キャプチャした画像をクロマキー素材として使用する

- 1) 前面パネルの **STILL** ボタンを押して（または [TOP] 画面にて **STILL&CAPTURE** ボタンをタップし） **[STILL&CAPTURE]** メニュー画面を表示します。
- 2) **[STILL&CAPTURE]** メニュー画面で **CAPTURE** ボタンを押し、**[CAPTURE]** 画面を開きます。
- 3) GUI 上の左下が **EXT** ボタンのときはタップして、**INT** ボタンが表示されるようにし、内部生成された画像をクロマキーの素材とする **内部クロマキーモード** とします。
- 4) **CAPTURE** 画像ディレクトリ表示パネル上で、右中のつまみや GUI 上の **ROOT**、**PARENT** ボタンを操作し、使用したいファイル画像が保存されているディレクトリを選択します。
- 5) 右下のつまみを押し、内部クロマキー素材として使用したい画像を決定します。"Do you want to output this picture?" と表示されるので、"OK" を押して出力を決定します。決定されるとクロマキー素材映像が選択したファイルの画像になります。（同時に「4-3-2」の CAM 出力も同映像になります）

☞ 現在クロマキー素材として出力されている映像は実際の出力映像で確認してください。



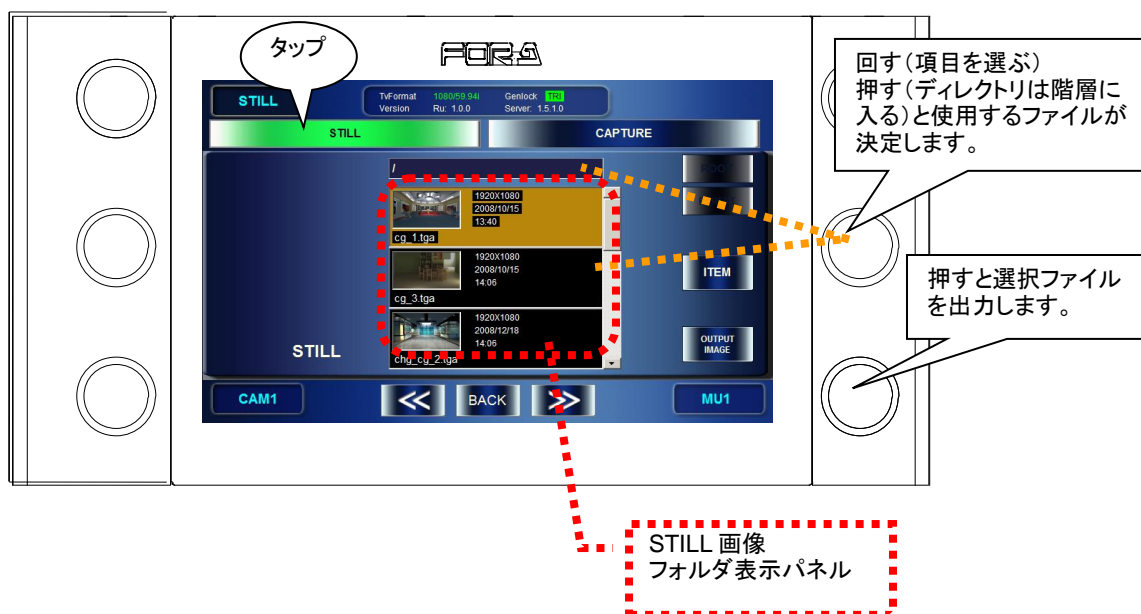
4-7. 静止画ファイルを STILL として使用する (MBP-100CK)

MBP-100CK は MBP-100CK 内の専用ディレクトリに保存されている静止画像ファイルをレイヤ素材として使用することが可能です。

☞ MBP-RUA には指定ディレクトリの作成や削除、静止画像の追加、削除、名前変更などの管理機能はありません。管理する場合は MBP-100CK にプレインストールされている MBP-12GUI を使用してください。

- 1) 前面パネルの **STILL** ボタンを押して (または [TOP] 画面にて **STILL&CAPTURE** ボタンをタップし) **[STILL&CAPTURE]** メニュー画面を表示します。
- 2) **[STILL&CAPTURE]** メニュー画面で **STILL** ボタンをタップし、**[STILL]** 画面を開きます。
- 3) STILL 画像ディレクトリ表示パネル上で、右中のつまみや GUI 上の **ROOT**、**PARENT** ボタンを操作し、使用したいファイル画像が保存されているディレクトリを選択します。
- 4) 右下のつまみを押し、STILL 画像として使用したい画像を決定します。"Do you want to output this picture?"と表示されるので、**OK** ボタンをタップして出力を決定します。決定されると STILL 出力映像が選択したファイルの画像になります。

☞ 現在 STILL 素材として出力されている映像は実際の出力映像で確認してください。



4-8. イベントを使う

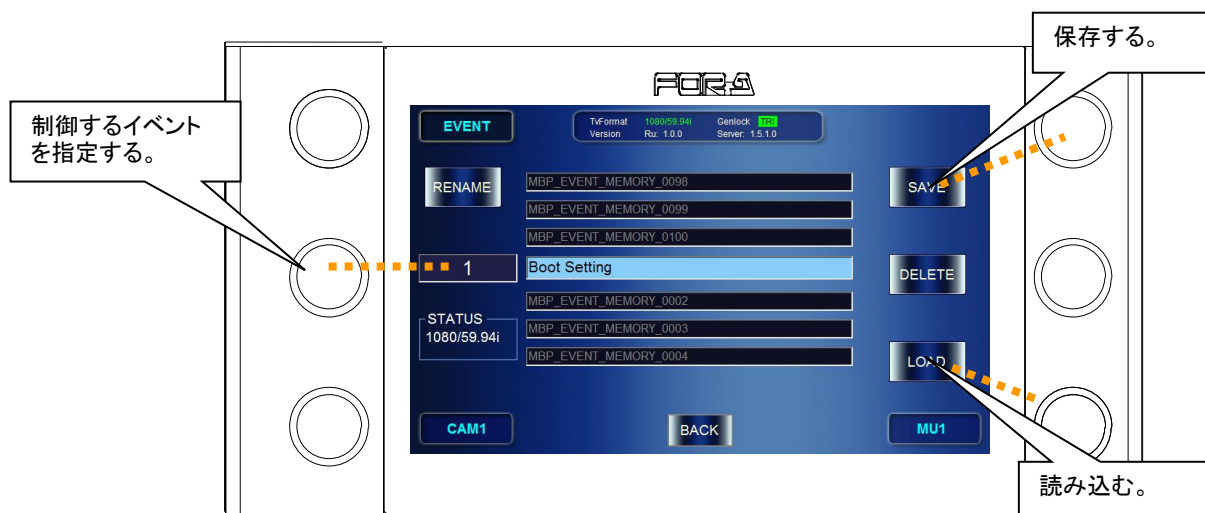
MBP-1244/100CKは自身の設定データ全てをイベントとして保存することが可能です。
MBP-RUAはそのイベントに対し、保存、読み出し、削除、名前の変更が可能です。

4-8-1. イベントを保存する

- 1) 前面パネルの **EVENT** ボタンを押して（または [TOP] 画面で **EVENT** ボタンをタップして）[EVENT] メニューを表示します。
- 2) 左中のつまみを回し保存したいイベント番号を選択します。（左中のつまみを回すとGUI中央のリストが上下します。リスト上、黒背景で名前表示されているイベントは未保存です。）
- 3) 右上のつまみを押すかGUI上の **SAVE** ボタンをタップすると“Do you want to save EVENT No*?”と表示され、**OK** ボタンをタップすると保存されます。（既に保存されているイベントを選択した場合はデータが上書きされます。）

4-8-2. イベントを読み込む

- 前面パネルの **EVENT** ボタンを押して（または [TOP] 画面で **EVENT** ボタンをタップして）[EVENT] メニューを表示します。
- 左中のつまみを回し読み込みたいイベント番号を選択します。（保存されていないイベントを選択したときは GUI 上の **LOAD** ボタンはグレイアウトし読み込みが行えません。）
- 右下のつまみを押すか、GUI 上の **LOAD** ボタンをタップすると“Do you want to load EVENT No*?”と表示され、**OK** ボタンをタップすると読み込みが実行され、各パラメータに読み込んだイベントデータに保存されていたものに変更されます。



4-9. パラメータをコピーする

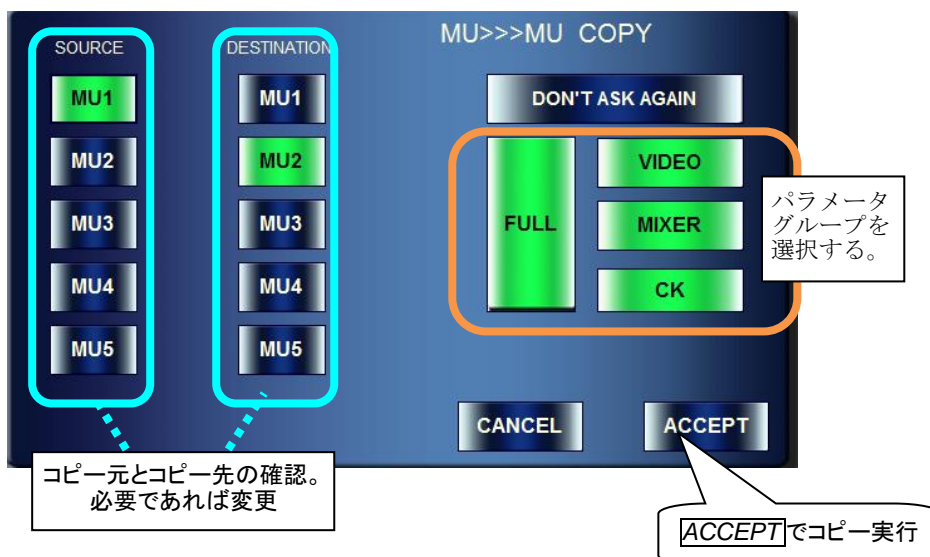
MBP-RUA では、MU 間 (接続中の MBP-1244 間または MBP-100CK 間) のパラメータコピーや、MU 内のカメラ間のパラメータコピーが可能です。コピー操作はどのメニュー画面からでも操作できます。

4-9-1. MU 間のコピー

- 1) GUI 画面の右下の **MU** ボタンをダブルタップし、**[MU SELECT]** 画面を GUI 下部に表示させます。
- 2) コピー元の MU ボタンをドラッグしコピー先の MU ボタンにドロップします。
下図の例ではコピー元を MU1、コピー先を MU2 としています。



- 3) ドロップすると下図のような **[MU COPY]** 画面が表示されます。コピー元 (SOURCE) とコピー先 (DESTINATION) の MU を確認します。ここで変更することもできます。コピーするパラメータグループを選択します。**ACCEPT** ボタンをタップしてコピーを実行します。**CANCEL** ボタンはコピーを中止します。



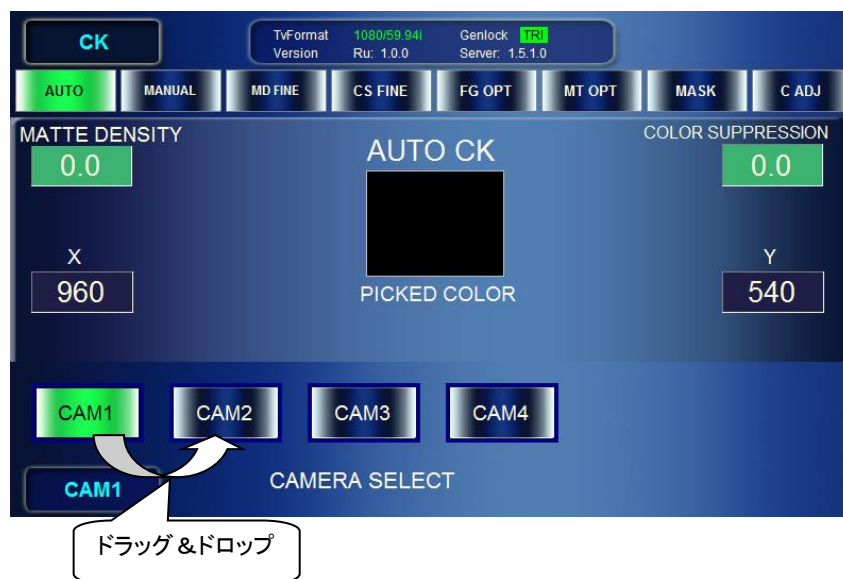
パラメータグループ

グループボタン	コピーされるパラメータ	メニュー
VIDEO	テレビジョン方式 Genlock フォーマット/位相 カメラディレイ (ON/OFF, Frame, V, H)	[SETUP/VIDEO] [SETUP/DELAY SETTING]
MIXER	USER1~USER3 のレイヤアサイン ミキサ 1、2 の設定 (PRESET MODE , ON/OFF,MIX MODE) 出力チャンネル設定 (OUT1~OUT4)	[MIX/MIXER1] [MIX/MIXER2] [MIX/OUT SEL]
CK	各カメラパラメータ設定 出力チャンネル毎のクロマキーカーソル 表示設定	[CK] 全般 [SETUP/OUT OP]
FULL	上記全てのパラメータに加え、EVENT メモリ全て	—

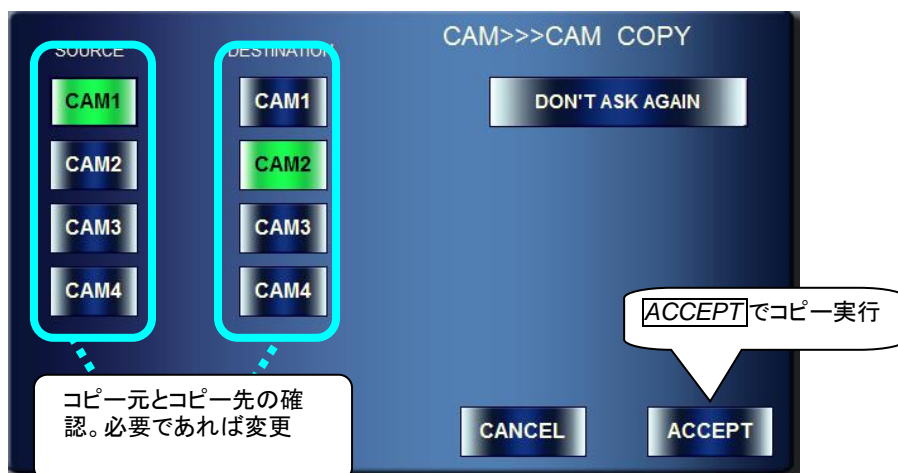
☞ [MU COPY] 画面の **DON'T ASK AGAIN** ボタンをタップすると、ドラッグ&ドロップするだけで、すぐに COPY が実行できるようになります。直前に設定されていたパラメータが使用されます。このとき [MU COPY] 画面は表示されません。再度 [MU COPY] 画面を表示するには、[SETUP/RU] 画面の **COPY OPT DIALOG** ボタンをタップして緑に点灯させてください。

4-9-2. カメラ間コピー

- 1) GUI画面の左下の **CAM** ボタンをダブルタップし、[CAMERA SELECT]画面を GUI 下部に表示させます。
- 2) コピー元の CAM ボタンをドラッグしコピー先の CAM ボタンにドロップします。下図の例ではコピー元を CAM1 コピー先を CAM2 としています。



- 3) ドロップすると下図のような [CAMERA COPY] 画面が表示されます。コピー元 (SOURCE) とコピー先 (DESTINATION) のカメラを確認してください。ここで変更することもできます。[ACCEPT] ボタンをタップしてコピーを実行します。[CANCEL] ボタンはコピーを中止します。



[CAMERA COPY] 画面の [DON'T ASK AGAIN] ボタンをタップすると次回のコピーから [CAMERA COPY] 画面を表示せず、ドラッグ&ドロップで直接 COPY が実行されるようになります。再度 [CAMERA COPY] 画面を表示するには [SETUP/RU] 画面の [COPY OPT DIALOG] ボタンをタップし同ボタンを緑点灯するようにします。

4-10. 操作禁止処理

MBP-RUA では接続している MBP-1244/100CK が映像送出中等の際に、誤操作を防ぐ為に操作禁止機能が実装されています。MBP-RUA では以下の3種類の操作禁止が可能です。

表1：各ロック機能の動作

ロック機能	MBP-1244/100CK の制御		ロック解除	
	ロックをかけたクライアント	左記以外のクライアント	ロックをかけたクライアント	左記以外のクライアント
On Air ロック (標準機能)	MBP-1244/100CK の操作は禁止されます。各設定の閲覧と RU 自身の設定変更は可能です。	同左	前面パネル ON AIR ボタン長押しでロック解除可能	ON AIR ボタン長押し時、パスワード入力によりロック解除可能
Exclusive ロック	通常操作が可能です。	MBP-1244/100CK の操作は禁止されます。各設定の閲覧と RU 自身の設定変更は可能です。	前面パネル EX LOCK ボタン長押しでロック解除可能	EX LOCK ボタン長押し時パスワード入力によりロック解除可能
Operation ロック	RU 上で Operation Lock 解除以外の全ての操作は禁止されます。	通常操作が可能です。	前面パネル OP LOCK ボタン長押しでロック解除可能	ロック解除不可

*クライアントとは MBP-1244/100CK に接続されている MBP-RUA、MBP-12GUI を指します。

4-10-1. On Air ロック（標準機能）

接続している MBP-1244/100CK において、ロックを有効にしたクライアントを含む全てのクライアントからの制御を禁止（ロック）します。本ロック機能を有効にする場合は、前面パネルボタンの標準アサインボタンの中にある **ON AIR** のボタンを使用します。

On Air ロックを有効にする

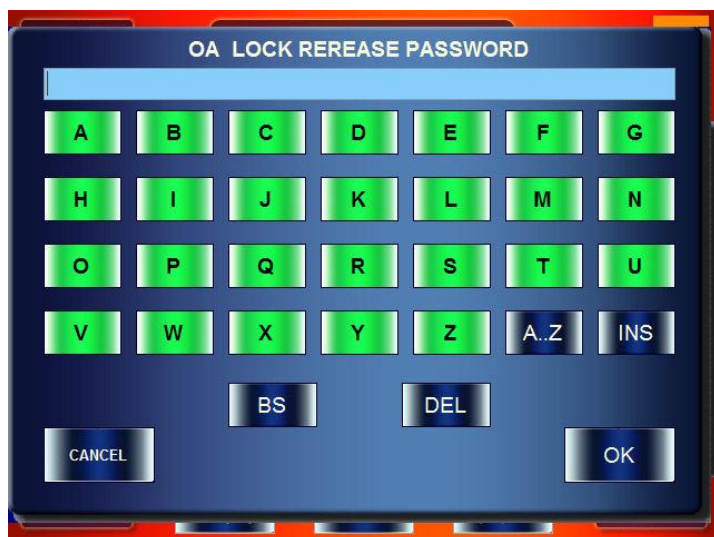
- 1) On Air ロックをかけたい MBP-1244/100CK を、前面パネル MU ボタンを使用して選択します。
- 2) 前面パネルの **ON AIR** ボタンを押します。

On Air ロックが有効になると RU の画面は以下のように赤を基調とした画面に変わります。（自分以外のクライアントがロックをかけた場合も同様な画面となります。）



On Air ロックを解除する

- 1) **ON AIR** ボタンを長く押しします。
On Air ロックを有効化したのが自分自身の場合はここでロックは解除され、通常画面に戻ります。有効化したのが自分以外の場合は以下に進みます。
- 2) パスワード入力画面が表示されますので、MBP-1244/100CK 側で設定されているパスワードを入力します。



文字の入力方法は「5-9-1. 文字列入力パネル」を参考にしてください。
(ただし入力文字は“*”で隠されます。)

- 3) パスワード入力が成功するとロックは解除され通常操作が可能になります。

4-10-2. Exclusive ロック

接続している MBP-1244/100CK において、ロックを有効にしたクライアント以外全てのクライアントからの制御を禁止（ロック）します。

注意

本ロック機能は前面パネルボタンが標準アサイン状態では制御できません。
アサインを変更し、**EX LOCK** ボタンをアサインする必要があります。

Exclusive ロックはロックを有効にしたクライアントとそれ以外のクライアントでは動作が変わります。

4-10-2-1. 自分自身がロックを有効にしたとき

Exclusive ロックを有効にする

- 1) Exclusive ロックをかけたい MBP-1244/100CK を、MU ボタンを使用して選択します。
- 2) 前面パネルの **EX LOCK** ボタンを押します。

Exclusive ロックが有効になると RU の画面右上 (TOP メニューは中央下) に緑背景で **EX** の文字が表示されます。ロックかけた自分は通常通り MBP-1244/100CK を制御可能ですが、自分以外のクライアントは制御不能になります。

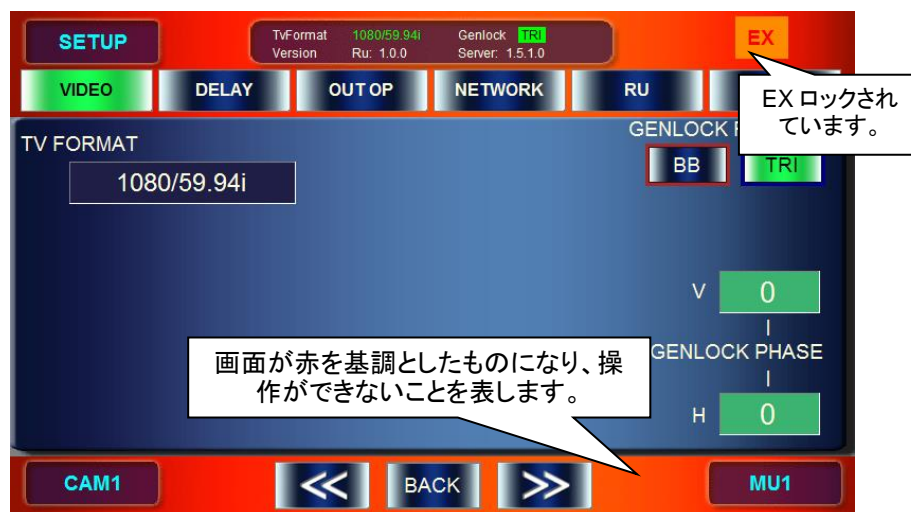


Exclusive ロックを解除する

- 1) **EX LOCK** ボタンを長く押します。
- 2) **EX LOCK** が解除され、他のクライアントも通常操作可能になります。

4-10-2-2. 自分以外のクライアントからロックされたとき

自分以外のクライアントから Exclusive ロックを有効にされると、本機は赤を基調とした画面となり、Exclusive ロック解除以外の MBP-1244/100CK の操作は不可能になります。



Exclusive ロックを解除する

- 1) **EX LOCK** ボタンを長く押します。
- 2) パスワード入力画面が表示されますので、MBP-1244/100CK 側で設定されているパスワードを入力します。
- 3) パスワード入力成功するとロックは解除され通常操作が可能になります。

4-10-3. Operation ロック

Operation ロックはロックをかけた MBP-RUA のみを操作禁止にします。
本機能を有効にすると MBP-RUA 上での Operation ロック解除以外の操作が禁止されます。
MBP-1244/100CK 自体は操作禁止になりませんので、他のクライアントからの操作は通常通り可能です。

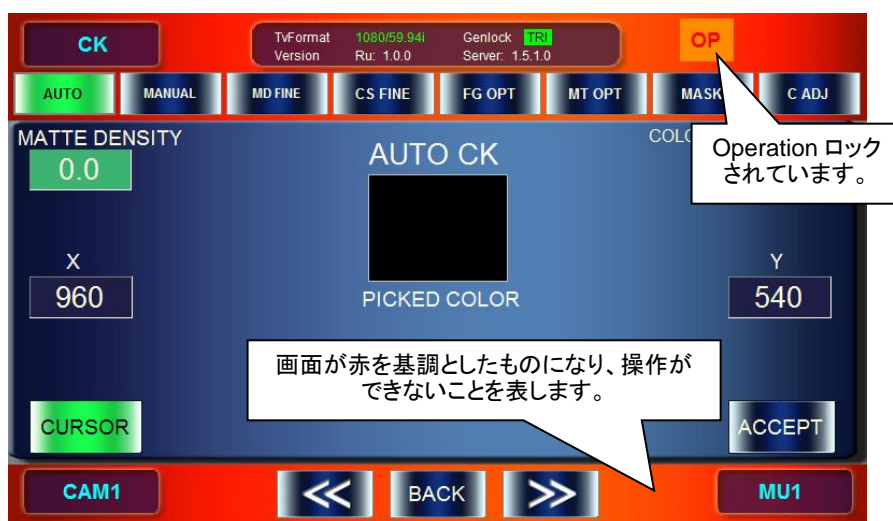
注意

本ロック機能は前面パネルボタンが標準アサイン状態では制御できません。
アサインを変更し、**OP LOCK** ボタンをアサインする必要があります。

Operation ロックを有効にする

- 1) 前面パネルの **OP LOCK** ボタンを押す。

Operation ロックが有効になると RU の画面は以下のように赤を基調とした画面に変わります。



Operation ロックを解除する

- 1) 前面パネルの **OP LOCK** ボタンを長く押しロック状態を解除します。

4-11. フリーアサイン機能

MBP-RUA の前面パネルに装備されているボタンおよび、バンクインジケータはカスタマイズ可能となっています。

- カスタマイズはアサインファイル（拡張子 “mru”）を指定することで行います。（SETUP→RU SETTING→SW CONFIG）
- アサインファイル（*.mru）は RU の C:¥MBP-RUA¥DATA 以下に保存してください。
- アサインファイルはこの GUI とは別のアプリケーション “MBP-RUA Switch Assign Builder”（MBP-RUA_SAB）で行います。
- アサイン可能な機能は以下の機能です。（■部分は標準アサイン）

機能カテゴリ	機能名称	動作	添付フィルム
MENU SELECT	TOP MENU	TOP メニューを開きます。	TOP
	CK MENU	CK メニューを開きます。	CK
	MIX&OUT MENU	MIX&OUT メニューを開きます。	MIX
	EVENT MENU	EVENT メニューを開きます。	EVENT
	SETUP MENU	SETUP メニューを開きます。	SETUP
	STILL MENU	STILL&CAPTURE メニューを開きます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	STILL
	MENU NEXT	各メニュー内で次のサブメニューへ移動します。	MENU NEXT
	MENU PREV	各メニュー内で前のサブメニューへ移動します。	MENU PREV
MU SELECT	MENU RETURN	TOP メニューに戻ります。	MENU RETURN
	MU1 SELECT	MU1 を選択します。	MU1
	MU2 SELECT	MU2 を選択します。	MU2
	MU3 SELECT	MU3 を選択します。	MU3
	MU4 SELECT	MU4 を選択します。	MU4
CAM SELECT	MU5 SELECT	MU5 を選択します。	MU5
	CAM1 SELECT	CAM1 を選択します。	CAM1
	CAM2 SELECT	CAM2 を選択します。	CAM2
	CAM3 SELECT	CAM3 を選択します。	CAM3
OUT1 SELECT	CAM4 SELECT	CAM4 を選択します。	CAM4
	OUT1 MIXV	OUT1 出力の映像を合成ビデオ映像に切替えます。	MIX V
	OUT1 MIXK	OUT1 出力の映像を合成キー映像に切替えます。	MIX K
	OUT1 MONI V CG	OUT1 出力の映像を CG ビデオ映像に切替えます。	CG V
	OUT1 MONI V CK	OUT1 出力の映像をクロマキービデオ映像に切替えます。	CK V
	OUT1 MONI CAM	OUT1 出力の映像をカメラ映像に切替えます。	CAM
	OUT1 MONI K CG	OUT1 出力の映像を CG キー映像に切替えます。	CG K
	OUT1 MONI K CK	OUT1 出力の映像をクロマキーキー映像に切替えます。	CK K
	OUT1 MONI V STILL	OUT1 出力の映像を STILL ビデオ映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST V
OUT1 MONI K STILL	OUT1 出力の映像を STILL キー映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST K	

次ページへつづく

機能 カテゴリ	機能名称	動作	添付 フィルム
OUT1 SELECT	OUT1 MONI V CG2	OUT1 出力の映像を CG2 ビデオ映像に切替えます。	CG2 V
	OUT1 MONI K CG2	OUT1 出力の映像を CG2 キー映像に切替えます。	CG2 K
	OUT1 MONI V V1	OUT1 出力の映像を V1 IN (V1 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V1 V
	OUT1 MONI K V1	OUT1 出力の映像を V2 IN (V1 キー信号) 入力映像に切替えます。	V1 K
	OUT1 MONI V V2	OUT1 出力の映像を AUX2 (V2 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V2 V
OUT2 SELECT	OUT2 MIXV	OUT2 出力の映像を合成ビデオ映像に切替えます。	MIX V
	OUT2 MIXK	OUT1 出力の映像を合成キー映像に切替えます。	MIX K
	OUT2 MONI V CG	OUT2 出力の映像を CG ビデオ映像に切替えます。	CG V
	OUT2 MONI V CK	OUT1 出力の映像をクロマキービデオ映像に切替えます。	CK V
	OUT2 MONI CAM	OUT2 出力の映像をカメラ映像に切替えます。	CAM
	OUT2 MONI K CG	OUT2 出力の映像を CG キー映像に切替えます。	CG K
	OUT2 MONI K CK	OUT2 出力の映像をクロマキーキー映像に切替えます。	CK K
	OUT2 MONI V STILL	OUT2 出力の映像を STILL ビデオ映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST V
	OUT2 MONI K STILL	OUT2 出力の映像を STILL キー映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST K
	OUT2 MONI V CG2	OUT2 出力の映像を CG2 ビデオ映像に切替えます。	CG2 V
	OUT2 MONI K CG2	OUT2 出力の映像を CG2 キー映像に切替えます。	CG2 K
	OUT2 MONI V V1	OUT2 出力の映像を V1 IN (V1 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V1 V
	OUT2 MONI K V1	OUT2 出力の映像を V2 IN (V1 キー信号) 入力映像に切替えます。	V1 K
OUT2 MONI V V2	OUT2 出力の映像を AUX2 (V2 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V2 V	
OUT3 SELECT	OUT3 MIXV	OUT3 出力の映像を合成ビデオ映像に切替えます。	MIX V
	OUT3 MIXK	OUT3 出力の映像を合成キー映像に切替えます。	MIX K
	OUT3 MONI V CG	OUT3 出力の映像を CG ビデオ映像に切替えます。	CG V
	OUT3 MONI V CK	OUT3 出力の映像をクロマキービデオ映像に切替えます。	CK V
	OUT3 MONI CAM	OUT3 出力の映像をカメラ映像に切替えます。	CAM
	OUT3 MONI K CG	OUT3 出力の映像を CG キー映像に切替えます。	CG K
	OUT3 MONI K CK	OUT3 出力の映像をクロマキーキー映像に切替えます。	CK K
	OUT3 MONI V STILL	OUT3 出力の映像を STILL ビデオ映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST V
	OUT3 MONI K STILL	OUT3 出力の映像を STILL キー映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST K
	OUT3 MONI V CG2	OUT3 出力の映像を CG2 ビデオ映像に切替えます。	CG2 V
	OUT3 MONI K CG2	OUT3 出力の映像を CG2 キー映像に切替えます。	CG2 K
	OUT3 MONI V V1	OUT3 出力の映像を V1 IN (V1 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V1 V
	OUT3 MONI K V1	OUT3 出力の映像を V2 IN (V1 キー信号) 入力映像に切替えます。	V1 K
OUT3 MONI V V2	OUT3 出力の映像を AUX2 (V2 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V2 V	

次ページへつづく

機能 カテゴリ	機能名称	動作	添付 フィルム
OUT4 SELECT	OUT4 MIXV	OUT4 出力の映像を合成ビデオ映像に切替えます。	MIX V
	OUT4 MIXK	OUT4 出力の映像を合成キー映像に切替えます。	MIX K
	OUT4 MONI V CG	OUT4 出力の映像を CG ビデオ映像に切替えます。	CG V
	OUT4 MONI V CK	OUT4 出力の映像をクロマキービデオ映像に切替えます。	CK V
	OUT4 MONI CAM	OUT4 出力の映像をカメラ映像に切替えます。	CAM
	OUT4 MONI K CG	OUT4 出力の映像を CG キー映像に切替えます。	CG K
	OUT4 MONI K CK	OUT4 出力の映像をクロマキーキー映像に切替えます。	CK K
	OUT4 MONI V STILL	OUT4 出力の映像を STILL ビデオ映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST V
	OUT4 MONI K STILL	OUT4 出力の映像を STILL キー映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST K
	OUT4 MONI V CG2	OUT4 出力の映像を CG2 ビデオ映像に切替えます。	CG2 V
	OUT4 MONI K CG2	OUT4 出力の映像を CG2 キー映像に切替えます。	CG2 K
	OUT4 MONI V V1	OUT4 出力の映像を V1 IN (V1 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V1 V
	OUT4 MONI K V1	OUT4 出力の映像を V2 IN (V1 キー信号) 入力映像に切替えます。	V1 K
	OUT4 MONI V V2	OUT4 出力の映像を AUX2 (V2 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V2 V
MIX SELECT	MIXER1 LAYER1	MIXER1 のレイヤ 1 を ON/OFF します。	L1
	MIXER1 LAYER2	MIXER1 のレイヤ 2 を ON/OFF します。	L2
	MIXER1 LAYER3	MIXER1 のレイヤ 3 を ON/OFF します。	L3
	MIXER1 LAYER4	MIXER1 のレイヤ 4 を ON/OFF します。	L4
	MIXER2 LAYER1	MIXER2 のレイヤ 1 を ON/OFF します。	L1
	MIXER2 LAYER2	MIXER2 のレイヤ 2 を ON/OFF します。	L2
	MIXER2 LAYER3	MIXER2 のレイヤ 3 を ON/OFF します。	L3
	MIXER2 LAYER4	MIXER2 のレイヤ 4 を ON/OFF します。	L4
EVENT LOAD	EVENT LOAD1	イベント番号 1 のイベントをロードします。	EVENT1
	EVENT LOAD2	イベント番号 2 のイベントをロードします。	EVENT2
	EVENT LOAD3	イベント番号 3 のイベントをロードします。	EVENT3
	EVENT LOAD4	イベント番号 4 のイベントをロードします。	EVENT4
	EVENT LOAD5	イベント番号 5 のイベントをロードします。	EVENT5
	EVENT LOAD6	イベント番号 6 のイベントをロードします。	EVENT6
	EVENT LOAD7	イベント番号 7 のイベントをロードします。	EVENT7
	EVENT LOAD8	イベント番号 8 のイベントをロードします。	EVENT8
	EVENT LOAD9	イベント番号 9 のイベントをロードします。	EVENT9
	EVENT LOAD10	イベント番号 10 のイベントをロードします。	EVENT10
OTHER BUTTON	DELAY ON	カメラディレイ機能を ON/OFF します。	DELAY ON
	VIRTUAL PRESET	MIXER 1 および MIXER2 のレイヤプリセットを VIRTUAL モードにします。	VIRTUAL
	RCG PRESET	MIXER 1 および MIXER2 のレイヤプリセットを RCG モードにします。	RCG
	ONAIR LOCK	ONAIR ロックを有効/無効にします。	ON AIR
	EXCLUSIVE LOCK	EXCLUSIVE ロックを有効/無効にします。	



MBP-RUA_SAB および各機能に対するボタンフィルムを標準で添付していますので、ユーザ自身で変更することも可能です。MBP-RUA_SAB については本書付録にて説明しています。付録を参照してください。

5. メニュー詳細

5-1. カメラ選択画面

左下のカメラ選択ボタンをタッチパネルでダブルタップすると、下記のようなカメラの選択画面が表示されます。カメラ選択画面はどのメニューからもアクセスできます。



CAM1～**CAM4** ボタンをタップしてカメラを選択します。

選択されたカメラボタンは緑色に変わり、カメラ選択ボタンの表示も変わります。

NO	タッチパネル操作	動作
①	CAM1 をタップ	CAM1 を選択します。
②	CAM2 をタップ	CAM2 を選択します。
③	CAM3 をタップ	CAM3 を選択します。
④	CAM4 をタップ	CAM4 を選択します。

カメラの変更は、前面パネルの **CAM1**～**CAM4** ボタンでも可能です。

カメラ選択画面から前の画面に戻る場合は、カメラ選択ボタンを1回タップします。

5-2. MU 選択画面

右下の MU 選択ボタンをタッチパネルにて、ダブルタップすると、下記のような MU 選択画面が表示されます。MU 選択画面は、どのメニューからからもアクセスできます。



最大 5 台までの MU が選択できます。

MU1～**MU5** ボタンをタップして MU を選択します。

選択された MU ボタンは緑色に変わり、画面右下の MU 選択ボタンの表示も変わります。また、前面パネルの **MU1**～**MU5** のボタンでも変更可能です。

選択できる MU ボタンは、②または③のように白字で表示されます。

MU1～**MU5** ボタン、前面パネルの MU ボタンは、下表のように状態を表示します。

NO	タッチパネルボタン表示	MU の状態	前面パネルボタン表示
①	青色ボタン／黒い文字 (点滅)	設定済み 接続されていない	消灯
②	青色ボタン／白い文字	選択可能	緑色に点灯
③	緑色ボタン (点灯)	制御中	橙色に点灯
④	黒色ボタン／黒い文字	設定なし 接続されていない	消灯

MU 選択画面から前の画面に戻るには、画面右下の MU 選択を 1 回タップします。

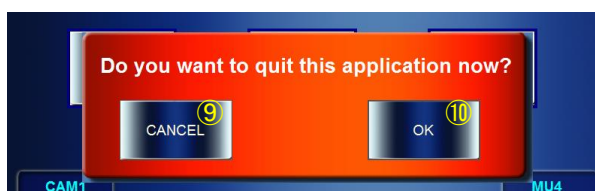
5-3. TOP 画面

前面パネルの「TOP」ボタンを押すとこのメニューが表示されます。

中央の各メニューボタンを選択(タップ)すると、各機能の設定画面に移ることができます。



NO	タッチパネル	動作
①	CK をタップ	[CK] メニューを表示 (MU 未接続時無効)
②	MIX&OUT をタップ	[MIX&OUT] メニューを表示 (MU 未接続時無効)
③	EVENT をタップ	[EVENT] メニューを表示 (MU 未接続時無効)
④	SETUP をタップ	[SETUP] メニューを表示
⑤	STILL&CAPTURE をタップ	[STILL&CAPTURE] メニューを表示 (MU 未接続時無効、また MBP-100CK 以外では無効)
⑥	INFO をタップ	[INFO] 画面を表示 (下図参照)
⑦	EXIT をタップ	QUIT ダイアログを表示 (下図参照)



⑧	CLOSE をタップ	INFO 画面を閉じ、TOP 画面に戻ります。
⑨	CANCEL をタップ	TOP 画面に戻ります。
⑩	OK をタップ	Shutdown ダイアログを表示 (上図参照)
⑪	CANCEL をタップ	ソフトを終了し Windows 画面に移行します。
⑫	OK をタップ	MBP-RUA が Shutdown します。

5-4. SETUP

MBP-1244/100CK のビデオ設定や MBP-RUA の設定を行います。

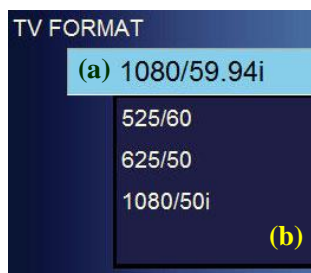
5-4-1. VIDEO メニュー

TV フォーマットや GENLOCK の調整を行います。



① TV FORMAT を表示、設定します。

タッチパネル	前面パネル	動作
---	左上つまみを押す	TV FORMAT 選択パネルを開閉します。



前面パネル	動作
左上つまみを回す	TV フォーマットを選択します。選択可能なフォーマットは (b) に表示されず。選択中のフォーマットは (a) に表示されます。
左上つまみを押す	選択した TV フォーマットを確定します。確認メッセージが表示されます。[OK] をタップし、TV フォーマットを変更します。

② GENLOCK FORMAT を選択します。

BB、**TRI** ボタンの状態表示

緑色ボタン：	現在使用中
赤枠ボタン：	選択中
黒色ボタン／白い文字：	選択可能
黒色ボタン／黒い文字：	選択不可 (TV フォーマットによる制限など)

タッチパネル	前面パネル	動作
BB ボタンをタップ	---	ブラックバースト信号を選択します。
TRI ボタンをタップ	---	3 値シンク信号を選択します。
---	右上つまみを押す	選択した信号 (赤枠ボタン) を確定します。
---	右上つまみを回す	別のボタンを選択します。(赤枠移動)

③④ GENLOCK フェーズ(V 方向、H 方向) の調整

表示: 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
③	---	右中つまみを回す	V 方向の値を増 (右回し) 減 (左回し) します。 FINE 時: ±1 COARSE 時: ±10 設定範囲: TV フォーマットにより変化します。
④	---	右下つまみを回す	H 方向の値を増 (右回し) 減 (左回し) します。 FINE 時: ±1 COARSE 時: ±10 設定範囲: TV フォーマットにより変化します。
③④	---	つまみを長く押す	FINE / COARSE を切替えます。
③④	---	つまみを押す	UNITY 値「0」 / VARIABLE 値を切替えます。

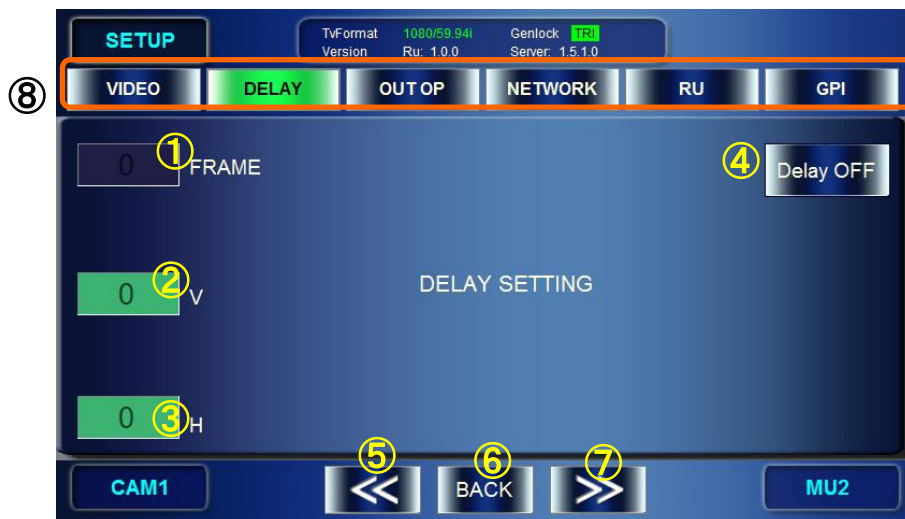
⑤ ⑥⑦⑧ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑤	<< をタップ	---	[GPI] メニューを表示
⑥	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑦	>> をタップ	---	[DELAY SETTING] メニューを表示
⑧	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-4-2. DELAY SETTING メニュー

カメラディレイの値を表示、設定するメニューです。

ディレイ機能が OFF の場合、Delay Frame、V、H の値は調整できません。



① カメラディレイのフレーム遅延値を表示、設定します。

表示: 設定値が表示されます。

タッチパネル	前面パネル	動作
---	左上つまみを回す	DELAY フレーム値を増減します。 増減値: ±1 設定範囲: 0~6 フレーム
---	左上つまみを押す	UNITY 値「0」 / VARIABLE 値を切替えます。



②③カメラのディレイ (V 方向、H 方向) 値を設定します。

表示: 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
②	---	左中つまみを回す	DELAY V 値を増減します。 FINE 時: ±1 COARSE 時: ±10 設定範囲: 0~最大値 (TV フォーマットによる)
③	---	左下つまみを回す	DELAY H 値を増減します。 FINE 時: ±2 COARSE 時: ±20 設定範囲: 0~最大値 (TV フォーマットによる)
②③	---	つまみを長く押す	FINE / COARSE を切替えます。
②③	---	つまみを押す	UNITY 値「0」 / VARIABLE 値を切替えます。

④ ディレイ機能の有効／非有効を表示・設定するボタンです。

表示:  ディレイ機能の有効 (緑色ボタン) /  無効 (青色ボタン) が表示されます。

タッチパネル	前面パネル	動作
Delay ボタンをタップ	右上つまみを押す	ディレイ機能の ON/OFF を切替えます。

⑥ ⑥⑦⑧ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑤	 をタップ	---	[VIDEO] メニューを表示
⑥	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑦	 をタップ	---	[OUTPUT OPTION] メニューを表示
⑧	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-4-3. OUTPUT OPTION メニュー

VIDEO OUTPUT1~4 出力映像上での、AUTO CK 時のカーソル表示の ON/OFF 設定です。



①②③④ AUTO CK カーソルの表示／非表示を設定します。

表示: カーソル表示 ON (緑色ボタン) /OFF (青色ボタン) が表示されます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	OUT1 をタップ	左上つまみを押す	OUTPUT1 のカーソル ON/OFF を切替えます。
②	OUT2 をタップ	右上つまみを押す	OUTPUT2 のカーソル ON/OFF を切替えます。
③	OUT3 をタップ	左中つまみを押す	OUTPUT3 のカーソル ON/OFF を切替えます。
④	OUT4 をタップ	右中つまみを押す	OUTPUT4 のカーソル ON/OFF を切替えます。

⑤⑥⑦⑧ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑤	<< をタップ	---	[DELAY SETTING] メニューを表示
⑥	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑦	>> をタップ	---	[NETWORK] メニューを表示
⑧	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-4-4. NETWORK メニュー

MBP-RUA 自身および、接続される MBP-1244 または MBP-100CK (MU) のネットワーク設定をすることができます。



- ① MBP-RUA の IP が表示されます。
- ② MU1 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。
- ③ MU2 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。
- ④ MU3 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。
- ⑤ MU4 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。
- ⑥ MU5 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。

- ⑦ ⑧⑨⑩ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑦	<< をタップ	---	[AUTO CK CURSOR ON/OFF] メニューを表示
⑧	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑨	>> をタップ	---	[RU SETTINGS] メニューを表示
⑩	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

◆ IP アドレスの変更方法

- RU, MU1~MU5(①~⑥) をタップし、変更する IP アドレスを選択します。
- 下記の方法で IP アドレスを変更します。

タッチパネル	前面パネル	動作
変更するオクテットの数値をタップ	左上つまみを回す	IP アドレスの中で、変更するオクテット (100 など) を選択します。オクテットの値が⑪に表示されます。
---	右上つまみを回す	オクテットの値を変更します。

- IP アドレスの変更がすべて完了したら、下記の方法で変更を確定します。

タッチパネル	前面パネル	動作
⑫の Accept をタップ	右下つまみを押す	変更を確定します。

RU を変更した場合は Change RU IPAddress ダイアログが表示されます。
 MU のみ変更した場合は Change MU IPAddress ダイアログが表示されます。

Change RU IPAddress ダイアログ



Change MU IPAddress ダイアログ



4. **OK** をタップしてダイアログを終了します。詳しくは下表を参照してください。

Change RU IPAddress ダイアログ

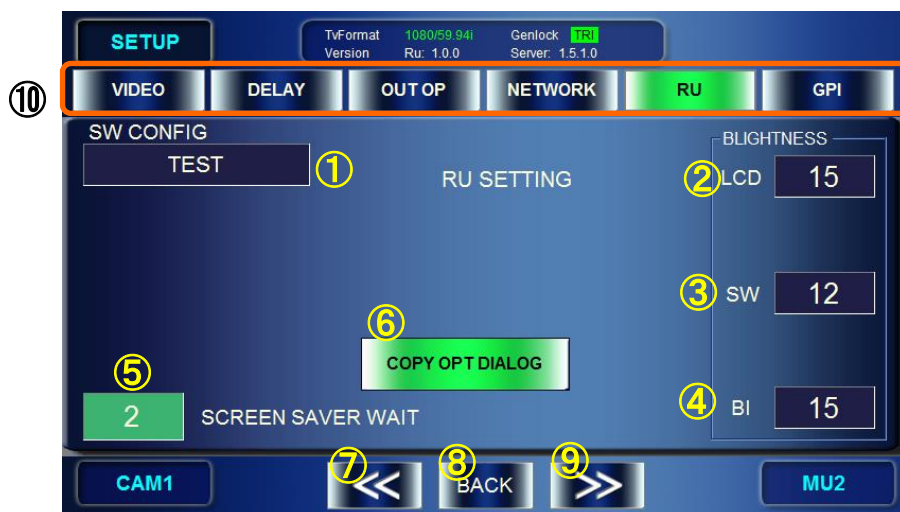
NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑬	CANCEL をタップ	---	RU IP address の変更をキャンセルし、 [NETWORK] メニューに戻ります。 MU の IP 設定を変更した場合は、同時に、 "Change MU IP Address"画面が表示されます。
⑭	OK をタップ	---	RU IP address の変更を確定します。 MU1 から MU5 の IP アドレスも変更していた場合、ここで一緒に確定されます。 その後、再起動が 2 回行われ、ソフトが立ち上がります。

Change MU IPAddress ダイアログ

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑬	CANCEL をタップ	---	MU IPAddress の設定をキャンセルし、 [NETWORK] メニューに戻ります。
⑭	OK をタップ	---	MU IPAddress の設定を確定します。 その後、ソフトが終了し、Windows 画面が表示されます。 タッチパネルのデスクトップにある MbpRUA のショートカットをダブルタップし、ソフトを起動してください。

5-4-5. RU SETTINGS メニュー

MBP-RUA の LCD の明るさ、ボタンの明るさ、ボタン機能のアサインを設定します。



① SW CONFIG 選択パネル表示

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①		左上つまみを押す	SW CONFIG 選択パネルを開きます。 詳細は「5-4-6」を参照してください。

② ③④⑤ 明るさを設定します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
②	---	右上つまみを回す	液晶 (LCD) パネルの明るさを変更します。 設定範囲: 0~15。値が大きい程、明るくなります。
③	---	右中つまみを回す	前面パネルのボタン明るさを変更します。 設定範囲: 0~15。値が大きい程、明るくなります。
④	---	右下つまみを回す	バンクインジケータ (BI) のボタン明るさを変更します。 設定範囲: 0~15。値が大きい程、明るくなります。
⑤	---	左下つまみを回す	スクリーンセーバーの起動時間を変更します。 設定範囲: 0~1000 (分) 1分単位で設定します。 “0” に設定するとスクリーンセーバーは起動しません。

⑥ MU 間コピー、CAM 間コピー時の確認ダイアログの表示する/しないを設定します。

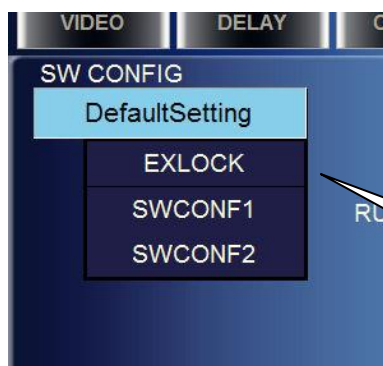
NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑥	<u>COPY OPT DIALOG</u> をタップ	---	MU 間コピー、CAM 間コピーの際に確認ダイアログを表示する/表示しないを切り替えます。

⑧ ⑨⑩ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑦	<<をタップ	---	[NETWORK] メニューを表示
⑧	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑨	>>をタップ	---	[GPI] メニューを表示
⑩	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-4-6. SW CONFIG パネル

本機の前面パネルに装備されているボタンのアサインセット(ファイル指定)を変更します。アサインセットファイルは別アプリケーション(標準添付 MBP-RUA_SAB)で作成します。アサインセットファイルは本機の C:\¥MBP-RUA¥DATA 以下に格納します。



*図は画面の一部を切り抜いたものです。

C:\¥MBP-RUA¥DATA 以下にある *.mru ファイル(アサインセットファイル)がリスト表示されます。

前面パネル	動作
左上つまみを回す	DATA フォルダに入っているアサインセットファイルの中の一つを選択します(水色背景で選択状態)。
左上つまみを回す	現在選択中のアサインセットへの変更を決定し、SW CONF パネルを閉じます。確認ダイアログで OK をタップすると、GUI の次回起動時に反映されます。

5-5. GPI メニュー

MBP-RUA には GPI 入出力機能が装備されており、外部からの GPI コマンドを受信して実行したり、外部へタリーを出力することができます。GPI メニューでは、GPI ポートの入力ピンおよび出力ピンに、これらの機能を自由に割り当てることができます。

GPI コネクタの入力ピン (PinNo.1~PinNo.10)、出力ピン (PinNo.1~PinNo.10) の配置については「2-3-1. GPI」を参照してください。



現在の入力ピンの機能が、③に表示されます。

現在の出力ピンの機能が、⑥に表示されます。

◆ GPI 入力機能のアサイン方法

- 1) 左上つまみを回し、①に入力ピン番号を表示します。
- 2) 左上つまみを押し、GPI 入力機能アサインダイアログを表示します。
- 3) 「5-5-1」を参照し機能を選択します。(機能の内容は「GPI 入力機能一覧」参照)

◆ GPI 出力機能のアサイン方法

- 1) 右上つまみを回し、⑥に出力ピン番号を表示します。
- 2) 右上つまみを押し、TALLY 出力機能アサインダイアログを表示します。
- 3) 「5-5-2」を参照し機能を選択します。(機能の内容は「TALLY 出力機能一覧」参照)

① ②③ GPI 入力

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	---	左上つまみを回す	入力ピン番号を選択します。
	---	左上つまみを押し	GPI 入力機能アサインダイアログを表示します。(「5-5-1」を参照)
②	枠内をタップする	---	GPI 入力機能アサインダイアログを表示します。(「5-5-1」を参照)
③	---	---	入力ピンの機能アサインの一覧です。

④⑤⑥ TALLY 出力

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
④	---	右上つまみを回す	出力ピン番号を選択します。
	---	右上つまみを押す	TALLY 出力機能アサインダイアログを表示します。（「5-5-2」を参照）
⑤	枠内をタップする	---	TALLY 出力機能アサインダイアログを表示します。（「5-5-2」を参照）
⑥	---	---	出力ピンの機能アサインの一覧です。

⑦⑧⑨⑩他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑦	<<をタップ	---	[RU Settings] メニューを表示
⑧	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑨	>>をタップ	---	[VIDEO] メニューを表示
⑩	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-5-1. GPI 入力機能アサインダイアログ



◆ 機能選択方法

- ①の 7つのボタンのひとつをタップし、使用したいカテゴリを選びます。（サブカテゴリがある場合は、もう一度カテゴリボタンをタップします。）
- ②に機能のボタンが表示されます。ボタンをタップして機能を選びます。自動的に GPI メニューに戻ります。選択可能な機能については次ページの表を参照してください。

NO	タッチパネル	動作
①	カテゴリボタンをタップ	カテゴリに含まれる機能ボタン(またはサブカテゴリボタン)が表示されます。
②	機能ボタンをタップ	ピンの機能を選択します。
③	NO ASSIGNをタップ	機能アサインを解除し、GPI メニューへ戻ります。
④	CANCELをタップ	設定をキャンセルし、GPI メニューへ戻ります。

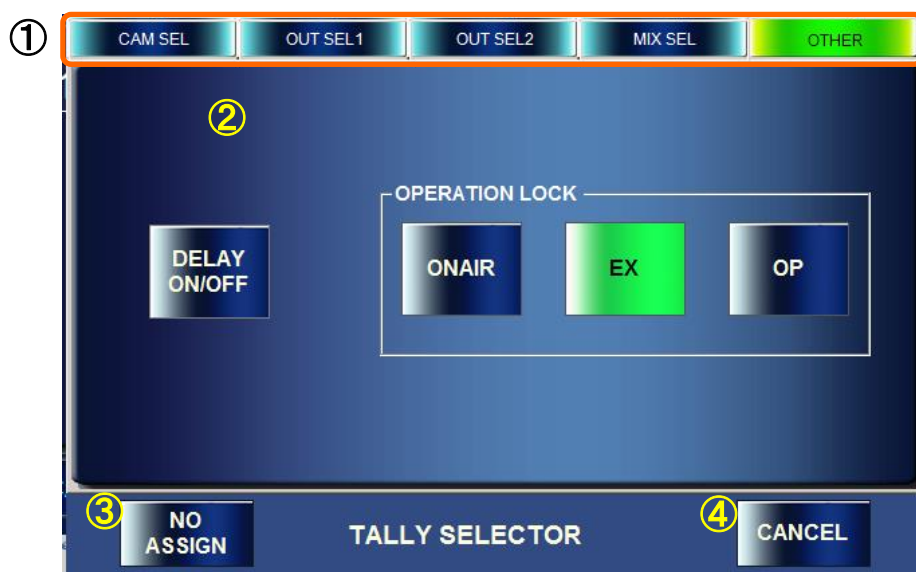
GPI入力機能一覧

カテゴリ	サブカテゴリ	ボタン名	機能
RU	MENU	TOP	[TOP]メニューに移動します。
		CK	[CK]メニューに移動します。
		MIX	[MIX]メニューに移動します。
		EVENT	[EVENT]メニューに移動します。
		SETUP	[SETUP]メニューに移動します。
		STILL	[STILL&CAPTURE]メニューに移動します。
		NEXT	各メニュー内で次のサブメニューに移動します。
		PREV	各メニュー内で前のサブメニューに移動します。
		RETURN	[TOP]メニューに移動します。
		MU SELECT	MU1～MU5
CAM SEL	---	CAM1～CAM4	CAM1～CAM4 を選択します。
OUT SEL1	OUT1 SEL	MIX V/K	VOUT1 に MIXV/K 映像を設定します。
		CAM	VOUT1 に CAM に映像を設定します。
		CG V/K	VOUT1 に CG V/K 映像を設定します。
		CK V/K	VOUT1 に CK V/K 映像を設定します。
		STILL V/K	VOUT1 に STILL V/K 映像を設定します。
		CG2 V/K	VOUT1 に CG 2 V/K 映像を設定します。
		V1 IN V/K	VOUT1 に V1 IN V/K 映像を設定します。
		V2 IN V	VOUT1 に V2 IN V 映像を設定します。
	OUT2 SEL	MIX V/K	VOUT2 に MIXV/K 映像を設定します。
		CAM	VOUT2 に CAM に映像を設定します。
		CG V/K	VOUT2 に CG V/K 映像を設定します。
		CK V/K	VOUT2 に CK V/K 映像を設定します。
		STILL V/K	VOUT2 に STILL V/K 映像を設定します。
		CG2 V/K	VOUT2 に CG 2 V/K 映像を設定します。
		V1 IN V/K	VOUT2 に V1 IN V/K 映像を設定します。
		V2 IN V	VOUT2 に V2 IN V 映像を設定します。
OUT SEL2	OUT3 SEL	MIX V/K	VOUT3 に MIXV/K 映像を設定します。
		CAM	VOUT3 に CAM に映像を設定します。
		CG V/K	VOUT3 に CG V/K 映像を設定します。
		CK V/K	VOUT3 に CK V/K 映像を設定します。
		STILL V/K	VOUT3 に STILL V/K 映像を設定します。
		CG2 V/K	VOUT3 に CG 2 V/K 映像を設定します。
		V1 IN V/K	VOUT3 に V1 IN V/K 映像を設定します。
		V2 IN V	VOUT3 に V2 IN V 映像を設定します。
	OUT4 SEL	MIX V/K	VOUT4 に MIXV/K 映像を設定します。
		CAM	VOUT4 に CAM に映像を設定します。
		CG V/K	VOUT4 に CG V/K 映像を設定します。
		CK V/K	VOUT4 に CK V/K 映像を設定します。
		STILL V/K	VOUT4 に STILL V/K 映像を設定します。
		CG2 V/K	VOUT4 に CG 2 V/K 映像を設定します。
		V1 IN V/K	VOUT4 に V1 IN V/K 映像を設定します。
		V2 IN V	VOUT4 に V2 IN V 映像を設定します。

(次ページに続く)

カテゴリ	サブカテゴリ	ボタン名	機能
MIX SEL	MIXER1	LAYER1 ON/OFF	MIXER1 のレイヤ 1 を ON/OFF (トグル動作)
		LAYER2 ON/OFF	MIXER1 のレイヤ 2 を ON/OFF (トグル動作)
		LAYER3 ON/OFF	MIXER1 のレイヤ 3 を ON/OFF (トグル動作)
		LAYER4 ON/OFF	MIXER1 のレイヤ 4 を ON/OFF (トグル動作)
	MIXER2	LAYER1 ON/OFF	MIXER2 のレイヤ 1 を ON/OFF (トグル動作)
		LAYER2 ON/OFF	MIXER2 のレイヤ 2 を ON/OFF (トグル動作)
		LAYER3 ON/OFF	MIXER2 のレイヤ 3 を ON/OFF (トグル動作)
		LAYER4 ON/OFF	MIXER2 のレイヤ 4 を ON/OFF (トグル動作)
EVENT	---	EVENT LOAD1～ EVENT LOAD10	EVENT1～EVENT10 をロードします。
OTHER	MIXER PRESET	RCG	MIXER のプリセットモードを RCG モードに設定します。
		VIRTUAL	MIXER のプリセットモードを VIRTUAL モードに設定します。
		USER1～USER3	MIXER のプリセットモードを USER1～3 モードに設定します。
	OPERATION LCOK	ONAIR	ONAIR ロックを有効にします。(解除不可)
		EX	EXCLUSIVE ロックを有効にします。(解除不可)
		OP	OPERATION ロックを有効にします。(解除不可)
	---	DELAY ON/OFF	DELAY 機能の ON/OFF (トグル動作)

5-5-2. TALLY 出力機能アサインダイアログ



◆ 機能選択方法

- 1) ①の 5 つのボタンのひとつをタップし、使用したいカテゴリを選びます。(サブカテゴリがある場合は、もう一度カテゴリボタンをタップします。)
- 2) ②に機能のボタンが表示されます。ボタンをタップして機能を選びます。自動的に GPI メニューに戻ります。選択可能な機能については下表を参照してください。

NO	タッチパネル	動作
①	カテゴリボタンをタップ	カテゴリに含まれる機能ボタン(またはサブカテゴリボタン)が表示されます。
②	機能ボタンをタップ	ピンの機能が選択されます。
③	NO ASSIGN をタップ	機能アサインを解除し、GPI メニューへ戻ります。
④	CANCEL をタップ	設定をキャンセルし、GPI メニューへ戻ります。

TALLY 出力機能一覧

カテゴリ	サブカテゴリ	ボタン名	タリー出力条件
CAM SEL	---	CAM1~CAM4	CAM1~CAM4 が選択されている。
OUT SEL1	OUT1 SEL	MIX V/K	VOUT1 に MIXV/K 映像が選択されている。
		CAM	VOUT1 に CAM に映像が選択されている。
		CG V/K	VOUT1 に CG V/K 映像が選択されている。
		CK V/K	VOUT1 に CK V/K 映像が選択されている。
		STILL V/K	VOUT1 に STILL V/K 映像が選択されている。
		CG2 V/K	VOUT1 に CG 2V/K 映像が選択されている。
		V1 IN V/K	VOUT1 に V1 IN V/K 映像が選択されている。
		V2 IN V	VOUT1 に V2 IN 映像が選択されている。
	OUT2 SEL	MIX V/K	VOUT2 に MIXV/K 映像が選択されている。
		CAM	VOUT2 に CAM に映像が選択されている。
		CG V/K	VOUT2 に CG V/K 映像が選択されている。
		CK V/K	VOUT2 に CK V/K 映像が選択されている。
		STILL V/K	VOUT2 に STILL V/K 映像が選択されている。
		V1 IN V/K	VOUT2 に V1 IN V/K 映像が選択されている。

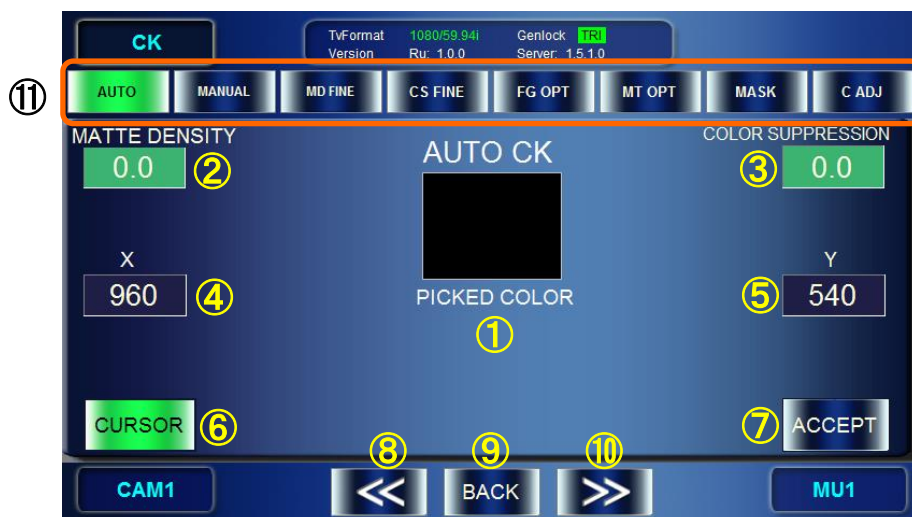
		V2 IN V	VOUT2 に V2 IN 映像が選択されている。
OUT SEL2	OUT3 SEL	MIX V/K	VOUT3 に MIXV/K 映像が選択されている。
		CAM	VOUT3 に CAM に映像が選択されている。
		CG V/K	VOUT3 に CG V/K 映像が選択されている。
		CK V/K	VOUT3 に CK V/K 映像が選択されている。
		STILL V/K	VOUT3 に STILL V/K 映像が選択されている。
		CG2 V/K	VOUT3 に CG 2V/K 映像が選択されている。
		V1 IN V/K	VOUT3 に V1 IN V/K 映像が選択されている。
	OUT4 SEL	V2 IN V	VOUT3 に V2 IN 映像が選択されている。
		MIX V/K	VOUT4 に MIXV/K 映像が選択されている。
		CAM	VOUT4 に CAM に映像が選択されている。
		CG V/K	VOUT4 に CG V/K 映像が選択されている。
		CK V/K	VOUT4 に CK V/K 映像が選択されている。
		STILL V/K	VOUT4 に STILL V/K 映像が選択されている。
		CG2 V/K	VOUT4 に CG 2V/K 映像が選択されている。
MIX SEL	MIXER1	V1 IN V/K	VOUT4 に V1 IN V/K 映像が選択されている。
		V2 IN V	VOUT4 に V2 IN 映像が選択されている。
		LAYER1 ON/OFF	MIXER1 のレイヤ 1 が ON
		LAYER2 ON/OFF	MIXER1 のレイヤ 2 が ON
	MIXER2	LAYER3 ON/OFF	MIXER1 のレイヤ 3 が ON
		LAYER4 ON/OFF	MIXER1 のレイヤ 4 が ON
		LAYER1 ON/OFF	MIXER2 のレイヤ 1 が ON
		LAYER2 ON/OFF	MIXER2 のレイヤ 2 が ON
OTHER	OPERATION LCOK	LAYER3 ON/OFF	MIXER2 のレイヤ 3 が ON
		LAYER4 ON/OFF	MIXER2 のレイヤ 4 が ON
		ONAIR	ONAIR ロック状態
	---	EX	EXCLUSIVE ロック状態
		OP	OPERATION ロック状態
		DELAY ON/OFF	DELAY 機能が ON

5-6. CK メニュー

MBP-1244/100CK のクロマキー設定を調整します。

5-6-1. AUTO CK メニュー

Matte の基準色 (BACK COLOR) を画面上で指定するだけで自動的にクロマキーのキーを生成すること (AUTO CK モード) が可能なメニューです。



① 設定された BACK COLOR の色が表示されます。

表示: **AUTO CK ON 時:** 現在のカーソルポジションの色 (Picked Color) を表示
AUTO CK OFF 時: 現在設定されている BACK COLOR の色を表示

タッチパネル	前面パネル	動作
枠内をタップ	---	BG CONDITION パネル (「5-6-3」参照) 表示を ON/OFF します。

② Matte Density 値 (Back Color の近似色に対する Matte 信号の濃淡) を調整します。

③ Color Suppression 値 (FG 映像から Back Color を抑制する) を調整します。

表示: 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
②	---	左上つまみを回す	Matte Density 値を変更します。 FINE 時: ± 0.5 COARSE 時: ± 5 設定範囲: $-100 \sim 100$ 「5-6-2. MANUAL CK メニュー」②と同じ
③	---	右上つまみを回す	Color Suppression 値を変更します。 FINE 時: ± 0.5 COARSE 時: ± 5 設定範囲: $-100 \sim 100$ 「5-6-2. MANUAL CK メニュー」③と同じ
②③	---	つまみを長く押す	FINE / COARSE を切替えます。
②③	---	つまみを押す	UNITY 値「0」 / VARIABLE 値を切替えます。

④⑤オートクロマキーのカーソル位置を調整します。

表示: 現在の位置が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
④	---	左中つまみを回す	カーソルの X ポジションを変更します。 FINE 時: ±1 COARSE 時: ±10 設定範囲: 0~(TV フォーマットによる)
⑤	---	右中つまみを回す	カーソルの Y ポジションを変更します。 FINE 時: ±1 COARSE 時: ±10 設定範囲: 0~(TV フォーマットによる)
④⑤	---	つまみを長く押す	FINE/COARSE を切替えます。
④⑤	---	つまみを押す	UNITY 値「画面中央」/VARIABLE 値を切替えます。

* カーソル位置はオートカーソル ⑥ が ON 時のみ調整可能です。

⑥ オートカーソル ON/OFF ボタン

表示: オートカーソルの有効 (緑色ボタン) / 無効 (青色ボタン) が表示されます。

タッチパネル	前面パネル	動作
CURSOR をタップ	左下つまみを押す	OFF 時: オートカーソルを ON にし、AUTO CK モードへ移行します。 ON 時: AUTO CK モードを終了し、オートカーソルを OFF にします。

⑦ BACK COLOR 確定ボタン

表示: AUTO CK ON 時に有効になります。

タッチパネル	前面パネル	動作
Accept をタップ	右下つまみを押す	現在選択されている Picked Color を Back Color に設定し、映像のキーイングを実行します。 キーイング実行後、AUTO CK モードは解除され、オートカーソルも消えます。

⑨ ⑨⑩⑪ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑧	<< をタップ	---	[COLOR ADJUST] メニューを表示
⑨	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑩	>> をタップ	---	[MANUAL CK] メニューを表示
⑪	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-6-2. MANUAL CK メニュー

Matte の基準色（BACK COLOR）の HUE、SATURATION、LUMINUNCE の 3つのパラメータを調整することでキーを生成するメニューです。



① BACK COLOR

表示： HUE、SATURATION、LUMINUNCE の値で決定された BACK COLOR 色を枠内に表示します。

タッチパネル	前面パネル	動作
BACK COLOR の枠内をタップ	---	BG CONDITION パネル（「5-6-3」参照）の表示の ON/OFF を切替えます。

② Matte Density 値（Back Color の近似色に対する Matte 信号の濃淡）を調整します。

③ Color Suppression 値（FG 映像の Back Color 色を抑制する）を調整します。

表示： 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
	---	左上つまみを回す	Matte Density 値を変更します。 FINE 時: ±0.5 COARSE 時: ±5 設定範囲: -100~100 「5-6-1. AUTO CK メニュー」②と同じ
③	---	右上つまみを回す	Color Suppression 値を変更します。 FINE 時: ±0.5 COARSE 時: ±5 設定範囲: -100~100 「5-6-1. AUTO CK メニュー」③と同じ
②③	---	つまみを長く押す	FINE / COARSE を切替えます。
②③	---	つまみを押す	UNITY 値「0」 / VARIABLE 値を切替えます。

- ④⑤⑥ BACK COLOR (HUE, LUMINANCE, SATURATION)値を設定します。
 表示: 設定値が表示されます。
 入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
④	---	左中つまみを回す	HUE 値を変更します。 FINE 時: ± 0.1 COARSE 時: ± 10 設定範囲: 0~359.5
⑤	---	右中つまみを回す	LUMINANCE 値を変更します。 FINE 時: ± 0.1 COARSE 時: ± 1 設定範囲: 0~109
⑥	---	左下つまみを回す	SATURATION 値を変更します。 FINE 時: ± 0.1 COARSE 時: ± 1 設定範囲: 0~100
④⑤⑥	---	つまみを長く押す	FINE/COARSE を切替えます。
④⑤⑥	---	つまみを押す	UNITY 値「前にクロマキーを実行したときの値」/VARIABLE 値を切替えます。

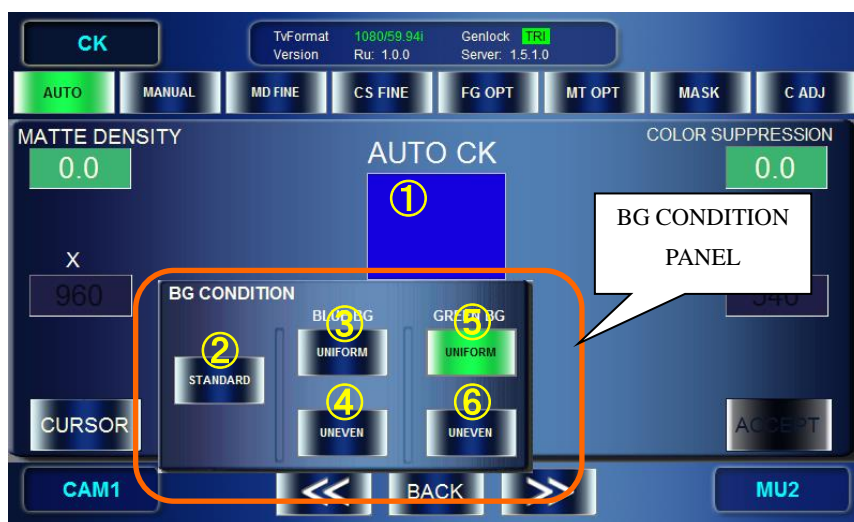
- ⑦⑧⑨⑩ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑦	<<をタップ	---	[AUTO CK] メニューを表示
⑧	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑨	>>をタップ	---	[MATTE DENSITY FINE TUNING] メニューを表示
⑩	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-6-3. BG (BACKGROUND) CONDITION パネル

クロマキーバックの色と濃淡の状態に有効な設定を選択することで、より適切な Matte 生成が可能です。ただし、状態によっては必ずしも最適とはならない場合もありますので、実際の映像に応じて設定してください。BG CONDITION パネルには以下 5 つのモードがあります。

- STANDARD モード
標準設定です。
- BLUE BACK UNIFORM モード
背景が青色で濃淡が一樣な場合に有効です。
- BLUE BACK UNEVEN モード
背景が青色で濃淡にむらがある場合に有効です。
- GREEN BACK UNIFORM モード
背景が緑色で濃淡が一樣な場合に有効です。
- GREEN BACK UNEVEN モード
背景が緑色で濃淡にむらがある場合に有効です。

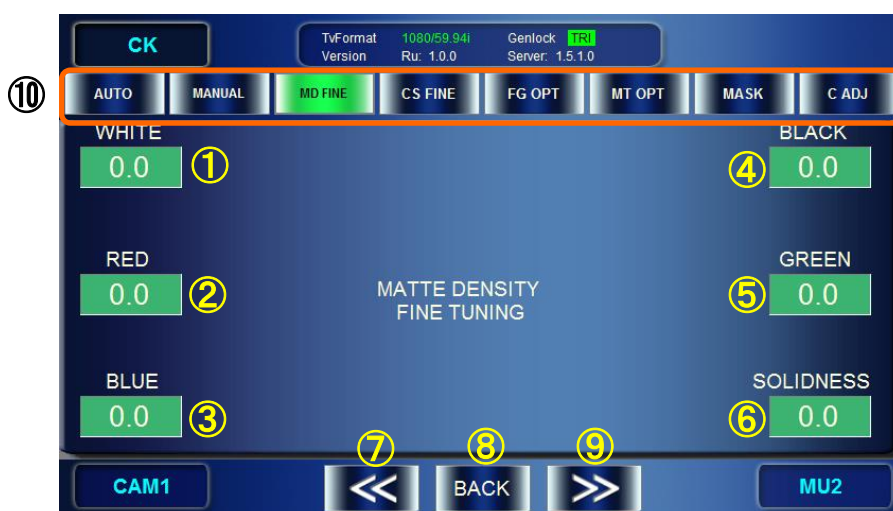


- ① BG CONDITION パネル (AUTO CK と MANUAL CK 共通) を開く／閉じる
- [AUTO CK] メニューで PICKED COLOR の枠内をタップする。
 - [MANUAL CK] メニューで BACK COLOR の枠内をタップする。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
	[STANDARD] をタップ	---	STANDARD モードにします。
③	BLUE BG の [UNIFORM] をタップ	---	BLUE BACK UNIFORM モードにします。
④	BLUE BG の [UNEVEN] をタップ	---	BLUE BACK UNEVEN モードにします。
⑤	GREEN BG の [UNIFORM] をタップ	---	GREEN BACK UNIFORM モードにします。
⑥	GREEN BG の [UNEVEN] をタップ	---	GREEN BACK UNEVEN モードにします。

5-6-4. MATTE DENSITY FINE TUNING メニュー

クロマキーで生成する MATTE 信号の濃淡の詳細設定を行います。



①～⑥ BACK COLOR の色成分を調整します。

表示: 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①～⑥	数値ボックスをタップ	---	数字入力パネルを表示します。値を直接入力できます。 設定範囲：-100～100
①	---	左上つまみを回す	白色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、青を Back color としたとき、白っぽい青の部分の MATTE の濃淡を調整します。
②	---	左中つまみを回す	赤色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、青を Back color としたとき、赤っぽい青の部分の MATTE の濃淡を調整します。
③	---	左下つまみを回す	青色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、緑を Back color としたとき、青っぽい緑の部分の MATTE の濃淡を調整します。
④	---	右上つまみを回す	黒色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、青を Back color としたとき、黒っぽい青の部分の MATTE の濃淡を調整します。
⑤	---	右中つまみを回す	緑色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、青を Back color としたとき、緑っぽい青の部分の MATTE の濃淡を調整します。
⑥	---	右下つまみを回す	MATTE 信号の濃淡を調整します (抜きの堅さの調整)。
①～⑥	---	各つまみを長く押す	FINE / COARSE を切替えます。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5
①～⑥	---	各つまみを押す	UNITY 値「0」 / VARIABLE 値を切替えます。

⑦⑧⑨⑩ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑦	<<をタップ	---	[MANUAL CK] メニューを表示
⑧	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑨	>>をタップ	---	[COLOR SUPPRESSION FINE TUNING] メニューを表示
⑩	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-6-5. COLOR SUPPRESSION FINE TUNING メニュー

FG 映像から BACK COLOR に設定された色の引き込み具合を調整します。



①～⑥ FG 映像上で BACK COLOR 色の引き込み具合を調整します。
表示: 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①～⑥	数値ボックスをタップ	---	数字入力パネルを表示します。値を直接入力できます。 設定範囲：-100～100
①	---	左上つまみを回す	FG 映像の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。(白成分)
②	---	左中つまみを回す	FG 映像の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。(赤成分)
③	---	左下つまみを回す	FG 映像の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。(青成分)
④	---	右上つまみを回す	FG 映像の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。(黒成分)
⑤	---	右中つまみを回す	FG 映像の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。(緑成分)
⑥	---	右下つまみを回す	FG 信号の抑制度合を調整します(抜けの堅さの調整)。

① ~ ⑥	---	各つまみを長く押す	FINE/COARSE を切替えます。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5
①~⑥	---	各つまみを押す	UNITY 値「0」/VARIABLE 値を切替えます。

⑦⑧⑨⑩ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑦	<<をタップ	---	[MATTE DENSITY FINE TUNING] メニューを表示
⑧	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑨	>>をタップ	---	[FG OPTION] メニューを表示
⑩	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-6-6. FG (FOREGROUND) OPTION メニュー

合成時にフォアグラウンドになる映像に対するクロマキーのオプション効果を設定するメニューです。



①~⑦ 各機能を ON/OFF します。
表示： 機能が ON の時はボタンが緑色になります。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作	初期設定
①	Color Suppression をタップ	---	バックカラーの抑制機能の ON/OFF を切替えます。OFF にすると COLOR SUPPRESSION の各調整が無効になります。	ON
②	Light&Darkness Emphasis をタップ	---	明暗を強調する機能の ON/OFF を切替えます。 照明の影響で明るくなった黒髪を黒くしたいときや、バックカラーの反射で暗くなった白煙や透明なグラスをより明るくすることが可能です。	OFF
②	Recursive Filter をタップ	---	チラツキノイズに有効なノイズフィルタ機能の ON/OFF を切替えます。	ON

④	Edge Replace Left をタップ	---	クロマキー映像のエッジ左側の色を内側の色に置き換える機能の ON/OFF を切替えます。 Edge Replace は、照明の写り込みで明るく（白く）なった輪郭や、カメラのレンズ収差で黒くなった輪郭を内側の色に置き換えることにより合成時の不自然さを改善することが可能です。	ON
⑤	Edge Replace Right をタップ	---	クロマキー映像のエッジ右側の色を内側の色に置き換える機能の ON/OFF を切替えます。	ON
⑥	Edge Replace Top をタップ	---	クロマキー映像のエッジ上側の色を内側の色に置き換える機能の ON/OFF を切替えます。	ON
⑦	Edge Replace Bottom をタップ	---	クロマキー映像のエッジ下側の色を内側の色に置き換える機能の ON/OFF を切替えます。	ON

⑧ FG OPTION の機能を初期設定に戻します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑧	OPT DEFAULT をタップ	---	①～⑦の機能をすべて初期設定に戻します。

⑨⑩⑪⑫ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑨	<< をタップ	---	「[COLOR SUPPRESSION FINE TUNING]」メニューを表示
⑩	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑪	>> をタップ	---	「[MATTE OPTION]」メニューを表示
⑫	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-6-7. MATTE OPTION メニュー

合成時にバックグラウンドになる映像に対するクロマキーのオプション効果を設定するメニューです。



- ①～⑫ 各機能を ON/OFF します。
表示： 機能が ON の時はボタンが緑色になります。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作	初期設定
①	<u>PostFilter V</u> をタップ	---	MATTE 生成の際の垂直方向のフィルタの ON/OFF を切替えます。ON にすると MATTE の垂直エッジが滑らかになります。	ON
②	<u>PostFilter H</u> をタップ	---	MATTE 生成の際の水平方向のフィルタの ON/OFF を切替えます。ON にすると MATTE の水平エッジを滑らかにします。	ON
③	<u>Lum Coring</u> をタップ	---	輝度成分の明るさのむらを抑制するノイズフィルタの ON/OFF を切替えます。	OFF
④	<u>Red Coring</u> をタップ	---	赤成分の色むらを抑制するノイズフィルタ機能の ON/OFF を切替えます。	OFF
⑤	<u>Green Coring</u> をタップ	---	緑成分の色むらを抑制するノイズフィルタの ON/OFF を切替えます。	OFF
⑥	<u>Blue Coring</u> をタップ	---	青成分の色むらを抑制するノイズフィルタ機能の ON/OFF を切替えます。	OFF
⑦	<u>EdgeShrink Left</u> をタップ	---	MATTE 信号左側に対するシュリンク (MATTE 信号のみ細める) 機能の ON/OFF を切替えます。 Edge Shrink は合成時の不自然さを低減することができます。	OFF
⑧	<u>EdgeShrink Right</u> をタップ	---	MATTE 信号右側に対するシュリンク (MATTE 信号のみ細める) 機能の ON/OFF を切替えます。	OFF
⑨	<u>EdgeShrink Top</u> をタップ	---	MATTE 信号上側に対するシュリンク (MATTE 信号のみ細める) 機能の ON/OFF を切替えます。	OFF
⑩	<u>EdgeShrink Bottom</u> をタップ	---	MATTE 信号下側に対するシュリンク (MATTE 信号のみ細める) 機能の ON/OFF を切替えます。	OFF

⑪	Recursive Filter をタップ	---	チラツキノイズに有効なノイズフィルタの ON/OFF を切替えます。	ON
⑫	White Mode をタップ	---	バックカラーに白や黒を選択する場合には、ON に設定してください。	OFF

⑬ MATTE OPTION の機能を初期設定に戻します。

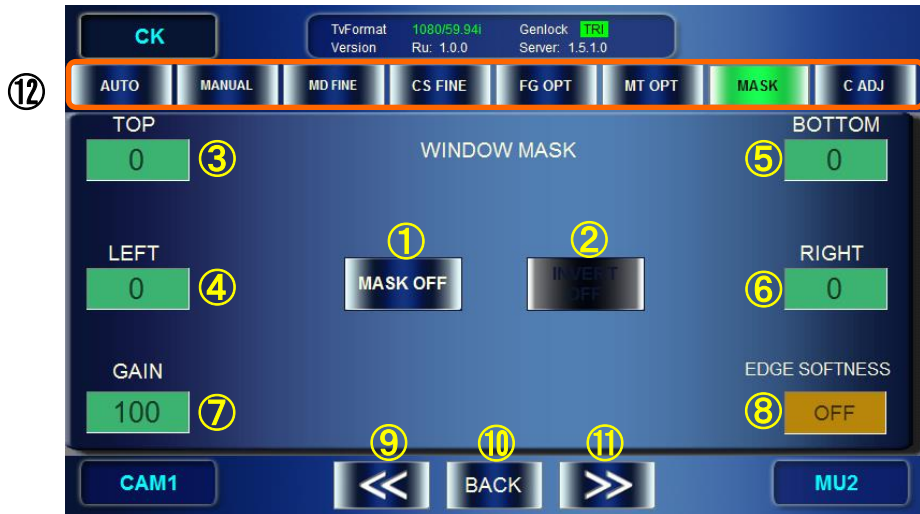
NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑬	OPT DEFAULT をタップ	---	①～⑫の機能をすべて初期設定に戻します。

⑭⑮⑯⑰ 他の画面へ移動します。

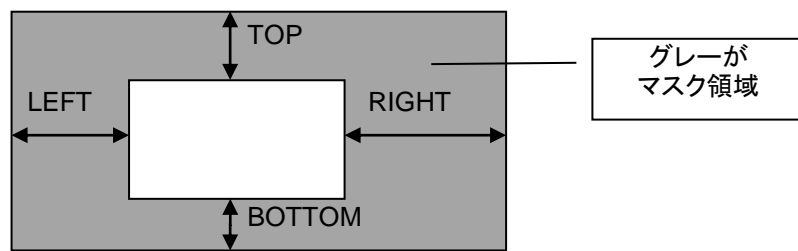
NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑭	<< をタップ	---	[FG OPTION] メニューを表示
⑮	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑯	>> をタップ	---	[WINDOW MASK] メニューを表示
⑰	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-6-8. WINDOW MASK メニュー

画面上でクロマキーを生成する範囲に矩形形状のマスク（クロマキーを実施しない領域を決定する）を設定するメニューです。Window Mask はカメラ毎に保存され、CAM を切替えると Window Mask 設定も切替わります。



マスクを使用する時は、①をタップして ON にし、③～⑥でマスク領域を調整します。Window Mask はクロマキー画面に対し以下のような形のマスクを生成します



Window Mask と各パラメータ

① Window Mask 機能を ON/OFF します。

表示： 機能が ON の時はボタンが緑色になります。

タッチパネル	前面パネル	動作
ボタンをタップ	---	Window Mask 機能の ON/OFF を切替えます。 初期設定：OFF

② Window Mask 領域を反転します。

表示： 機能が ON の時はボタンが緑色になります。

タッチパネル	前面パネル	動作
ボタンをタップ	---	反転機能の ON/OFF を切替えます。ON にするとマスク領域が反転します。 初期設定：OFF

③④⑤⑥ Window Mask の範囲を設定します。

表示： 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
③	---	左上つまみを回す	画面上端からのマスクの範囲を調整します。 設定範囲： 0～(TV 方式による最大画角－BOTTOM 値)
④	---	左中つまみを回す	画面左端からのマスクの範囲を調整します。 設定範囲： 0～(TV 方式による最大画角－RIGHT 値)
⑤	---	右上つまみを回す	画面下端からのマスクの範囲を調整します。 設定範囲： 0～(TV 方式による最大画角－TOP 値)
⑥	---	右中つまみを回す	画面右端からのマスクの範囲を調整します。 設定範囲： 0～(TV 方式による最大画角－LEFT 値)
③～⑥	---	各つまみを長く押す	FINE/COARSE を切替えます。 FINE：±1 COARSE：±10
③～⑥	---	各つまみを押す	UNITY 値「0」/VARIABLE 値を切替えます。

⑦ GAIN

表示： 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

タッチパネル	前面パネル	動作
---	左下つまみを回す	Window Mask のゲインを調整します。 FINE：±1 COARSE：±5 設定範囲：100～0
---	左下つまみを押す	UNITY 値「0」/VARIABLE 値を切替えます。
---	左下つまみを長く押す	FINE/COARSE を切替えます。

⑧ EDGE SOFTNESS

Window Mask のエッジをぼかす設定です。設定したピクセルの幅分エッジをぼかします。
表示: 設定値が表示されます。

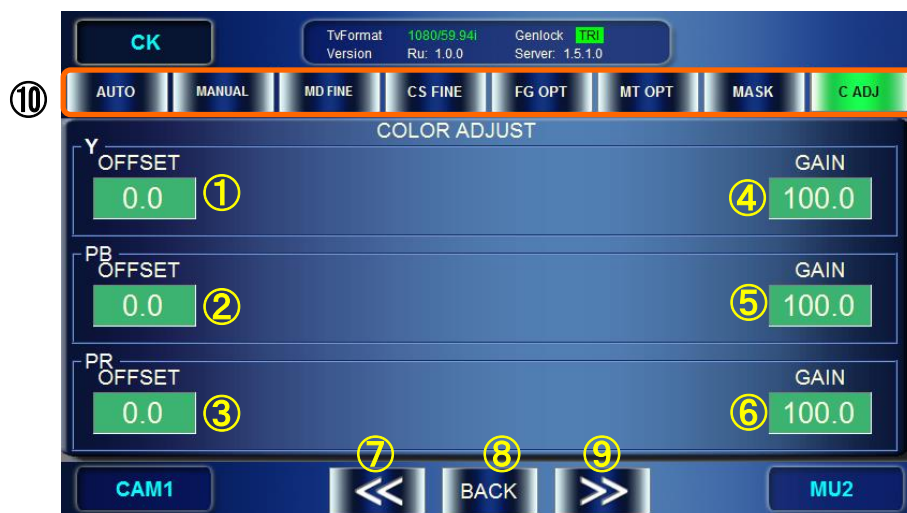
タッチパネル	前面パネル	動作
---	右下つまみを回す	マスクエッジをぼかすピクセル数を選択します。 設定値: "OFF", "4PIX", "8PIX", "16PIX"
---	右下つまみを押す	設定した値を確認します。 値が確定すると背景が橙色になります。

⑨⑩⑪⑫ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑨	<< をタップ	---	[MATTE OPTION] メニューを表示
⑩	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑪	>> をタップ	---	[COLOR ADJUST] メニューを表示
⑫	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-6-9. COLOR ADJUST メニュー

クロマキー出力信号に対してレベル調整を行います。
クロマキー処理された FG の Y,Pb,Pr 信号に対して、それぞれ Offset と Gain を設定します。
Color Adjust 設定はカメラ毎に保存され、CAM を切替えると Color Adjust 設定も連動して切替わります。



①②③ クロマキー処理された FG の YPbPr 信号に対してオフセットを設定します。
表示: 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	---	左上つまみを回す	FG の Y 信号の Offset を調整します。 設定範囲：-50.0～50.0(%)
②	---	左中つまみを回す	FG の Pb 信号の Offset を調整します。 設定範囲：-50.0～50.0(%)
③	---	左下つまみを回す	FG の Pr 信号の Offset を調整します。 設定範囲：-50.0～50.0(%)
①②③	---	各つまみを長く押す	FINE / COARSE を切替えます。 FINE：±0.1 COARSE：±1
①②③	---	各つまみを押す	UNITY 値「0」 / VARIABLE 値を切替えます。

④⑤⑥ クロマキー処理された FG の YPbPr 信号に対してゲインを設定します。
表示: 設定値が表示されます。

入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
④	---	右上つまみを回す	FG の Y 信号の Gain を調整します。 設定範囲：50.0～150.0(%)
⑤	---	右中つまみを回す	FG の Pb 信号の Gain を調整します。 設定範囲：50.0～150.0(%)
⑥	---	右下つまみを回す	FG の Pr 信号の Gain を調整します。 設定範囲：50.0～150.0(%)
④⑤⑥	---	各つまみを長く押す	FINE / COARSE を切替えます。
④⑤⑥	---	各つまみを押す	UNITY 値「0」 / VARIABLE 値を切替えます。 FINE：±0.1 COARSE：±1

⑦⑧⑨⑩ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑦	<<をタップ	---	[WINDOW MASK] メニューを表示
⑧	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑨	>>をタップ	---	[AUTO CK] メニューを表示
⑩	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-7. MIX&OUT メニュー

MBP が持つ2つの MIXER（合成回路）の設定を行うメニューです。合成の方法や、レイヤの構成などを設定します。

MIXER1 は VIDEO OUT1, VIDEO OUT2 の映像に使用します。

MIXER2 は VIDEO OUT3, VIDEO OUT4 の映像に使用します。

5-7-1. MIXER1 SETTING メニュー

MIXER1 の設定を行います。MBP の合成では L1 が最上段、L4 が最下段になります。



- ①②③ レイヤの構成モードを③で選択します。USER1-3 を選択した場合は、①でレイヤを選択し、②でそのレイヤの素材を選びます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	---	左上つまみを回す	レイヤ (L1、L2、L3、L4) を選択します。
②	---	左中つまみを回す	レイヤの素材を選択します。(③のレイヤ構成モードが VIRTUAL、RCG の時は、素材は変更できません。素材の詳細については次ページ参照してください。) 選択オプション： CAM (INT/EXT)、CK (INT/EXT) CG (INT/EXT)、CG2、STILL V1 IN、V2 IN、NO ASSIGN
	---	左中つまみを押す	選択したレイヤ素材を確定します。 確定すると背景が橙色になります。
③	---	左下つまみを回す	レイヤ構成モードを選択します。(構成モードの詳細については次ページ参照してください。) 選択オプション： VIRTUAL、RCG、USER1、USER2、USER3
	---	左下つまみを押す	選択したモードを確定します。 確定すると背景が橙色になります。

● レイヤの素材詳細

レイヤの素材として選択可能な信号は以下表の通りとなっています。

ソース名	説明
CAM (INT/EXT)	カメラ信号です。 MBP-1244 に接続している場合は、CAM 端子入力信号(EXT)です。 MBP-100CK に接続している場合は、4.6.2 の CK 素材の切替えにより、CAM 端子入力信号(EXT)と、静止画の内部生成信号(INT)が切替わります。
CK (INT/EXT)	クロマキー信号です。 MBP-1244 に接続している場合は、CAM 端子入力による CK 信号 (EXT) です。 MBP-100CK に接続している場合は、「4-6-2」の CK 素材の切替えにより、CAM 端子入力信号による CK 信号 (EXT) と、内部生成の静止画による CK 信号 (INT) が切替わります。 この信号はクロマキーオプション MBP-12CK が装着されていない場合は選択できません。
CG (INT/EXT)	CG 信号です。 MBP-1244 に接続している場合は、Brainstorm による内部生成 CG (INT) です。 MBP-100CK に接続している場合は、CG(V/K)INPUT 端子入力信号 (EXT) です。
STILL	内部生成された静止画 CG 信号です。 MBP-100CK に接続している時のみ使用可能となります。
CG2	CG 信号の 2 系統目です。MBP-100CK 接続時は使用できません。
V1 IN	V1 IN/V2 IN の入力信号をアサインします。MBP-100CK 接続時は使用できません。
V2 IN	AUX2 の入力信号をアサインします (キー無し信号として内部処理されます)。MBP-100CK 接続時は使用できません。
NO ASSIGN	信号をアサインしません。

● レイヤ構成モード詳細

レイヤ構成モードには「VIRTUAL」、「RCG」のプリセットモード 2 組と、ユーザが変更可能なユーザ設定 3 組の計 5 組があります。

それぞれの構成内容は下表のようになっています。

レイヤ	VIRTUAL	RCG	USER1	USER2	USER3
L1 (Top)	NO ASSIGN	CG	フリーアサイン (デフォルトは全て NO ASSIGN)		
L2	CG	CK			
L3	CK	CG			
L4 (Bottom)	CG	CAM			

④⑤⑥⑦ レイヤの ON/OFF ボタン

表示 ボタンの色でレイヤの ON (緑)/OFF (青) が表示されます。ボタン上にレイヤの映像名が表示されます。④から⑥については、ボタンの横に Mix Mode(MODE)、Key Clip(CLIP)、Key Gain(GAIN) の値が表示されます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
④	ボタンをタップ	---	レイヤ 1 の ON/OFF を切替えます。
⑤	ボタンをタップ	---	レイヤ 2 の ON/OFF を切替えます。
⑥	ボタンをタップ	---	レイヤ 3 の ON/OFF を切替えます。
⑦	ボタンをタップ	---	レイヤ 4 の ON/OFF を切替えます。

- ⑧⑨⑩ MIXER1の合成モード、クリップ、ゲインを設定します。
表示 ④～⑥ボタンの横に Mix Mode(MODE)、Key Clip(CLIP)、Key Gain(GAIN)の値が表示されます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑧	---	右上つまみを回す	①でレイヤを選びます。このレイヤと一つ下のレイヤとの合成モードを選択します。 選択オプション：Add、Normal
	---	右上つまみを押す	選択したモードを確定します。 確定すると背景が橙色になります。
⑨	---	右中つまみを回す	①でレイヤを選びます。このレイヤのキークリップを調整します。 設定範囲：0～100
		右中つまみを押す	UNITY 値「0」／VARIABLE 値を切替えます。
	---	右中つまみを長く押す	FINE／COARSE を切替えます。 FINE：±1 COARSE：±10
⑩	---	右下つまみを回す	①でレイヤを選びます。このレイヤのキーゲインを調整します。 設定範囲：0～3199
	---	右下つまみを押す	UNITY 値「100」／VARIABLE 値を切替えます。
	---	右下つまみを長く押す	FINE／COARSE を切替えます。 FINE：±1 COARSE：±50

- ⑪ ⑫⑬⑭ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑪	<<をタップ	---	[OUTPUT SELECT] メニューを表示
⑫	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑬	>>をタップ	---	[MIXER2 SETTING] メニューを表示
⑭	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-7-2. MIXER2 SETTING メニュー

MIXER2 の設定を行います。MIXER1 同様、L1 が最上段、L4 が最下段になります。



①～⑩ MIXER1 SETTING と同じです。前章を参照して設定してください。

⑫ ⑬⑭ ⑬ ⑭ ⑭ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑪	<<をタップ	---	[MIXER1 SETTING] メニューを表示
⑫	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑬	>>をタップ	---	[OUTPUT SELECT] メニューを表示
⑭	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-7-3. OUTPUT SELECT メニュー

OUT1～OUT4 の出力信号を設定します。



① 出力を選択します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	---	左上つまみを回す	設定する出力を OUT1～OUT4 から選択します。

②～⑮ ①で選択した出力に割り当てる映像を選びます。

表示 出力されている映像のボタンが緑に点灯します。(出力されていないときは青)

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
②	MIX VIDEO をタップ	---	MIX VIDEO (合成ビデオ映像) を出力します。
③	MIX KEY をタップ	---	MIX KEY (合成キー映像) を出力します。
④	CAM をタップ	---	CAM (カメラ映像) を出力します。
⑤	CK VIDEO をタップ	---	CK VIDEO (クロマキービデオ映像) を出力します。
⑥	CK KEY をタップ	---	CK KEY (クロマキーのキー映像) を出力します。
⑦	CG VIDEO をタップ	---	CG VIDEO (CG ビデオ映像) を出力します。
⑧	CG KEY をタップ	---	CG KEY (CG キー映像) を出力します。
⑨	V1 V IN をタップ	---	V1 IN VIDEO (V1 入力ビデオ映像) を出力します。(MBP-100CK 接続時は無効)
⑩	V1 K IN をタップ	---	V1 IN KEY (V1 入力キー映像) を出力します。(MBP-100CK 接続時は無効)
⑪	CG2 VIDEO をタップ	---	CG2 VIDEO (CG2 ビデオ映像) を出力します。(MBP-100CK 接続時は無効)
⑫	CG2 KEY をタップ	---	CG2 KEY (CG2 キー映像) を出力します。(MBP-100CK 接続時は無効)
⑬	V2 V IN をタップ	---	V2 IN VIDEO (V2 入力ビデオ映像) を出力します。(MBP-100CK 接続時は無効)
⑭	STILL VIDEO をタップ	---	STILL VIDEO (内部生成静止画ビデオ映像) を出力します。(MBP-100CK 接続時のみ有効)
⑮	STILL KEY をタップ	---	STILL KEY (内部生成静止画キー映像) を出力します。(MBP-100CK 接続時のみ有効)

⑩⑪⑫⑬ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑩	◀◀をタップ	---	[MIXER2 SETTING] メニューを表示
⑪	BACKをタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑫	▶▶をタップ	---	[MIXER1 SETTING] メニューを表示
⑬	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

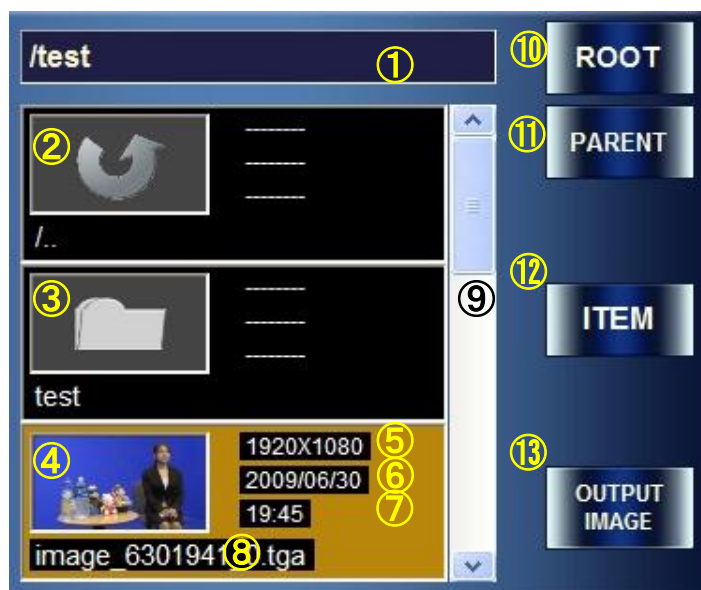
5-8. STILL & CAPTURE メニュー（MBP-100CK）

MBP-100CK は CAM 入力映像をキャプチャして静止画ファイルとして保存したり、また保存したファイルをカメラ映像の代わりに使用、あるいは MBP-100CK に保存されている静止画像を出力することが可能です。

本メニューは STILL メニューと CAPTURE メニューの二つの画面からなります。

◆ ディレクトリ表示

STILL、CAPTURE 両画面ともにそれぞれの専用ディレクトリ（MBP-100CK 内）が表示されます。ここではそのディレクトリ表示について説明します。



- ① 現在のディレクトリが表示されます。
- ② 親ディレクトリ表示です。選択すると一つ親のディレクトリに移動します。（ルートディレクトリの場合は非表示）
- ③ サブディレクトリ表示です。選択するとサブディレクトリに移動します。
- ④ 現在のディレクトリに存在する画像ファイルをサムネイル付きで表示します。
- ⑤ 画像のサイズを表示します。
- ⑥ 画像の保存日を表示します。
- ⑦ 画像の保存時間を表示します。
- ⑧ 画像のファイル名を表示します。
- ⑨ スクロールバーです。ディレクトリ内に複数の静止画ファイルが存在する場合、操作して内容表示を変更します。（前面パネルの右中つまみに連動します。）
- ⑩ ルートディレクトリ（MBP-100CK 内 MBP-12Server にて設定）に戻ります。
- ⑪ 現ディレクトリの一階層上のディレクトリに戻ります。（ルートディレクトリが最上段になります。）
- ⑫ 右中つまみで⑨をスクロールする際、スクロールの移動量を PAGE 単位（3 ファイル）とするか ITEM 単位（1 ファイル）とするか設定します。尚、PAGE 単位の場合はボタン表記が“PAGE”となり、ボタンが緑点灯となります。
- ⑬ 画像出力ボタンです。選択されているファイルを映像出力します。（STILL メニュー時は STILL OUT に、CAPTURE メニュー時は CAM 出力と CK 素材に出力します。）

5-8-1. STILL メニュー

STILL に出力される静止画を選択する画面です。



① ② ディレクトリを選択します。ディレクトリの内容は③に表示されます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	ボタンをタップ	---	ルートディレクトリへ戻ります。 (STILL 保存のルートディレクトリは MBP-12SERVER で設定します。)
②	ボタンをタップ	---	一つ上のディレクトリに移動します。 (ルートディレクトリの場合は無効)

③④⑤ スチル用の画像ファイルを選択します。

表示 選択された画像ファイルは、橙色背景で表示されます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
③	---	右中つまみを回す	スクロールして画像ファイルを選択します。
	---	右中つまみを押す	親ディレクトリへのリターン表示選択時、 一つ上の親のディレクトリに移動します。 サブディレクトリ表示選択時、 サブディレクトリに移動します。
④	ボタンをタップ	右中つまみを長く 押す	スクロールを ITEM/PAGE で切り替えます
⑤	OUTPUT IMAGE をタップ	右下つまみを押す	選択した画像ファイルを STILL に設定します。 確認のメッセージが表示されたら OK をタップ してください。

⑥⑦⑧⑨ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑥	<< をタップ	---	[CAPTURE] メニューを表示
⑦	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑧	>> をタップ	---	[CAPTURE] メニューを表示
⑨	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-8-2. CAPTURE メニュー

CAM 入力されている映像のキャプチャや、保存されている静止画をクロマキー素材として出力する際に使用します。



① ② キャプチャした画像のサムネイルを表示／保存します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	サムネイルをタップ	左上つまみを押す	現在の CAM 入力映像をキャプチャし、サムネイル表示します。
	サムネイルをロングタップ	左上つまみを長く押す	キャプチャされた画像を②で表示された名前 で現在のディレクトリに保存します。 同名ファイルもしくはフォルダが既に存在する 場合は保存せず、ワーニングメッセージを 表示します。名前を変更して保存し直してくだ さい。
②	ラベルをタップ	左中つまみを押す	MBP-RUA の命名規則に従って名前を自動変更 します。(時刻部分の更新)
	ラベルをロングタ ップ	左中つまみを 長く押す	文字列入力パネルを開き、名前を変更します。

* MBP-RUA の命名規則は以下のようになっています

命名文字列 = IMAGE_#\$\$%

#: 現在の月

\$\$: 現在の日

%%: 時刻 (時分秒) (電源起動後 STILL&CAPTURE メニューを最初に開いた時刻)

② クロマキーの素材に CAM 入力映像または静止画ファイルを選びます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
③	---	左下つまみを 押す	クロマキー素材に、CAM 入力映像 (EXT) また は 静止画ファイル(INT) を選びます。

③ ⑤ ディレクトリを選択します。ディレクトリの内容は⑥に表示されます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
④	ボタンをタップ	---	ルートディレクトリへ戻ります。 (CAPTURE ファイル保存のルートディレクト リは MBP-12SERVER で設定します。)
⑤	ボタンをタップ	---	一つ上のディレクトリに移動します。 (ルートディレクトリの場合は無効)

⑥⑦⑧ スチル用の画像ファイルを選択します。
表示 選択された画像ファイルは、橙色背景で表示されます。

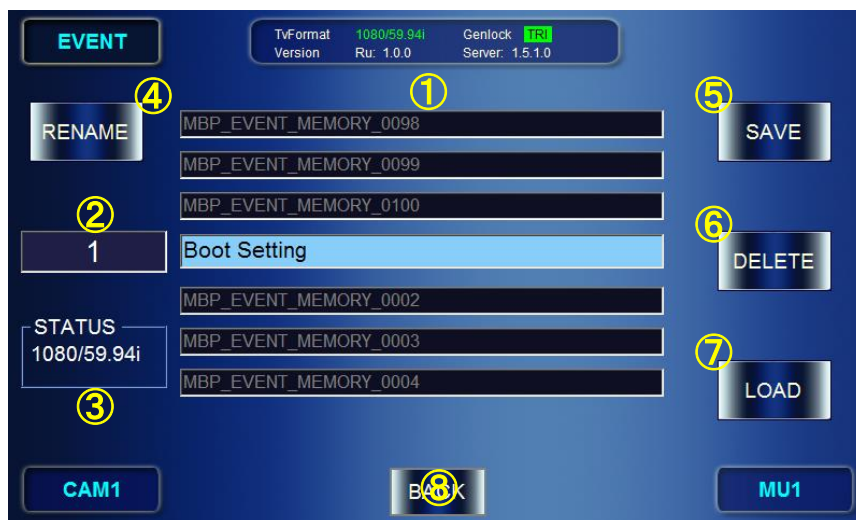
NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑥	---	右中つまみを回す	スクロールして画像ファイルを選択します。
	---	右中つまみを押す	親ディレクトリへのリターン表示選択時、 一つ上の親のディレクトリに移動します。 サブディレクトリ表示選択時、 サブディレクトリに移動します。
⑦	ボタンをタップ	右中つまみを長く 押す	スクロールを ITEM/PAGE で切り替えます
⑧	OUTPUT IMAGE をタップ	右下つまみを押す	③の設定が“INT” のとき、選択した画像ファ イルをクロマキー用の静止画に設定します。確 認のメッセージが表示されたら「OK」をタッ プしてください。

⑨⑩⑪⑫ 他の画面へ移動します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑨	<<をタップ	---	[STILL] メニューを表示
⑩	BACK をタップ	---	[TOP] メニューに戻ります。
⑪	>>をタップ	---	[STILL] メニューを表示
⑫	各ボタンをタップ	---	選択したサブメニューへ移動します。

5-9. EVENT メニュー

MBP の設定データ（イベント）の閲覧、ロード、セーブ、削除、名前変更を行うメニューです。イベントは MBP-RUA には保存されません。MBP 本体が実装されている PC に保存されます。



- ①②③ ②で操作するイベントを選択します。イベントは画面中央(①)に表示されます。表示
データが保存されているイベントは青背景に白文字で表示されます。
データが保存されていないイベントは黒背景に灰文字で表示されます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	---	---	選択イベントとその前後3個ずつのイベントが表示されます。
②	---	左中つまみを回す	イベント番号を選択します。(1-100)
	数値ボックスをタップ	---	数値入力パネルが表示されます。イベント番号を入力します。(1-100)
	---	左中つまみを押す	選択イベントを「1」にリセットします。
③	---	---	選択イベントの TV FORMAT が表示されます。情報がなければ、NOT SET と表示されます。

- ④ ⑤⑥⑦ 選択したイベントの SAVE、LOAD、DELETE、RENAME を行います。

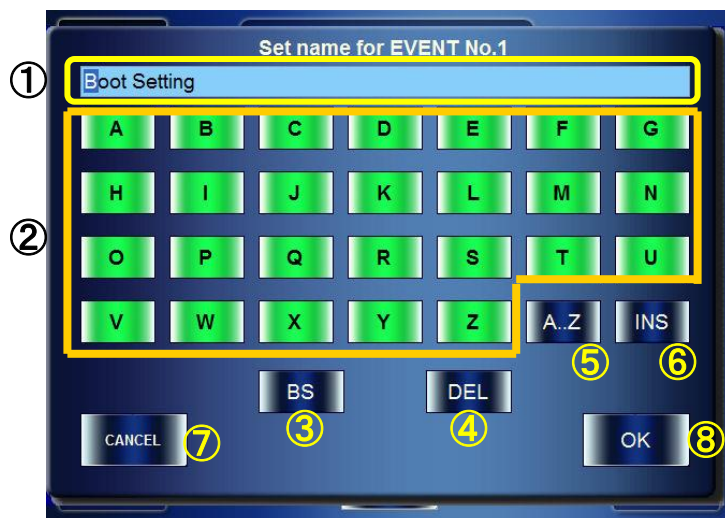
NO	タッチパネル	前面パネル	動作
④	RENAME をタップ	左上つまみを押す	名前変更用のポップアップ画面を表示します。新しい名前をタイプして確定します。(「5-9-1」参照)
⑤	SAVE をタップ	右上つまみを押す	選択イベントにデータを保存します。確認メッセージで OK をタップして実行してください。
⑥	DELETE をタップ	右中つまみを押す	選択イベントのデータを消去します。確認メッセージで OK をタップして実行してください。
⑦	LOAD をタップ	右下つまみを押す	選択イベントのデータを読み込みます。確認メッセージで OK をタップして実行してください。

- ⑧ トップ画面に戻る

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
⑧	BACK をタップ	---	トップ画面に戻ります。

5-9-1. 文字列入力パネル

EVENT 名の変更、パスワード入力、ファイル名入力時に表示され、文字列を入力することができます。



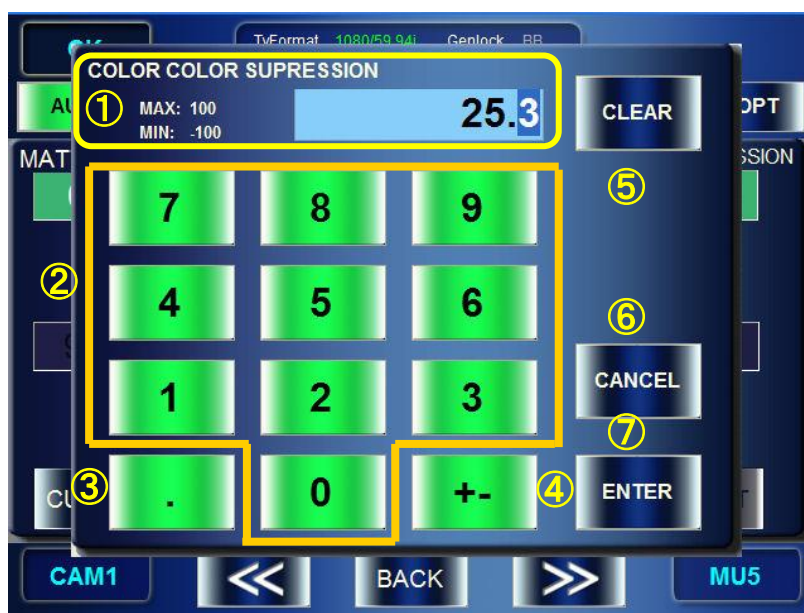
①～⑧ 文字をタップし、1文字ずつ変更します。入力した文字は①に表示されます。
表示 カーソル位置の文字は反転します。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	---	左上つまみを回す	カーソル位置を移動します。
	---	左上つまみを長く押す	表示されている文字列全体を削除します。
	---	右上つまみを回す	カーソル位置の文字を切替えます。 文字は A-Z,a-z,0-9,-,_(スペース)と切替わっていきます。
②	文字をタップ	---	文字をタップすると、①のカーソル位置(文字反転)に入力されます。
③	BS をタップ	---	カーソル直前の1文字を削除します。
④	DEL をタップ	左上つまみを押す	カーソル位置の1文字を削除します。。
⑤	ボタンをタップ	右上つまみを押す	②の文字セットを切り替えます。 “A-Z” → “a-z” → “0-9,-,_(スペース)
⑥	ボタンをタップ	---	入力モードを変更します。 ボタン色 緑：挿入モード ボタン色 青：上書きモード
⑦	CANCEL をタップ	---	入力した文字列をキャンセルし、パネルを閉じます。(イベント名は変更されません。)
⑧	OK をタップ	---	入力した文字列を決定し、名前入力パネルを閉じます。(イベント名が変更されます。)

注意 文字列入力パネルが開いているときは前面パネルのボタンは操作できません。

5-10. 数値入力パネル

MBP-RUA 上で数値データを変更する方法には、前面パネルに装備されているつまみを利用する方法と、数値ボックスをタップすることにより表示される数値入力パネルの GUI を利用する方法があります。ここではその数値入力パネルの操作方法を説明します。



- ①～⑦ 数字をタップし、数値を変更します。入力した数値は①に表示されます。
 表示 カーソル位置の数字／記号は反転します。
 左側に設定中のパラメータ名、設定可能範囲 (MAX、MIN)が表示されます。

NO	タッチパネル	前面パネル	動作
①	---	---	入力した数値を表示します。
②	ボタンをタップ	---	数字ボタンを上位の桁からタップして、数値を入力します。
③	ボタンをタップ	---	小数点を入力します。
④	ボタンをタップ	---	数値の正 (+) / 負 (-) を切替えます。
⑤	CLEAR をタップ	---	入力した数値をクリアします (0 にします)。
⑥	CANCEL をタップ	---	入力した数値をキャンセルし、このパネルを閉じます。数値は変更されません。
⑦	ENTER をタップ	---	入力した数値を確定し、このパネルを閉じます。数値が変更されます。

- * 設定可能な範囲を超えて入力すると、MAX (MIN) 表示が赤色になり、入力した数値は自動的に MAX 値、MIN 値に変わります。

6. 仕様および外観図

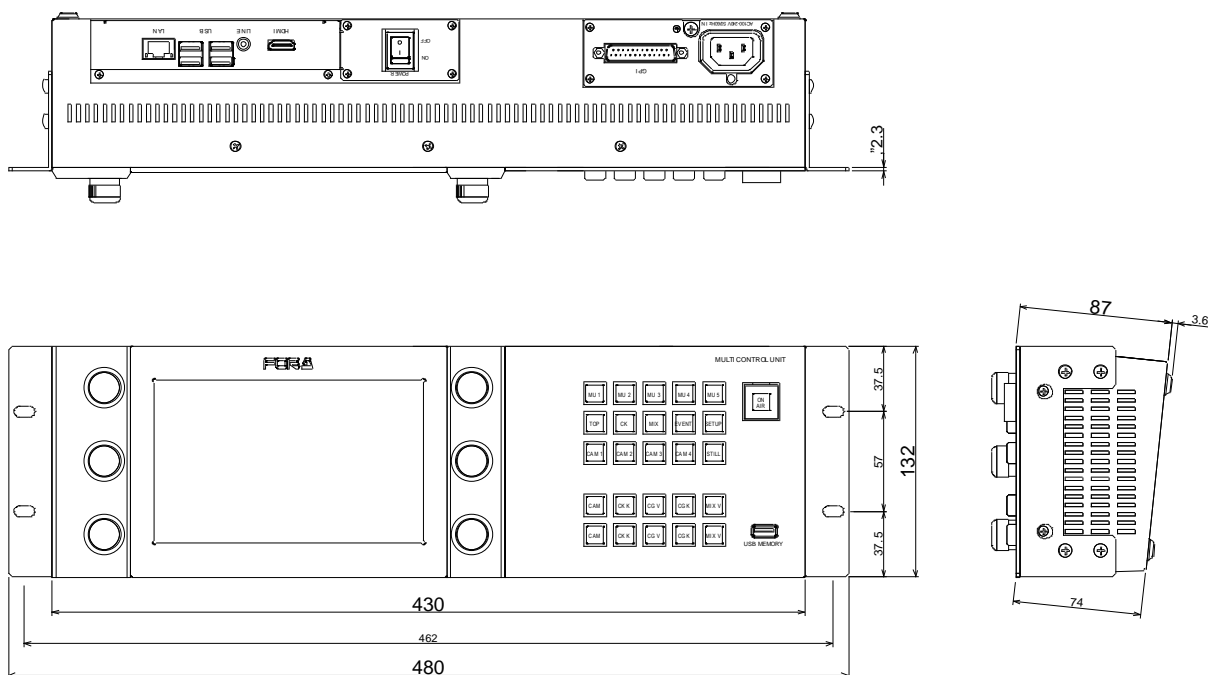
6-1. 仕様

インターフェース

LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	RJ-45 x 1
USB	USB2.0、タイプ A コネクタ x 5 (前面: x 1、背面: x 4)	
GPI	D-sub 25 ピン (メス) x 1 (インチネジ)	
その他のコネクタは未使用です		
使用温度	10°C - 35°C	
湿度	30% - 90% (結露のないこと)	
電源	AC100V - 240V ±10%, 50/60Hz	
消費電力	19 W (100-120 V 時), 18 W (220-240 V 時)	
外形寸法	430 (W) x 87 (H) x 132 (D) mm, EIA 3RU	
質量	約 3.3 kg	
消耗部品	ボタン電池 : CR2032 交換時期 約 3 年 (25°C 無通電時)	

6-2. 外観図

(寸法単位 mm)



MBP-RUA Switch Assign Builder

ソフト概要

- MBP-RUA の前面パネルボタンのアサインファイルを作成できます。
- WINDOWS XP (ServicePack2) 以上 がインストールされた PC にインストール可能

ソフトのインストール

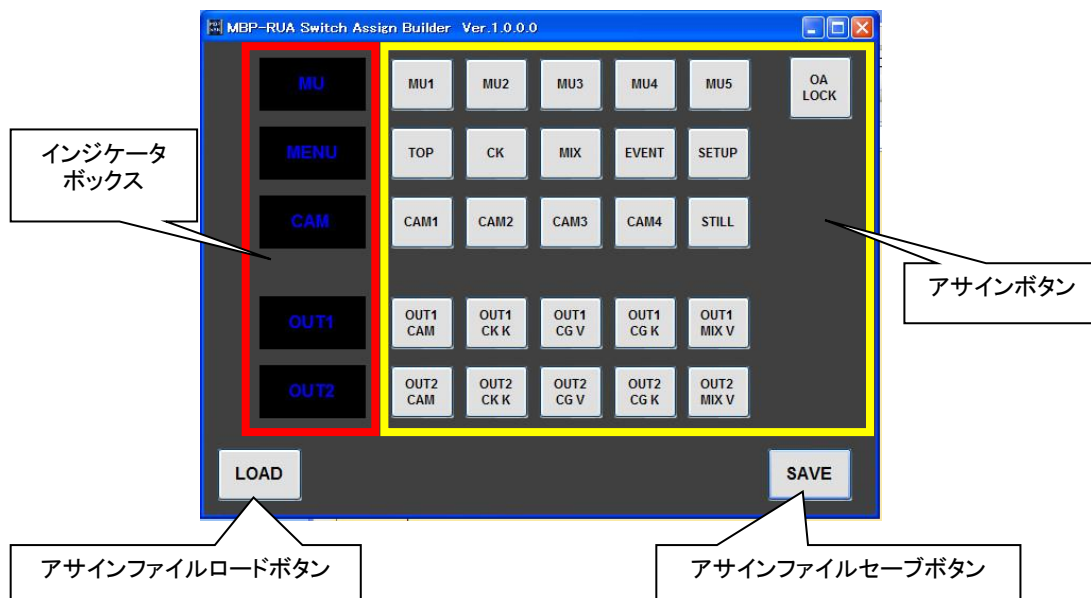
MBP-RUA に標準添付されている MBP-RUA_SAB インストール CD を使用します。

- 1) CD をインストールするパソコンに挿入します。
- 2) Setup_Japanese¥setup.exe を実行します。(OS が日本語の場合。日本語以外の場合は Setup_English 以下を使用してください。)
- 3) セットアップウインドウに従いインストールしてください。

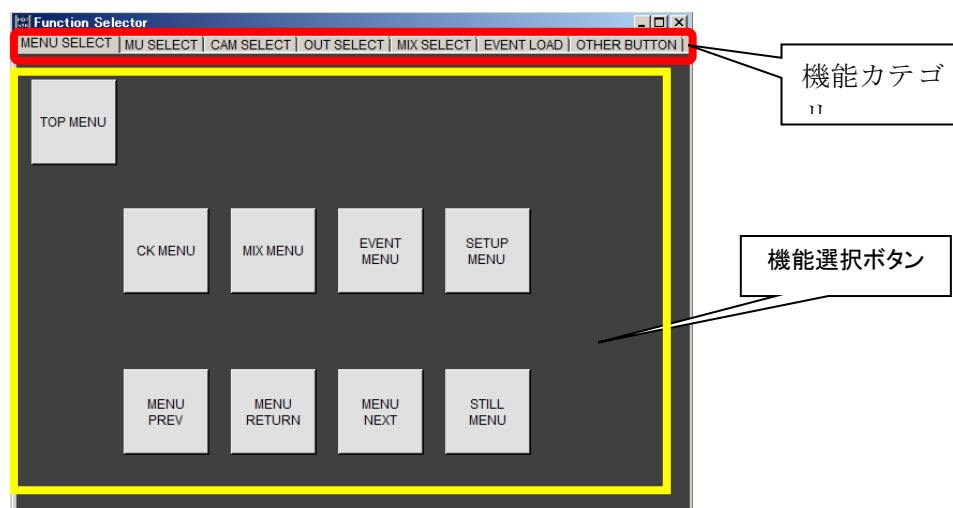
アサインを変更する

MBP-RUA Switch Assign Builder を立ち上げて実際にアサインを変更します。

- 1) MBP-RUA SAB を立ち上げます。RU の場合はメイン GUI を終了し、デスクトップ上の MBP-RUA フォルダ以下の “MBP-RUA SAB” アイコンをダブルクリックします。MBP-RUA 以外の PC では “スタート” → “すべてのプログラム(P)” → “FOR-A” → “MBP-RUA_SAB” → “*.*.*” ととり “MBP-RUA_SAB” をクリックしてください。(*.*.* は SAB のバージョン番号) 尚、MBP-RUA 上で実行する場合は USB マウスおよびキーボードを MBP-RUA に接続して実行することを推奨します。
- 2) ソフトが起動すると次の画面が立ち上がります。
画面上のボタンの配置は MBP-RUA の実際のボタン配置に対応しています。
“LOAD”、“SAVE” ボタンはアサインファイルの読み込み、保存時に使用します。ソフト起動時のアサインはデフォルトアサインです。



- 3) アサインを変更する。
アサインボタンのうち変更したいボタンをクリックします。
クリックすると機能選択用のウインドウが開きます。



- 4) 機能カテゴリタブで目的の機能選択ボタンがあるタブを選択後、機能選択ボタンをクリックします。機能選択ウインドウは自動で閉じ、メイン画面に戻ります。メイン画面で変更が反映されます。
- 5) インジケータボックスの表示を変更する。
表示を変更したいインジケータボックスをクリックします。キーボードで文字を入力します。(4文字まで) 使用できる文字は、"a"~"z", "A"~"Z", "0"~"9", "_", "-", " "(スペース)です。
- 6) インジケータボックスの表示色を変更します。
変更したいインジケータボックスを右クリックします。ポップアップメニューが表示されますので、色を選択してください。
- 7) 変更するボタン、インジケータそれぞれで3)~6)の処理を実行します。

注意 ⑤~⑦の設定は現在の RUA ではご利用できません。

- 8) 変更が全て終了したら“SAVE”ボタンを押し、アサインファイルをセーブします。PC上で実行している場合は任意の場所にセーブ後、MBP-RUAのC:\¥MBP-RUA\¥DATA以下にコピーしてください。(USBメモリ等を利用)MBP-RUA上で実行している場合はC:\¥MBP-RUA\¥DATA以下に保存してください。

アサインを MBP-RUA に反映する

前項で作成したアサインファイルを利用して MBP-RUA のボタンアサインを変更します。

- 1) MBP-RUA の GUI 上で [SETUP] メニューの [RU SETUP] メニューで“SW CONFIG”の項目で作成したファイルを指定します。
- 2) GUI を一度終了し、再起動するとボタンアサインが反映されます。(詳細は5-4-6を参照)。
- 3) 付属のボタンフィルムを利用してボタンフィルムを入れ替えます。ボタンフィルムの変更は MBP-RUA の電源を切って行ってください。

ボタンラベル

前面パネルボタンのアサインを変更した際にご使用ください。

CK V	CK V	CK V	CK V	EVENT 1	EVENT 2	EVENT 3	EVENT 4	CG2 V	CG2 V	CG2 V	CG2 V
MIX K	MIX K	MIX K	MIX K	EVENT 5	EVENT 6	EVENT 7	EVENT 8	CG2 K	CG2 K	CG2 K	CG2 K
CAM	CAM	CK K	CK K	EVENT 9	EVENT 10	EX LOCK	OP LOCK	V1 IN V	V1 IN V	V1 IN V	V1 IN V
CG V	CG V	MIX V	MIX V	L1	L2	L3	L4	V1 IN K	V1 IN K	V1 IN K	V1 IN K
MIX K	MIX K	CK ON	DELAY ON	L1	L2	L3	L4	V2 IN V	V2 IN V	V2 IN V	V2 IN V
MENU NEXT	MENU PREV	MENU RETURN	VIRTUAL	STILL V	STILL V	STILL V	STILL V				
RCG	USER 1	USER 2	USER 3	STILL K	STILL K	STILL K	STILL K				

TOP	CK	EVENT	MIX					
SETUP	MU 1	MU 2	MU 3					
MU 4	MU 5	CAM 1	CAM 2					
CAM 3	CAM 4	CAM	CK K					
CG V	MIX V	CG K	CAM					
CK K	CG V	MIX V	CG K					
STILL								

サービスに関するお問い合わせは

FOR.A [®] INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY	24h 365 days	サービスセンター 03-3446-8575
---	-----------------	--

株式会社 朋栄

本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121 (代)
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288 (代)
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011 (代)
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181 (代)
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691 (代)
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁堀 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591 (代)
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591 (代)
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178 (代)
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230 (代)
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018 (代)